

中國美女傳稿

朽 尾 武

一、中國美女の輪郭

二、美女の規準

(A) 美女の語義について

(B) 美女を表現する語

字書における解釋

(A) 爾雅釋訓 (B) 方言 (C) 說文解字を中心とした字書

三、美女の描寫の方法

(A) 徐震の美人譜に於ける美女の屬性

一 曹植の洛神賦と後漢書 梁冀妻について

四、資料篇

一、中國美女の輪郭

悠久の中國史において美女の輪郭を描くことは凡夫のよくするわざではないが、あえてその概論を試みることにする。中國の美女を知るには中國人が歷代の文献で美女と認めにものと調査するのが最も近道である。人そればれに好みもあることで、資料の選擇にも注意を要するが、この度筆者が調査の對象としたものは次のものである。

- (A) 唐・歐陽詢撰 紋文類聚卷十八 人部二 美婦人 中華書局版
- (B) 唐・徐堅等撰 初學記卷十九 人部下 美婦人 中華書局版
- (C) 北宋・李昉等撰 太平御覽卷三八二三八一 人部二十一～二十二 美婦人上・下 中華書局版
- (D) 清・張英等撰 蒜鑑類函卷二五五 人部十四 美婦人 臺灣新興書局版
- (E) 清・蔣廷錫等撰 古今圖書集成 明倫彙編 閭範部卷三五〇～三六〇 臺灣文海書局版
- (F) 清・徐震著 美人譜 香齋叢書二集卷一 臺灣古事記書店版

右の書を基礎にして一輪郭を作ったが、中國美女傳においては冰山の一角をすいなづかに過ぎない。將來一書をものとするとき、缺を補いたい。

中國の美女を選ぶようど、一つとて、古今圖書集成の閭範部別傳などが美人譜に限定して選定した。美人譜では次のよう其分

類が含まれてゐる。

古來美人有足思慕者共得二十六人。

西子 毛嬌 貂光 李夫人 卓文君 班婕妤 王昭君 趙飛燕 合德 蔡琰 二喬 緑珠 碧玉
張麗華 候夫人 楊太真 雍嬪鶯 關盼盼 蘇蕙 非烟 柳姬 霍小玉 貞娘 朱淑真 花蕊夫人
吉來名妓月富 美人之目者共得六人。

紅拂 李娃 薛濤 紫雲 蘇小小 琴操

古來婢妾可爲美人之友者共得四人。

翻風石崇婢 樊素 小蠻 俱白樂天女

朝雲東坡妾

次に古今圖畫集成の引く四十六人と右をあわせて示す。○印は集成と共通のもの、△印は人譜のみに見えるもの

(a) 周 1 驕姬 2 南之威 3 夏姬 4 白台闇須 5 西施・鄭旦 △毛嬌 △貂光 8 趙飛燕王惠后 9 楚王夫人
鄭褒 10 陰姬 11 趙嬃 倘后

(b) 秦 12 虞姬(美人)

(c) 前漢 13 李夫人 14 卓文君 15 王嬢(昭君) △班婕妤 △趙飛燕 △合德 附麗娟

後漢 19 梁冀妻孫氏 20 馮方女 △蔡琰

(d) 三國 22 曹氏(洪女) 23 橋公三女(二喬) 24 孫亮四姬 附薛靈芸 蜀甘后

(e) 晉 25 賈午 △綠珠 27 翻風 28 高冰妻胡氏 29 李勢妹 30 大荷氏 △蘇蕙

- (f) 滴齊  蘇小小
 (g) 梁  劍客儀妹
 (h) 陳  張麗華
 (i) 隋  紅拂
 (j) 唐
 57 張嘉貞女  餠師妻  裴表六郎  揚太真(一貴妃)  章臺柳(柳娘)  紅絹  舜瑤英
 45 劉雙雙  王昌鶯鳴  沈真真  崔護妻  湖州里姥女  步非烟  碧玉  關盼盼  霽小玉  李娃
 55 蕪濤  紫雲  紫素  小蠻  附浙東舞女
 (k) 五代
 59 素娥  花蕊夫人
 (l) 前蜀
 61 順聖太后徐氏  翱聖太妃附
 (m) 南唐
 63 种夫人  黃氏
 (n) 宋
 65 張從西繼室易氏  欽氏  朱淑真  琴操  朝雲
 (o) 明
 71 江清妻吳氏  薑小宛  柳如是  李香君  麗嬌沒  75 下玉京  陳圓圓  竹鴻小青  吳曼殊  程弱文
 80 王翫翫  81 連兒  82 張麗人  83 秀雲  84 瓊枝·曼仙(71~84は林慧如の明後期の美人の美人譜による)
 (p) 未詳  侯夫人  貞娘(真娘)→唐に入れるべきもの
 (q) 未詳  貞娘(真娘)→唐に入れるべきもの
 右の美女の選擇にはがたりがあるが、美女として認めて支障はない。次にその概略を示し、中國の美女の姿を再現してみた。

1 驪姬

國語 晉語一(6)

獻公驪子克之滅驪子獲驪姬以歸立焉夫人人生奚齊其姊生卓子驪姬請使仲生主曲沃以遠懲重耳處諸城夷吾處晉以微無辱之故公許之史蘇朝諸大夫曰二三大夫其惑之乎亂本生矣日君以驪姬為夫人民之疾心固皆至矣今君滅其父而畜其子禍之基也畜其子又從其欲子思報父恥而信其欲雖好色必惡心不可謂好好色必殺之情被得其情以厚其欲從其惡心必敗國且深亂必自文武三代皆是驪姬果作難殺太子而逐二公子

獻公驪戎も伐ちて之に竟ち驪子を滅し驪姫を獲て以て歸り立てて夫人と為す奚齊を生む其の姊卓子を生む驪姫請ふらん由生として曲沃を主どり懸を遠かにし重耳をして蒲城に處り奚齊をして屏に處り奚齊をして絳に處らしめて以つて懲めば廢の故無からんと公之を許す史蘇朝して太夫に告げて曰く二三の太夫其れ之を戒めよ亂本生れり日に君驪姫を以つて夫人と為し時民の疾心固より皆至れり今君其の父を滅して其の子を畜ふは禍の基なり其の子を畜ひて又其の欲を從にせしめば子は父の恥を報せんことを思ひて其の欲を信べん好色と雖ども必ず惡心なり好しと謂ふ可ガラズ其の色を好すれば必ず之に情を授けん彼れ其の情を得て以つて其の欲を厚くし其の惡心を從にせば必ず國を敗り且つ亂を深くせん亂を生ず女戎よりす三代育然と驪姫果して難を作し太子を殺して二公子を逐へり

春秋公羊傳僖公十年(3)

驪姫者國色也其顏色一國之選

驪姫は國色なり其の顏色一國の選なり

驪姫は麗姫とも書かれる。春秋時代、晉の獻公は驪戎を伐ち、克ってつれ歸つて夫人とした。奚齊と卓子の二子を生んだ。驪姫は奚齊を立てようとして公子達を放しまだ太子の申生を殺し、重耳、夷吾の二公子を逐つた。獻公の死後、奚齊、卓子は里克に殺され、水姫もまた殺された。驪姫については右のはがくに春秋左氏傳、呂氏春秋、春秋繁露、論衡、淮南子、潛夫論、論衡、莊子等にその名が見える。驪姫が美女であったことは、莊子の齊物論にも毛嬌・麗姬人之所美也魚見之深入鳥見之高飛（毛嬌・麗姬人の美とする所なり魚之を見れば深く入み鳥之を見れば高く飛べ）といつてある。毛嬌・麗姫は美女といわれているが魚や鳥は飛れて逃げてしまう。だから何が美しいのか決めかねるというのである。

驪姫は確かに美女であったのだが、どのような美女であったか知ることはできない。公洋縛に言う「國色」とは國姝國城國香、國容等の類語があり、國第一の美女という。商明の錢希言は、藏瑕錄（莊子や宋之間の況溪篇）に於て、後世ではついに滌落、麗容と美女のことを稱するようになったという。色（美色）は魚鳥のみならず草木をも感じさせると結論する。この解釋は庄子の本文の見解に相反するものではあるが、後世では魚鳥もその美に感ずるという意味に轉じたものであろう。

之南之威

戰國策 魏策（25）

晉文公得南之威，三百不聽翫，遂推南之威而還之曰：「後世必有以名之其國者。」

晉文公得南之威，得而還之曰：「後世必有以名之其國者。」
晉文公得南之威，得而還之曰：「後世必有以名之其國者。」
と。

抱朴子 博喻

抱朴子曰：南威青琴，姣冶之極，而必疾無歸以增麗。

抱朴子曰：はく南威青琴，姣冶の極なり。而して必ず益歸を俟つて以つて麗を増す。

戯國策にいふ色は美色である。南之威は春秋時代の晋の美女である。文公は、この美女を得て三日、政治を怠つたが、色が國を亡すことを憂え、これを遠ざけたといふ故事。六衛交代に戰わずして文事を用いて人を伐つ法十二を示すがその四に、「輔其淫樂以廣其志、厚賜驛玉、嫁以美人，尊辭委聽，順命而合彼將不棄好節乃定」（其の淫樂を輔けて其の志を廣くし、厚く珠玉を賜ひ、媒しましむるに美人を以てし辭を與へて委しくて委しくて聽き、命に順ひて合せよ、彼れ將に争はずして、好節乃ち定まらんとす。）と述べられ美女が政治の具に使われていらる當時のようすがうかがわれる。青琴は神女の名で、漢書の司馬相如傳にも、「青琴處女之徒，絶殊離俗」（青琴處女の徒、殊を絶、俗を離る）といわれている。姣冶は美しくはまめかしいさま。

3 夏姬

列女傳

華嚴傳 陳女夏姬

陳女夏姬者、大夫夏徵舒之母也。其狀美好無匹。內挾技術，蓋老而復壯者。二、爲王后，七、爲夫人。公侯爭之，莫不迷惑失意。陳女夏姬は大夫夏徵舒の母なり。其の状、美好無匹。内技術を挟む蓋し老いて復て壯なる者なり。三、び王后と爲り、七、び夫人と爲り。公侯之を争ひ迷惑して失意せざるものなし。

前漢の劉向の列女傳に見えたる夏姬の傳記は、華嚴傳に採られたものであるが、華嚴傳は氣に入りの妾をいうが、劉向の小序に、「惟若華嚴亦甚慢易淫邪，豈其節事哉？指是爲非終被禍敗。」（惟々に若れ華嚴は亦た甚だ慢易して淫邪を惑ふ。節に背き義を棄て是を指して非と爲し、終に禍敗を被る。）と解かれ淫亂さ美女をいう。夏姬傳の最初の部分のみ引用したが、詳細につ

いては原文を参照されたい。尚、夢媛傳の一話には惡名高い桀の妃赤喜の傳が見える。「赤喜者夏桀之妃也。赤喜，色薄，千德亂華無道。女子行丈夫心，佩劍帶冠築就其禮義，生婦人。赤喜積於後宮」（木暮は夏の桀の妃也。色に美にして德に薄く、禮儀無道なり。女子にして丈夫の心を行ひ、劍を佩し冠を帶ぶ。然既に禮義を棄てて婦人に淫し、美女を求めて之を後宮に積む）紂の妃也、桀王の寵女等もまたここに列せられる。

夏姫については春秋左氏傳（資料番號7以下同）、詩經陳風（詩2）、牧樓記（4）、西京賦、山海經圖讚、中山經、荀草等にその名が見える。文選所收の張衡の西京賦には後宮の美女を稱して、「妖艷麗夏姬，美聲暢於虞氏」（妖艷の夏姫より有艷はしく、美聲麗氐よりも暢ぶ。）といい、山海經圖讚には「荀草赤實，狀如管。婦人服之，練色易顏。夏姬是艷，厥嬪三遷」（荀草は赤き實、狀の如し。婦人之を服し、色を練つて顔を易ふ。夏姫是に艷、厥の嬪三遷す。）と書かれる。山海經、中山經の「名曰荀草。服之美入色」（名づけて荀草と曰ふ。之を服れば、人色を美にする。）といふ文についての晉の郭璞の讚であるが、本文の法で、「今入更美艷（人をして更に美艷するしむ）」といい、夏姫もまたこの荀草を服し、練つて顔に塗つて化粧したことであろうと想像したものであろう。

4 白台・闇須

戰國策
魏策（25）

左白台而右闇須，美也。

南之威の美とは南之威のようぢ美人の意。白台・闇須ともにこれ以上傳を詳かにしない。

○五
近施
·剪旦

吳越春秋 勾踐陰謀外傳(27)

十二年越王大太種に謂ひて曰く孤聞り、吳王淫にして色を好み、感懲^{おもはれ}、政事を怠めず、此水に因りて謀らること可なり。種曰く、破ること可なり。夫れ吳王淫にして色を好ぶ、宰の諂ひ^{うへい}せり、以つて心を離き往いて美女を貪せん。其れ必ず之を受けん。准^{そなへ}だ玉、美女二人を選擇して之を進められよと、越王曰く善しと、方ち相者をして國中に使はしめ、^{すこやかに}蘿山の新婦^{しんふ}の女を得

た。西施・鄭旦といふ。(注)會稽山麓華羅山は諸暨縣の茅蘿山に在り。輿地志諸暨縣の茅蘿山は西施・鄭旦の居せし所なり。
 け道志句踐美女を秦め以つて吳王に獻す。之を諸暨の茅蘿山に得たり。賣新の女なり。西施山下に浣沙石有り。飾々に羅縠を以てし。教ふるに容歩を以てし。土城に習はしむ。(注)越舊經。土城は會稽縣東六里に在り。都巷に臨んで三年學に服して渠に獻でり。乃ち相國の范蠡をして進めしめて曰く。越王句踐に竊かに遺棄する二女有り。越國^西下困迫し敢て稽留せず。謹んで臣妾をして之を獻せしむ。大王節陋寢容を以てせず。(注)貌揚らざらを寢と曰ひ通じて寢に作る。廣額に漫は陋せり。又貌醜^うを或ひは侵に作る。史記。魏其富貴を傳。武安の貌侵短小とは醜惡を謂ふなり。願くは納れ以つて篋幕の用に供されんことを。吳王大いに悦んで曰く。越二女を貢ぐは乃ち句踐の忠を表しに盡す諸侯ぞ。子胥諫めて曰く不可なり。王愛くら勿れ。臣聞けり。五色は人の目をして盲せらしめ、五音は人の耳をして聾せらしむ。昔、桀湯に易りて滅び、紂文王に易りて亡べり。大王之を愛くれば後必ず^有、臣聞けり。越王朝に^書て倦まず、晦に誦して^見。且つ歿死の士數萬を聚めり。是れ人死まずんば必ず其の願ひを得らざり。越王誠に服し仁を行ひ、諫と聽き賢を進めり。是れ人死まずんば必ず其の名を成る。越王夏に毛裘を被、冬婦縕を御。是れ人死まずんば必ず對隱^{ひそ}焉。臣聞けり。賢子は國の寶、美女は國の辱なり。と。夏の亡は妹喜を以つてし。殷の亡は妲己を以つてし。周の亡は褒姒を以てすと。(注)桀有施を伐ち、有施氏妹喜を以つてかあはす。焉に寵有りて夏を亡す。紂有蘇を伐ち、有蘇氏妲己を以つて女あはす。焉に寵有りて殷を亡す。幽王有褒を伐ち、有褒の人褒姒を以つて女あはす。焉に寵有りて伯服を生み太子宜臼を逐ふ。太子申に奔り、申人續と與ふ。西戎過王を攻め、周是に於て亡べり。妹喜未、春晉嬌^{さう}す。) 吳王聽かず遂に其の女を愛く。越王曰く善なる哉と。

嘉興縣…南一百里有詰兒亭。勾踐令詰蠡取西施以獻夫差。西施於路與范蠡同舟三年始達於吳。遂生一子。至此其子一歲能言。因名詰兒亭。越絕書曰。西施亡吳國後復歸詰蠡。周泛五湖而去。嘉興縣…の南一百里に詰兒亭有り。勾踐が詰蠡をして西施を取め、以つて夫差に獻せしむ。西施路に於て范蠡と潛がに通す。三年にして始めて吳に達り。遂に一子を生む。此の亭に至り。其の子一歳にして能く言ふ。因りて詰兒亭と名づく。越絶書曰く。西施吳國を亡びし後復び范蠡に歸し。同時に五湖に泛んで去れり。

莊子 天運

西施病心而臚其里。其里之醜人見而美之。歸亦捧心而臚其里。其里之富人見之堅閉門而不出。貧人見之挈妻子而去之走。彼知美體而不知臚之所以美。

西施心を病んで其の里に臚す。其の里の醜き人見ても美とす。歸りて亦に心を捧げて其の里に臚す。其の里の富人見ても見て、堅く門を開けて出てす。貧き人之を見て、妻子を挈いて之を去て走ぐ。彼れ臚を美とするを知て、臚の美なる所以を知らず。

淮南子 傷務訓(36)

漫頬皓齒形容滑佳不待脂粉芳澤而性可說者西施陽文也。(後漢高誘注) 漫頬細理也。夸弱也。佳好也。性猶姿也。西施陽文古之好女。清莊達吉注 文選注引許晉注云。陽文楚之好人也。

漫頬皓齒形容滑佳不待脂粉芳澤而性可說者西施陽文なり。(注漫頬は細理なり。夸は弱なり。佳は好きなり。性は猶は姿のこと。し。西施・陽文は古の好き女なり。文選注に引く許晉の注に云ふ。陽文は楚の好き人なりと) 西施・鄭旦は春秋時代の越の美女である。鄭旦について述べられることすぐなくあっぱら西施について語られる。二女

共に今の浙江省諸暨縣の芋蘿山で斬賣りをしていた女である。越王勾踐が吳王夫差に會稽に敗れ再起を試みるにあたつて好色な吳王夫差の心を亂し政事を怠らせるべく、范蠡に命じて二女を索め、夫差に獻上する。これに先立ち、羅縠(おろのうすきぬ)を着せて飾り、容歩(美しい歩き方や身ぶり)を教え、三年間教養をつけさせて送り出した。吳の忠臣伍子胥の言を容れず、二女を寵愛し國を亡ぼしてしまう。この二女を吳に運ぶことになり、范蠡は漢地記によれば西施に通じて儲けるが、これはおそらく後世の作り話であつう。鄭旦はいつの間にか姿を消すが、西施は吳の亡んだ後も生存し范蠡のあとに歸つて五湖に遊んだとか江に沈められたとか傳えられている。

西施はいつたどのような美女であったが興味のあるところであるが、淮南子の説く如く細腰の皮膚のうめいのやかさ美女であったようだ。皓齒(しらはげ)といつてるので齒も白く美しかつたであつう。當時楚でも王が細腰を好み餓死者が出たへ縛客叢談(くわくそうだん)といわれろくらいで美女に対する好みを物語るものである。

蘇子の故事は濠水に西施擇心と題されるくらい有名な話で、西施が心を病んで咳をするたびに眉をそりかめた（蹠(せき)に齧(く)つ）といふ。外見にのみとらわれて本質を見失つての例えに使われ、贊(さん)に倣つともいふ。

西施にまつわる逸話は數多くあるが、別の機會に譲りたい。尚後世のものであるが、闕名の西施鬪美論義がある。

△毛嫱

毛嫱(もうぢょう)は西施と並稱されると美女であるが、その傳は明確でない。この驪姬のところが既に引用しておいたが、「毛嫱驪姬人之所美也」（毛嫱・驪姬の美しとす）游子齊物論といい、管子小稱(くわんじ)の「毛嫱・西施天下之美人也」（毛嫱・西施は

天下の美人なり。『眞子の毛嬌・西施、天下之至嬌也』(毛嬌・西施は天下の至って姣しきものなり)。〔淮南子 説林訓(36)〕西施毛嬌、狀貌不可同世。稱其好美鉤也。(西施・毛嬌は状貌同じで可からずして、世其の好きと稱す。美鉤し(わればすり)と稱すらが、どのような美人がわざらない。宋玉の神女賦には、「神女之姣麗兮、含陰陽之瓊飾。披華藻之可好兮。若非羣物之盡異其象無雙。其美無極。毛嬌郭秋不詳様式。西施掩面比之無色」(神女の姣麗なる。陰陽の屋飾を含み、華藻の如くべきを被り、羣物の翼を奪ふが若く、其の象雙ばく、其の美極まし。毛嬌も袂を郭ひて、未だに足らず、西施も面を掩ひて、之に比べるに色なし)。と神女の美には毛嬌・西施も顔色さしとするが、これはまた毛嬌・西施が天下の美女の規準となつていることを示している。詩詠や隨筆類を指摘されかくように、詩文では美女を表現するに美しいことばで飾りたるので、併々本當の姿はつかめぬが、文筆作品として鑑賞するばあい看過できぬものである。

△夷光

〔太平廣記卷三七二〕 美婦人の部には夷光をはじめとして、靈娟、趙寵燕舞、靈芸、孫亮姬、朝妹、蜀甘后、石崇婢、翻風、浙東舞女が見える。夷光の傳記もやはり曖昧で、拾遺記の注によると、夷光と修明は西施・鄭旦の別名とする。〔古今圖書集成〕

もこの注に由つて、西施・鄭旦の部に附している。

拾遺記(65) 周靈王 太平廣記所收

越謀滅吳，畜天下奇寶。美人異珠以進於吳。得陰峯之璫，古皇之驥，湘沅之鱗。又有美女一名夷光，二名修明。以貴於吳。受處於椒花之房，賈細珠以為簾幌。朝下以嚴景夕卷以待月。二人當軒並坐，理鏡觀妝於珠幌之内。竊窺者莫不動心。驚魂謂之神人。吳王夫差目之若雙鸞之在輕霧，泣水之漾秋蘋。妙態既深，急於國政及越兵入國，乃抱二人以逃。後絕。

越軍既入見二人在竹樹下皆言神女望而不侵今吳城號門內有折株尚爲祠神女之處。

越は吳を滅へんことを謀り、天下の奇寶、美人異味を畜へ以つて吳に進む。陰峯の^古_古皇の^驥_驥、湘沅の^潭_潭を得又美女有り、
一を夷光と名づけ、二を修明と名づくものを以つて吳に貢す。吳は^謝花の房に(ニ女と)處し、細き珠を貰す。以つて簾櫳を
繕^修て、下して以つて景を^觀ひ夕には卷いて以つて月を待つ。二人は軒に當つて並んで坐せり。鏡を^拂き、珠幌の内に觀^望す。
す。竊かに窺ふ者心を動かし魂を驚かされざらは莫し。之を神人と謂ふ。吳王差之を自するに雙鸞鳥の輕霧^{羽衣}を在り、水の^淵を
に泳まる秋鷺の若し。(吳王の)妙思既に深く國政を怠る。越年の國に入らに及んで、乃ち二人を抱いて以つて吳苑に逃る。越
軍既に入り、二人の竹樹の下に在るを見て皆神女と言ひ。塗めども侵さず。今吳城號門内に折株あり、尚ほ神女を祠りし
處と爲せり。(今流布している合遺記と異同あり。)

8 趙武靈王惠后(孟姬)

史記 趙世家

武靈王十六年、王遊大陵。他日、王夢見處女鼓琴而歌詩曰：「美人繁縝兮，類若之榮。命乎命乎，曾無我顧。」日王飲酒樂，數言新夢，
具其狀。吳廣聞之，因夫人而問其女，姓嬴，名姚。其母寵於王，是為惠后。

武靈王十六年、王大陵に遊ぶ。他日、王夢に處女琴を鼓して歌をう見る。詩に曰く、美人繁縝たり、類若之榮の如し。命乎命乎、曾無我顧。即ち、
妻曾^{シテ}嬴とす。翌日王酒を飲み樂む。數々夢を見る所を言ひ、其の狀を想ひ見る。吳廣之を聞き、夫人に因りて其の女の姓嬴へ
す。されば孟姚を内なるなり。甚だ王に寵有り、是れを惠后とす。

列女傳 蘇子廣傳 趙靈王女傳

趙靈吳女者號孟姚。吳廣之女趙武靈王之后也。初武靈王娶韓王女為夫人。生子章立以為后。章為太子。王嘗夢見處女發鬢而歌曰。美人燭九陰。顏若苦之榮。命今命今。逢天時。生首莫我惠。飄飄異日王飲酒樂。數言所夢相告其人。吳廣聞之乃因后而入。其女孟姚甚有色。惠王愛幸之。不能離數年。生子何孟姚微言后有淫意。太子無孽考之行。王乃廢后。立孟姚為惠后。以何為王。是為惠王。武靈王封。章於代。嬖安陽君。四年。趙羣臣安陽君來朝。王從旁觀。羣臣宗室見章憮然也。反目於弟。心憐之。是時惠后死。久恩衰。乃欲分趙而王章於代。計未決。而轂主父游沙丘宮。章以其徒作亂。李弟乃起四邑之兵擊章。章走至父主父門。竟因圍主父宮。既殺章乃相與謀曰。以章圍主父。即解兵。音屬夷矣。乃遂圍主父。主父欲出不得。又不得食。乃擣雀糲而食之。三月餘。遂餓死沙丘宮。詩曰。流言以對寇。攘式肉。言不善之從內出也。

頌曰。吳女名顏。神霧趙靈。既月變近。慈心乃生。廢后興。戎子何是成。王閑沙丘。國以亂傾。

趙靈の宋女は孟姚と號す。吳廣の女趙武靈王の后なり。初め武靈王韓王の女を娶つて夫人と爲し。子章を生む。立てて以つて后と爲し。章を太子と爲す。王嘗て夢で處女髮を拔いて歌ふを見たる曰く。美人燭九陰。顏若苦之榮。命今命今。逢天時。生首莫我惠。飄飄異日王飲酒樂。數言所夢相告其人。吳廣聞之乃因后而入。其女孟姚甚有色。惠王愛幸之。不能離數年。生子何孟姚微言后有淫意。太子無孽考之行。王乃廢后。立孟姚為惠后。以何為王。是為惠王。武靈王封。章於代。嬖安陽君。四年。趙羣臣安陽君來朝。王從旁觀。羣臣宗室見章憮然也。反目於弟。心憐之。是時惠后死。久恩衰。乃欲分趙而王章於代。計未決。而轂主父游沙丘宮。章以其徒作亂。李弟乃起四邑之兵擊章。章走至父主父門。竟因圍主父宮。既殺章乃相與謀曰。以章圍主父。即解兵。音屬夷矣。乃遂圍主父。主父欲出不得。又不得食。乃擣雀糲而食之。三月餘。遂餓死沙丘宮。詩曰。流言以對寇。攘式肉。言不善之從內出也。

章を擊つ。章主父に走り、主父之を開す。免因つて主父の宮を圍み、疏に章を殺し、乃ち相撲に謀つて曰く、章を以つて主父を圍ま。即ち兵を解かば、吾が屬夷（しゆい）せられんと。乃ち遂に主父を圍む。主父出でんと欲するも得ず、又食を得ず、乃ち雀の巣を探つて之を食ふ。二月餘にして遂に沙丘の宮に餓死す。詩に曰く、流言以て對ふ。（対）憲機内に式ひればざりと。不善の内より出づるを言へるな。

領に曰く、吳女苦の顔神、趙靈（おうりん）を説き、既に見て驟遠へ感じ、乃ち生す。后を廢（ひき）し、絶を興し、子何是れ成れり。主沙丘に閉ぢ國以つて亂を傾く。

惠后が美女であらことを伺ふ手掛りは武靈王が夢にまで想い愛幸して止まなかつたことと、美人焚焚たり顔は苦の榮の若し。甚だ色あうといつて抽象的な語のみである。顔を苦に例えるが、苦とは史記の秦母遠の法では「陵苦え草葉華紫」(陵苦の草なり、其の葉紫なり)といい、征議は本草經を引いて「陵苦、生下濕水中、七八月生華紫草可以染帛煮沐頭髮即黑也」(著之華に「苦之華葉華紫矣」(苦の葉、芸として其れ黄也)。)と書かれている。この陵苦は鄭玄の箋に華は紫赤であるとし、孔穎達の疏では「陵苦之華本紫赤而繁多、至今亦苦然其色黃而衰矣」(陵苦の華は本とは紫赤にして繁多なり、今に至つて亦た苦然として其の色黃にして衰ふらざり)と解釋している。苦陵は初めは紫赤で、やがて葉色になつて潤むという。この花本は知名のう「せんざすら」といわれるもので、蔓性で黄赤色の花をつけ、満開になると前は紫赤色といえる。色や形は葉や花と似て、細葉似鱗葉、葉は葉脈に沿つて青し。其の葉は細く緑色にして生食すべく、小葉は葉脈に沿つて青し。其の葉は細く緑色にして生食すべく、小葉は葉脈に沿つて青し。

臣の如きぢり」といふ詩經の陳風防有鵲巢の「邛有旨蓄」(印に旨き者あり)の孔穎達の疏である。こゝでいう苦は
えんどうである。

惠后的印象からすると、あまり華美とはいえない「えんどう」の花よりも、大振りで派手な「うぜんかずら」の方があうらしい。

・楚王夫人鄭襯

張儀之楚貧多怒而歸。張儀曰子必以衣冠之激故欲歸。子待我爲子見楚王。當是時南后鄭襯賓於楚。張子見楚王。楚王不說。張子曰王無所用臣請北見晉君。楚王曰諾。張子曰王無求於晉國乎。王曰黃金珠璣犀象出於楚。寡人無求於晉國。張子曰王徒不好色耳。王曰何也。張子曰彼鄭襯之女粉白墨黑立於衛間。非知而見之者以為神。楚王曰楚僻陋之國也。未嘗見中國之女如此其美也。寡人之獨何爲不好色也。乃資之以珠玉。南后鄭襯聞之大恐。令人謂張子曰。若聞將軍之晉國。偶有金千斤。進之左右。以供芻秣。鄭襯亦以金五百斤。張子辭楚王曰。天下關閘不通。未知見日也。願王賜之觴。王曰諾。乃觴。張子再拜而請曰。儀有死罪於大王。曰何也。曰儀行天下。徧矣。未嘗見人如此其美也。而儀言得美人。觴之。王曰諾。乃召南后鄭襯而觴。張子再拜而請曰。儀有死罪於大王。曰何也。曰儀行天下徧矣。未嘗見人如此其美也。而儀言得美人。是欺王也。王曰子釋之。吾固以爲天下莫若是兩人也。(戰國策 楚策)(25)

張儀楚にて貧し。舍人怒つて歸らんとす。張儀曰く。子必ず衣冠の激れだらを以つての故に歸らんと欲せば。子待て。我老子の爲に楚王に見えんと。是の時に當つて。南后・鄭襯・楚に貴を。張子・楚王に見ゆ。楚王説はず。張子曰く。王・臣を用ひる所無し。臣謂ふ北の間に晉君に見えんと。楚王曰く。諾。と。張子曰く。王・晉國に求むる無きがと。王曰く。黄金・珠・璣・犀象は楚より出づ。寡人・晉國に求むる無しと。張子曰く。王・徒・多・好・ま・ざ・るのみと。王曰く。何ぞやと。張子曰く。彼の鄭・周の女・粉白墨黑して。禮闈に立たば。知つてこれを見る者に非すんば。以つて神と爲さんと。楚王曰く。楚は僻陋の國なり。未だ嘗て中國の女の此の如

く其れ美なるを見す。寡人之れ獨り何爲れぞ。色を好まざらんや。乃ち之に資するに珠玉を以つてす。南后・鄭褒之を聞いて大いに憤れ、人をして張子に謂はしめて曰く、吾聞く將軍晉國に之くと。偶々金十斤あり之を左右に進めて、以つて御林供せよ。鄭褒も亦金五百斤を以つてす。張子楚王に辭して曰く、天下闢を開ひて通せず、未だ見ゆる日を知らず。願はくは王之に鷄を賜へと。王曰く、諾と。乃ち之に賜す。張子中飲^{飲酒}にして再拜して請ひて曰く、他人を此に有るに非ず。願はくは王傳習する所を召して之に鷄せよ。王曰く、諾と。乃ち南后・鄭褒を召して之に賜す。張子再拜して請ひて曰く、儀、大王に死罪ありと。王曰く、何ぞやと。曰く、儀、天下を行ふこと偏ねし。未だ嘗て人の此の如く其れ美なるを見す。而ちに儀、美人を得んと言へるは是れ玉を欺けら也と。王曰く、子之を釋け吾固より以爲らく。天下是の兩人に若くあの莫と。

鄭褒が、どうのようす美女であったか判然としないが、楚王が愛幸したことと、張儀が褒め言葉ではあるが、「未だ嘗て人の此の如く、其れ美なるを見す」といつていることでしか知りよすぎががない。論衡⁽³⁾に、魏女色艶・鄭袖鼻之(魏女色艶)と、鄭袖褒之(魏女色艶)と、之を鼻^{はな}らむ⁽⁴⁾といつているのは、戦國策の楚宋襄王⁽⁵⁾や韓非子⁽⁶⁾の六微篇の故事に基づくもので、魏王が楚王に美人を遣つたところ、楚王は詫ひた。鄭褒は王が新人(魏の美人)に心あるを知らや、新人を愛することより甚だしがつた。王は、婦人が夫に事ある所以のものは色であつて、妬むのは情である。⁽⁷⁾これがわらび、鄭褒は妬むことなく新人を愛することこれ以上である。こうして、王に妬むのないことと知りせておいて新人に、王はあなたの美しいを愛していく。けれどもあなたたの鼻を惡んでおられ、王に見ゆるときは鼻をおおそと教える。新人が鄭褒の教を従つて鼻をおおうと、王は鄭褒に「おおおうのが尋ねる。そこで思ひやがつさしてから、王の鼻を惡むからだと教える。怒つた王は新人の鼻を切りとらせら。この奸智に變へた鄭褒は別段の華麗傳に登場する系列の女性とすることができる。

鄭夷がどの程度の美女であったかはとあざくとして、絶対者としての美女ではなく、常に王の寵愛を引き止めようとする智をあぐらす瀟洒ではあるが、残虐な性を持つ美女といえる。

10 陰姫

陰姫は戦国時代中山王の寵姫である。次に引く文は戦国策に見えたもので、中山王の臣司馬意が趙王に使して陰姫のことを持ち上げてある。

戦国策 中山策(25)

中山王遣之見趙王曰臣聞趙天下善爲昔佳麗人之所出也。往大麗今者臣來至境入都是觀人民謠俗容貌顏色殊無佳麗好美者以臣所行多矣周流無所不通未嘗見人如中山陰姫者也不知者特以爲神力言不能及也其容貌顏色固已過絕人矣若乃其眉目准額權衡犀角福耳彼乃帝王之后非諸侯之姬也。

中山王遣之見趙王曰臣聞趙天下善爲昔佳麗人之所出也。往大麗今者臣來つて境に至り都邑に入り人民の^婦顔色を觀るに容貌顏色殊に佳麗好美をう者無し。以ひに臣が行きし所多く周流して通らざる所無きも未だ嘗て人の中山の陰姫の如き者を見ざらず。知らざる者は特に以つて神力と爲す。言及ごと能はざるなり。其の容貌顏色固より已に人に過絶す。若し乃ち其の眉目准額權衡犀角福耳は彼れ乃ち帝王の后なり。諸侯の姫に非ざらむと。

陰姫の容貌が人に過絶し、その眉目、准額(鼻井と云ふ)、權衡(はほ骨と眉間)、犀角(くびの骨)、偃月(へいたいの骨)が、帝王の後の骨相だという。神力は神のせらわざ、神人とする本文もある。

11 趙悼倡后

倡后は趙の悼襄王の后である。倡といつのは、もと邯鄲の女^{めの}倡であつたからである。

列女傳 穡嬖傳 趙悼倡后

倡后者邯鄲之信趙悼襄王之后也。前日而亂。宗之族既寢。悼襄王以其美而取之。牧諫曰不可。女之不正。國家所以獲而不安也。此女亂。宗大王不畏乎。曰。亂與不亂。在寡人為政。遂取之。初。悼襄王后生子嘉。為太子。倡后既入為姬。生子遷。後既嬖。生子嘉。為太子。倡后既入為姬。生子遷。是為幽閨王。倡后淫佚不正。適於春平君。多愛秦縣。而使士誅其良將武安君李牧。其後秦兵徑入。莫能拒。遷遂見處於秦。趙亡。大夫怨。倡后之譖太子及殺李牧。乃殺倡后而滅其家。共立嘉於代。七年不能勝秦。趙遂滅爲郡。詩云。人而無禮。不死胡侯。此之謂也。

頌曰。趙悼倡后。貪功無定。履廢后過執許不憇。淫亂春平。窮意欲受賂。趙身死滅國。

倡后は邯鄲の倡にして、趙の悼襄王の后なり。前日、宗の族を亂して既に寢る。悼襄王、其の美なるを以て之を取る。李牧諫めて曰く、不可なり。女の正しからざるは、國家覆って安からざる所以なり。此の女、宗を亂る大は畏れざるか。王曰く、亂かると亂れざることは寡人が為政に在り。と。遂に之を娶る。初め悼襄王の后、子嘉を生んで太子と爲す。倡后既に入りて姫と爲り、子遷を生む。倡后既に王に嬖幸せられ、陰かに后及び太子を王に譖し、人をして太子を犯して之を罪に陥れしむ。王遂に嘉を廢して遷を立て、后を黜ひて倡姫を立てて后と爲す。悼襄王薨するに及んで遷立。是れ幽閨王爲り。倡后、淫佚にして正しがらず、春平君に通じ、多く秦の賂を受けて、王をして其の良將武安君李牧を誅せしむ。其の後秦の兵徑に入る。能く遁ぐもの莫し。遷遂に秦に虜され、趙亡ふ。大夫倡后的太子を譖り、及び李牧を殺せらるを怨み、方ち倡后を殺して其の家を滅し共に嘉を代に

立つ。七年秦に勝つ能はず、趙遂に滅んで都となる。詩に云ふ人にして禮せくんば死せずして胡ハ何ハをか侯ハだんとは、此の謂ハ也。

頌に曰く趙卓の倡后貪功にして足り無し。后適(后と嫡子)を陵辱廢し、計を執つて懲せらばず。春平に淫亂し、意の欲する所を窮む。略を蒙けて趙を亡ぼし、身死して國を滅ぼす。

右の十一人が周代の美女である。今回は周代に限定して美女の概略を述べたが秦以下は資料集を作らときには改めて加えう予定である。美女が美女らしく描かれようにならなければ秦より後のものであり、この際は別表に譲ることとし、資料の所在のみを示しておこう。

後虞姬

後記 項羽本紀 漢書 項籍傳(24) 宋・沈括 漢溪筆談 番禺集 藝林
詞譜 琵琶漫 滌 清・沈祖堯 古今詞話 虞美人
越(芥香園續錄) 虞美人(宋印は詞曲と虞美人草について説いたもの。詩賦についてはここに引くのを省略)

△13
李夫人

史記外戚世家漢書外戚傳(樂府詩集八十四李夫人參照)

卷之十四

史記司馬相如列傳
漢書司馬相如傳

⑯王嬌(王昭君·王明君)

漢書匈奴傳
後漢書匈奴傳(69)

雜記(63) 世說新語(28) 淳秦紀行(113) 牝樓記(140)
下惟短牒(68) 明·鄧之麟《女俠傳》

樂府詩集 二十九 王明君·王

16
班婕妤

漢書外戚傳

續列女傳 班婕妤 蒙求 班女辭贊

樂府詩集 四十三 班婕妤·婕妤怨

趙飛燕 合德

漢書外戚傳

京雜記
飛燕外傳(40)
飛燕傳

選事
蒙求
飛燕體輕
續列女傳
趙燕燕姊
丹鉛總錄

(附) 麗娟

{洞冥記 (39)}

八

小名錄
(153)
雞跖集
(162)

19 梁冀妻孫氏（孫壹奇）

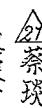
後漢書 沈賀妻
(47)

•

蒙求 孫壽折腰

20. 馮方女

獎論(43)



蔡琰

後漢書

列女傳 董祀妻

篆文 蔡琰辨琴

22. 曹氏(曹丕、文)

三國志 魏志 荀彧傳法(西晉陽秋) (77) (49)

23. 橋公二女(二喬)

三國志 吳志 周瑜傳(43) 江表傳(54) 《參周詩注》杜牧之作赤壁詩(83)

宋張師正《倦遊記》(63) 《待兒小名錄》(53) 《漢書》(77) 《宋史》(63) 《待兒小名錄》大喬小喬

24. 孫亮四姬(朝妹、麗居、洛珍、潔華)

拾遺記(63) 待兒小名錄(53) 《漢書》(77)

(附) 辞靈芸(後來)

拾遺記(63) 待兒小名錄 瓊樹夜來尚衣巧笑

(附) 蜀主后

三國志 蜀志先主后

拾遺記(65)

25 貢午(韓喜妻)

世說新語 或漏
晉書 賈充傳(87)

△
26 綠珠

晉紀(50) 周易紀行(173) 開月後錄(146)

綠珠傳(175)
蒙求 綠珠墮樓

△
27 翫風

拾遺記(65)
張生殿

28 高采蘋胡氏

高采蘋集叙(67)

29 李嬖妹

世說新語(78)
姬記(80)
汰中記(80)

30 大符氏(慕容熙昭儀)

晋唐藏記 莫容熙 十六國春秋後魏錄(3)

31 蘇蕙(竇滔妻·若蘭)

晋書列女傳 竇滔妻蘇氏 唐武后璇璣圖序(佩)

32 蘇小小

吳地記 漢府詩集 八至蘇小小歌 西湖佳話

蘇小小傳 清·梁紹壬蘇小小考 蘇小小全史

宋張邦基
待兒小名錄 蘇小小

清趙翼著
陔餘叢考三元兩蘇小小

33 劉孝儀妹

汰清況(81)

34 羊侃妾

南史 梁羊侃傳(3) 誠齋雜記(189) 狼耶代醉編(大)

35 張麗華(張貴妃)

陳書 皇后後主沈皇后附(張貴妃)(92)

36 紅拂

北史 郭子儀傳(39) 儒林外史(2) 初學記(1) 翠翠傳 紅拂記

外張嘉貞女(郭充振妻)

開元天寶遺事(36)

98 餅師妻

本事詩 情風

99 裴六郎

通幽記(21)

△楊太真(楊貴妃)

舊唐書

皇妃上玄宗楊貴妃傳 漢書 后妃工楊貴妃傳 張良歌傳 開元天寶遺事(36)

明皇雜錄

楊太真外傳

楊

太

真

外

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

楊

太

真

傳

43 紅綃

《紅綃傳》(123)

裴鉢續詩(太平廣記卷一百一) 段成式·劍俠傳

明·梅鼎祚

《紅綃傳》(盛明雜劇)

44 薛瑤英(元戴姪)

《薛瑤英傳》(9)

清·張培仁妙香室叢話五薛瑤英

宋·張唐英
《麗清集》小名錄

《麗清集》杏兒(類說三九) 清·張培仁

妙香室叢話五薛瑤英

45 劉無雙

《劉無雙傳》(116)

宋·張唐英
《麗清集》無雙仙客(類說三九)

46 雜鶯鷺

《會真記》鶯鷺傳(111)

宋·張唐英
《徐陵詩詣》六鶯鷺

47 竹沈真真

《會真記》鶯鷺傳(111)

宋·沈括
《夢溪筆談》古徐陵詩詣三竹沈真真

宋·沈括
《徐陵詩詣》袖海

48 崔護妻

《本事詩》情感(132)

元·白仁甫《崔護記》宋·沈括《夢溪筆談》古徐陵詩詣三崔護

宋·沈括
《徐陵詩詣》袖海

49 湖州里姥女

揚州夢記(225)

宋張君房
本草之詩酒

揚州夢(元明雜劇)

宋張君房
本草之詩酒
湖州里姥女(類說三十九)

50 步非烟(武公業の妻)

非烟傳(222)

51 碧玉(翁娘・喬知之の妾)

碧玉傳(223)

宋張君房
本草之詩酒

碧玉(宋張君房)

碧玉集(宋張君房)

非烟(類說三十九)

52 開盼盼(一師師)

金唐詩話(張建封故)

宋張君房
本草之詩酒

開盼盼(西海)

開盼盼(西海)

非烟(類說三十九)

53 霽小玉

唐蔣防(霍小玉傳龍威社書)

54 李娃

唐白行簡(李娃傳)
宋呂惠卿
本草之詩酒

55 薛濤

唐許有功(太平寰宇記)七言詩

宋張君房
本草之詩酒

薛濤(宋張君房)

56 賀後

唐許有功(太平寰宇記)七言詩

宋張君房
本草之詩酒

賀後(宋張君房)

57 文補遺

宋張君房(西廬詩集)蜀妓薛濤(類說三十九)同薛濤(殘)

△56 紫雲（佳紫雲、李憲の家妓）

侍兒小名錄 紫雲
(153)

△ 楚素(白居易の妻・小樊) (古興文學研究資料彙編 白居易卷 本事詩の項参照)

唐詩一編
宋詞一編
元曲一編
明詩一編
清詩一編
近詩一編

卷之三

小説(印居易の妻)

附
浙東舞女

杜陽雜編

59
素娥

唐袁郊《甘澤謠》花月之歌（類說三十六。又廣記三十六。）

花蕊夫人（後蜀主孟昶の夫人。前蜀王建の妾とは別人）

宋葉廷珪
海錄序事
帝王后妃
後山詩話
(871)
家常錄
鐵屋山叢談
花心夫人
宋張基
黑牋漫錄
九穀耕錄
(888)
古今詞話上
96
清江
洪武詩
陔餘叢考

三十九 花蕊夫人 清張培仁 妙查室叢話五 花蕊夫人

61 順聖太后徐氏 湘聖夫人妃附 (徐耕立)

十國春秋 (229)

62 趙解說 (229)

十國春秋 (229)

63 程夫人 (229)

十國春秋 (229)

64 黃氏 (229)

南唐書 (229)

65 張從恩繼室某氏 (229)

洛陽舊聞記 (229)

66 狄氏 (229)

清尊錄 (229)

67 朱淑真 魏樓居士 (229)

明顧起紳
國雅品
開品 五居士

四庫全書總目提要 一七四 斷腸集 同一九九

斷腸詞 解題

古今閨媛述事 三才藝類 爲朱

△琴操

宋・米曾能改謫漫錄

杭妓琴操

明談遺

宋本集

中集

琴操塚

△朝雲(蘇軾の妾)

蘇軾・朝雲詩序

同 憧朝雲詩序

江情妻吳氏

名媛詩歸

(226)

△

美人譜(明代歌詞)

△貞娘 真娘と同一人物か。

唐范傳
雲溪友議

宋袁野錄

待兒小名錄

真娘

二、美女の規準

(1) 美女の語義について

徐震の美人譜には美女にかかる十箇條が亦されるが、その前に美女の語義を明らかにする必要がある。ただし、この篇では十分意を盡せるほど調査ができるまいので概略を述べるに止める。かつて大木春喜教授は大妻園文に「美人譜

義考(其の二)〔五號昭和四年三月〕「同(其の二)」〔六號五・三〕、「佳人原義考」〔八號一二・三〕、「同(承前)」〔九號五三・三〕、「枕風辞の周辺—佳人を中心にして—」〔十一號、五五・三〕の詳細な論考をものとしておられる。美人語義考には「楚辭(離騷)」「宋玉美人之遲春」を中心にして、「楚辭を中心にして」という副題があり、楚辭を中心にして美人の語義について諸説を縦密に研究されたものである。六號に「美人の語義の類型について」と題して、検討された内容について例を示しながら整理されているので引用させていただく。

- (A) 本来の美人、美女、すまわち原義で用いられる美人。
- (B) 君王あるいは有徳の賢士の喻えとして用いられる美人。
- (C) 妖(巫覡)または神靈を指すに用いられる美人。

以上の三が類である。大漢和辭典 美人には①容貌の美麗を婦女。美女。③容貌の美麗を男子。美男子。美女夫。好男子。②才德の優れた人賢人。④漢代の女官の名。明ト反ふ。⑤虹の異名。⑥梅の異名。と分類される。(A)は①と(B)は④ (C)は用例から見ると大漢和辭典は④に入れている。

ここで、どうあきらめとする項目は①・④・⑤である。類書類では①は美婦人とし、⑤は美丈夫と區別している。

一方、美女といふ語は爾雅(⁴)、釋名、公孟、戰國策、秦策、史記(²²)、淮南子(²³)等に見られ、史記(²³)に「美女者惡女之仇(美女は惡女の仇)」とが、魏晉(²⁴)に「美女者醜婦之仇(美女は醜婦の仇)」と言わるよう、美女に對立する語として惡女とか醜婦の語があり、美人に對して醜人の語もある。

(四) 美女を表現する語

字書における解釋

(A) 爰雅 詳訓(4)

の委委佗佗美也。(委委佗佗は美なり) 委委も佗佗ものがやがて美しいことをいう。晉の郭璞はこれに注して、「皆佳麗美艶之貌也」(皆に佳麗美艶の貌なり)といい、北宋の邢昺は疏で「釋曰、委巡皆寛容之美也。孫炎曰、委委行之美化佗長之美。」(皆に佳麗美艶の貌なり)とある。郭風君子偕老云、委委佗佗、委縛云、委委者行可委曲蹤迹也。佗佗者、德平易也。是皆佳麗美艶之貌也。」(釋に曰く、委巡(後漢の人)曰く、寵に寛容の美なり。孫炎(三國魏の人)曰く、委委は行の美なり。佗佗は張の美なり。詩經) 郭風君子偕老に云ふ。委委佗佗は委縛に云ふ。委委とは行くに委ゆして蹤迹すべしより。佗佗は德の平易なるなり。これ皆に佳麗美艶の貌なり」と釋じてゐる。

佳麗とは容貌が整つていて美しいことをいい、後には美人をいふようになった。白居易の長恨歌に「後宮の佳麗三千人」といふのは後者に當る。(佳麗とは男女とも美しくてあでやかささまざい) これが後にはそのよすぎ美人を言つようになつた。孫炎の説によれば、詩經の孔頽達の疏に「行歩の美をいう。委曲して蹤迹するとは、身を屈して人の後に従うことをいい、婦人の從順を行動をいう。平易とは、まだやがてやすらかなさまをいふ。朱子は「詩集解」で委委佗佗は雍容自信の貌と解いており、婦人の態度がやわらかやすらかで、自ら樂しまさまで、詩經ではそのさまは山の如く河の如くと表現している。

(5) 美女爲媛(美女は媛と為す) 媛とはいたおやめきりい。媛女とは美なきい。(郭璞はこれに注して「所以結好援」)

(媛と好を結ぶ所以なり) という。邢昺は疏で「釋曰、詩鄭風君子偕老云、展如之人兮邦之媛也。故此釋之。郭云、所以結好媛。孫炎云、君子之援助然則由有美女可以援助者子。故云美女為媛。」(釋に曰く、詩鄭風君子偕老に云ふ、展に之の如き人は邦の媛なり。故に此に之を繰いて郭入穀は云ふ、媛と好を結ぶ所以なりと。孫炎曰く、君子の援助は然らば別ち美女に由りて、以つて君子を援助するなり。故に云ふ、美女を媛と爲すと。) と釋く。

邦の媛とは一國の美人という意で、國色⁽³⁾とも言ふ。孫炎の説によると媛と援との意を通わせて媛とは美女がその美によつて君子を助けたり意とする。

(B) 方言 (2)

(1) 媚嬪⁽¹⁾好也。秦曰媚。宋・魏之間謂之嬪。秦晉之間凡好而輕者謂之媚。自關而東河濟之間謂之嬪。或謂之姫。趙魏燕代之間曰妹⁽²⁾或曰妹。自關而西秦晉之故都曰姫。好其通語也。(妹・嬪は好なり。秦は媚と曰ひ。宋・魏の間には之を嬪と謂ひ。秦晉の間には凡そ好して軽き者は之を媚と謂ふ。關より東河濟の間には之を姫と謂ひ、或は妹と曰ふ。關より西秦晉の故都にては姫と曰ふ。好は其の通(用)語なり。)

(2) 鉤嬪⁽³⁾好也。青徐海岱之間曰鉤。或謂之嬪。好凡通語也。(鉤嬪は好なり。青(州)徐(州)・海(州)淮岱(泰山)の間は鉤と曰ひ、或は之を嬪と謂ふ。好は凡て通用語なり。)

(3) 姮、婿窶⁽⁴⁾豔美也。吳楚衡淮之間曰媯。宋衛晉鄭之間曰豔。陳楚周南之間曰窕。自關而西秦晉之間凡美色或謂之好、或謂之窕。故宋有館娃之宮、秦有櫟城之臺。秦晉之間美貌謂之媚。美狀為豔、美色為嫋。美心為窈。(媯・婿窶・豔は美す。吳楚衡淮の間には媯と曰ひ、南楚の外は婿と曰ひ。宋衛晉鄭の間は豔と曰ひ。陳楚周南の間は窕と曰ふ。關より西秦晉

の間は凡て美色を或は之を好と謂ひ、或は之を寵と謂ふ。故に吳に館娃之宮有り、秦に櫟城之臺有り。秦晉の間は美貌は之を娥と謂ひ、美狀を寵と爲し、美色を豔と爲し、美心を寵と爲す。

(4) 美、僕容也。自關而西凡美谷謂之美、或謂之僕。宋衛曰僕陳楚汝穎之間謂之美。(美、僕は容なり、關より西は凡て、美なる谷は之を美と謂ひ、或は之を僕と謂ふ。宋衛は僕と曰ひ、陳楚汝穎の間は之を美と謂ふ。)

前漢の揚雄は方言を書いて中國各地の言語を比較してみせた。先ず好という共通語に對して説かれる。この語に對して娥、嫋嫋、姝姝、妍、劍、嬪の各字が配されている。(3)では美に對して娃、嬪、寵、豔、娥、嬪が(4)では容に對して美、僕が當てられている。今後で釋く語を除いて解説しておこう。

劍は好の一方言であるが、好はうつくしい、みめよい(大漢和辭漢)と釋かれているが、名義抄(佛中九)ではウルハシと訓じ、鉗は同じく僧上一三に好字を當てている。サラウルハシの意である。究は美と同義といい、窮究と熟して善容(しとやか)と釋かれらるが、一字でもしことやかとがうるわしの意がある。名義抄(法下カ九)ではタラヤカナリと訓ず。同じく窮は美心と義を同じくする。美は名義抄(佛下未ニ九ヨンウルハシカホヨシ)と訓づるが、美心はここらうるほしと訓づるものであつ。窮はおくゆかしい意が原義で、美心とはゆきにこれである。後世あでやかの意に使われる。名義抄(法下五九)にヨンカスカナリと訓じ、窮究と熟してタラヤカナリとする。窮、究二字に熟した語を見ると窮治(禮論)、窮究(詩經)、使院(李斯傳)、佳治(窮究趙女)、窮眇(楊子)、劉峻(辨命論)等がある。豔はめよい、うつくしい、あでやかへ大漢和辭漢)と訓ぜられるが、豔は色つやの美しい豐滿をいう。名義抄(法中ニ六ラルハシ僧下トヨミヤサンナヨ、カナリ)と訓す。説文解字は「好而長也」と釋き、これは美へのびやかなやさをいうのであろう。美貌は美しいすがた。宋玉の神妙

誠^(文)に見える。美貌はうつくしいようすをいい、美色は美貌が心理的感覚^(方)であるのに對して色彩感覺にうつたえるものである。美貌は身體の輪郭を基調とした美しさである。美心は内面の美しさをいうので、既に述べたように心うるわしいさまをいふ。美は美容すむわち美しいすがたをいふ。様もみめよいまさをいふ。容は名義物法下^(モニシキモノハラフ)にカホカタチと訓ぜられるように人の全體像を表現する。館娃宮は吳王夫差が硯石山に作った宮殿といい、西施をここに置いた。娃は吳人が美女を稱していふことから、娃を館す宮と名づけた。左思の吳都賦等に見える。檜城之臺はどのようか臺かほつきりしないが美女をつるしで塗りこめた部屋に入れておいたものか。

(C) 説文解字を中心とした字書^(ア)（説文解字からの引用は書名を省略する。清段玉裁 説文解字注を用いた。）
 の好^(ハシ)、妹^(マメ)也、从女子^(シテ)（解は妹なり。女・子に从ふ。）段玉裁は本は女子の美しいのを好といったが、後にはすべての美について言ったものと釋く。妹は女の美しいのをいふ。

(2) 姝^(シテ)巧^(ハシ)也、詩曰桃之夭夭，女子笑矣。从笑聲^(シテ)。聲^(シテ)は巧なり。詩經に曰く、桃の夭夭たりは女子の笑ふ聲^(シテ)也。女に从ひ笑聲^(シテ)也。）妹は夭、妹と通用文字である。詩經の周南 桃夭では夭字を使つのが一般である。巧は品をつくること。さあめく、あてやかの意。詩經の妹は（若く美しい）女子が笑つさま。夭夭は桃の花の盛んなのを若く美しい女性にたとえだもの。毛傳によれば「少壯をいい」朱子の詩集傳は少好（若く美しい）聲^(シテ)をいふとする。名義物法中ニカホヨシ。③始^(シテ)、婆^(ハシ)也、从女今聲。一曰善笑矣。始^(シテ)は婆娘なり。女に从ひ今聲なり。一に善く笑ふ兒なり。婆娘は品よく笑うさまをいふ。段注は汪端 淑娘善笑兒 を援用する。

(4) 姉^(シテ)、彷彿^(ハシ)のに見える語。みめよく身體^(シテ)なこと。身體とは身のこと^(シテ)。やがておもくなじうまをいふ。趙

飛燕や楊貴妃の寵愛された原因の一つか身のこなーの輕やかであつたことゝ言われている。

(5) 妹 終好也。从女友聲。詩曰靜女其終。終は好なり。女に从ひ友聲なり。詩曰靜風靜

女には娘は妹字である。兩字同義でみのうらわしいいさむをいう。静女は貞淑な女性をいいことやがる美しさをいつ。

(6) 姉 終美婦也。从女友聲。終は美婦なり。女に从ひ友聲なり。みめよい婦人をいう。名義傳主ウルハシナマメイ

タリカホヨンヤサンタラヤカニ

の姫 終、少女也。从女毛聲。(終は少女なり。女に从ひ毛聲なり。)段注は唐瀬美女を引く。說文解字はおとめの意とするが、おとめは若美しいことから、若く美しい女はさうようになつたのであろう。名義傳主ウルハシナマメイ。

(8) 段 脱三女為歟。歟美也。从女尚聲。(脱、三女を歟と爲す。歟は美なり。)詩經の唐風綿繆に「今夕何夕見此

粲者」(今夕は何の夕ぞ此の粲者を見る)とあって、その絆縛に「三女為粲。大夫一妻二妾(三女を粲と爲す。大夫は一妻二妾

さう。)と言うのに基づく。大夫は一妻二妾すむち三女を持つことができる。「この三女が美女であるとするのであるが、

異説もあり定め難い。今は說文解字に従つて歟は美しい(女)としておこう。ちなみに詩經の粲(歟と通用する)を男(夫)

とする見解もある。孔頤達の疏に粲は美しき物であり、衆女の美稱とする。

(9) 妹 終好也。从女朱聲。(終は好なり。女に从ひ朱聲なり。)段注は(6)で引いた詩經の鄭風靜女の毛傳妹は美色な

り及び衛風の毛傳の「妹頃見(妹は頃なるさま)、齊風の毛傳の「初昏之見(初昏婚のさま)」を用つて文に随つて訓き鳥せといつていい。すまわち、鄭風の例はみめよいの意、衛風の例はしたがうさま、齊風の例は初婚の時うしろしきを意味する。今、鄭風にそつて考えると、鄭玄はこれに注して、女徳とは貞潔でなければならぬ。しかる後に徳を保つこと

ができる。美色(みあざめこと)はしから後に安んずることができ。またよく禮に服従し、禮を待つて行動し、自ら防ぐこと城陽の如くする。故に愛すべきものであらとする。やや理に走り過ぎる解釋であるが、漢代の女性觀の然らしきものであらう。経義抄 佛中ナニ ヨシウルハシ カホヨシ。

(1) 姥好也。从女交聲。(経は好す。女に从ひ交聲なり) 経信のゆえもすでに見たが、般注に姥は容體壯大の好へ美だといふ。姿が立派で若くはよかと美しさをいふのであらう。名義抄 佛中ハ コブと訓す。嫉治、嫉麗等と熟す。

(2) 姥影 美女也。从女多聲。(経は美女なり。女に从ひ多聲) 姥はおやめをいう。姥好と熟す。

(3) 妊術 技也。从女并聲。(術は技也。…女に从ひ并聲なり) 読文解字に経信のゆえいいうみよい意は読みとれない。ただこの技を段注は巧也と注している。汰漢和辭典ではさかしい。たくみと訓じていらが、巧は(2)で口品をつくることと釋されており、妊娠(顔氏家訓名譽「美しいが」)妊娠(抱母子逸民「美貌」)等美しい意として一般に使われていた。

経義抄 佛中ウルハシ ヤスシ カホヨシ。

(4) 姥始 開體行姫姥也。从女危聲。(娘は開體にして行くこと姫姥たり。女に从ひ危聲なり) 開體とはしとやかち身のこなし。姥始は美しいよま。姥はしとやかにすすむよまと釋く。姫姥と熟す。経義抄 佛中古 ミヤヒカニ。

(5) 姥姑 圓深目亮也。从女圭聲。或曰吳楚之聞。謂好姫。(姥は圓く深き目の亮す。女に从ひ圭聲なり。或は曰く、吳楚の間好を姫と謂ふたりと) 吳楚云々の文は玄信(6)による。みようよまをいふ。まだ美女の意。姫姣、姫鬟、姫婿等に熟す。経義抄 佛中ハ ヨラシキ女(良き女の意)。

(6) 姬經 長好也。从女巫聲。(經は長く好す。女に从ひ巫聲なり) 經はすううとしてみよいともいふ。姫娥

と熟す。名儀妙佛中三ヨ。

(6) 婕、嬪、帝堯之女舜妻。嬪皇字也。从女我聲。秦晉謂好曰姪娥。(嬪は帝堯の女舜の妻娥皇の字す。女に从女我聲なり。秦晉好を謂ひて姪娥と曰ふ。) (方言の(12)に見る如く、みめよい意。娥娥、娥故、娥輝、娥嫋、娥眉、娥聲等に熟す。名儀妙佛中三ヨシラルハシ。)

(7) 姮、嬌好也。从女兒聲。(嬌は好す。女に从女兒聲なり。) 娇はみめよつま。

嬢、嬢嬢也。从女阿聲。(嬢は嬢嬢なり。女に从女阿聲なり。) 嬢は説文解字の解釋ではたおやかなさまの意は讀みれどいいが、嬢嬢とはまだまらぬ意であつて、これからなよなよとした女性の意に用いられたと考えておか障さい。阿聲は曹植の洛神賦(文)に用いられ、美しくたおやかなよまきいつ。名儀妙佛中三ヨシラヤカナリ。

(8) 婦、婉順也。从女宛聲。春秋傳曰太子寤婉。(婉は順なり。女に从女宛聲なり。春秋傳に曰く太子の寤は婉なり。) 論衡序は婉と順てたゞすすむの意に解釋している。春秋傳(左氏傳)は段注が指摘する如く襄公二十六年の傳の文に基づく。段注は詩經の鄭風野有蔓草、清揚婉兮の傳に「婉然は美也」とあるのを引き、また齊風の猗嗟の傳に「婉は好き者目也」を注記しておる。ここでは眉目的美しい意に釋かれる。婉謐、婉淑、婉諱、婉嫋、婉麗等に熟す。

(9) 媚、媒也。从女果聲。一曰果敢也。一曰女侍曰媒。讀若鶴。一曰若委。孟軻曰：舜為天子、ニ女媒。(媒は媒也なり。女に从女果聲なり。) 一曰く果敢也。一曰く女侍を媒と曰ひ讀へて鶴の若し。一曰く李の若し。孟軻曰く、舜天子を爲りニ女媒也。媒姬はたをやがで美しい也。媒姬、媒媛と熟す。

(10) 媚、媒也。一曰弱也。从女厄聲。(媚は媒也なり。) 一曰く弱也。女に从女厄聲なり。)

(22) 媚 體德好也。从女官聲。讀若楚郤宛。(媚是體德好なり。女に从ひ官聲なり。讀んで楚の郤宛の若し。) 媚は品よく美しいさま。郤宛は春秋楚の人。媚は集韻に烏丸切音別(烏丸の切音は別)とあり。宛と類似音であるとともに、宛と媚(みゆ)とは同音であることがから意を通わせたものが。名義抄佛中十六體得好見。

(23) 媚 煙 色好也。从女美聲。(煙は色好きなり。女に从ひ美聲なり。) 媚はみめうるわしい意。

(24) 媚 煙 好兒。从女而聲。(煙は好き兒なり。女に从ひ而聲なり。) 煙はかあよいさまをいう。媚に通用する。集韻に
媚少弱也。一日好兒或作媚。(媚は少く弱きなり。) に好き兒なり。或は媚に作る)とあることからみて、若美しいさまをいうのであろう。

(25) 媚 煙 目裏好也。从女苗聲。(煙は媚濃好きなり。女に从ひ苗聲なり。) 江信の(い)にはみめよいさまをいう。媚の語意は目もの美しいさまをいう。名義抄佛中十四好。通俗文(い)には容麗しいものを媚といふと釋く。

(26) 媚 煙 美女也。人所欲援也。从女爰聲。詩曰邦之媛兮。(媛は美女なり。人の援かんと欲する所なり。女に从ひ爰聲なり。) 詩經に曰く、邦の媛すうと。段注に「肅風、邦之媛也。傳曰、美女爲媛。援者引也。謂人所欲引爲己助者也。鄭箋詩云、邦人所依倚以爲援助也。援、援也。以聲韻爲訓。《詩經肅風君子偕老》邦の媛す。」毛傳曰く、美女を媛と爲す。援とは引く之意なり。人の引いて己の助けを爲さんと欲する所の者を謂ひす。鄭箋の詩に云ふ、邦の人の依倚して以つて援助を爲すすと。援と媛とは聲韻を以つて訓と爲す。」という。邦の媛とは一國の美女をいう。援とは美によつて援助してくれらる美女をいふ。聲韻とは二字同じ尾韻をもつて成る熟語をいふが、この例だと援と媛が同韻で意味を通用させていることをいふ。

名義抄佛中十二 媚援 タラヤカナリ ウルハシ ニホフ。 漢雅(2) 参照。

- (26) 嬢 離、曲肩行見。从女名聲。(離は肩を曲げて行く意なり。女に从ひ名聲なり。) 段注は楚辭 九思 陽時法
に基いて、要嬢とは舞容(舞ひ姿)とする。同く、廣韻では嬢は美好なりと釋く。肩を曲げて歩く姿あるいは舞
姿を美好(みめうらわしい)と考えたのであろう。九思は後漢の王逸の作とされるが、今本要嬢は要嬢とする。注は朱
子のつけたもの。嬢は嬢の誤りか。嬢は嬌の俗字。名義抄 佛中ナミ ラカレメ ヨシ。
- (27) 嬢 機好也从女旋聲。(機は好きす。女に从ひ旋聲す。) 名義抄 佛中ナセ コノム。
- (28) 嬢 想也从女規聲。讀若矣。秦晉謂細嫗。(想は嬢なり。女に从ひ規聲なり。讀んで秦の若し。秦晉にては細嫗
と謂ふ。) 細嫗とは女體の細くしなやかすさま。清の戴震著方言疏證によると、嫗(唐本は魏)細也。自關而西、秦
晉之間、凡細而有容、謂之嫗。(嫗は細さう、闊よう西秦晉の間、凡て細くして容あたま嫗といふ)といい、細體の女性さい
う。
- (29) 嬢 嫣、說也。从女眉聲。(嬢は說なり。女に从ひ眉聲す。) 嬢は說悦ぶ意。こびり、みめよい等の語意
もある。名義抄 佛中ナラ コビ ラクシラス コフル。
- (30) 嬢 嫣、嬢也。从女𠀤聲。(𠀤は嬢耳。女に从ひ𠀤聲す。) 嫣はこびる意。嬢媚と孰す。名義抄 佛中ハコフ。
- (31) 嬢 嫣、南楚之外、謂好曰嬢。从女惜省聲。(嬢は南楚の外にては好を謂すに嬢と曰ふ。女に从ひ惜の省聲なり。) 疎注
の如にみえる。好と同義の方言で、みめよいの意。嬢の省聲とは嬢の畫を省いた隠が聲音を表わす。嬢は嬢とも書
く。方言の如ては嬢、嬢𡇔、𡇔是は美なりと釋く。
- (32) 嬢 嫣、嫗雅也。从女聞聲。(嫗は嫗雅なり。女に从ひ聞聲す。) 嫣雅はみやびやか、しとやかの意。名義抄 佛中ナラ

ルパン ミヤビカナリ シツカナリ。

(34) 嫠 説文解字では女の嬪字とする。方言(2)に好見とする。僚と通用字。僚儻好見。从人聲。儻は好見なり。人に从ひ聲をす。) 嫠字の段注にも毛詩傳及許人部曰僚好見。蓋亦可用此字。(毛詩傳及び許慎の說文解字) の人部に曰く、好見なりと。蓋亦亦た此の字も同べし。)と言つてゐる。毛詩傳は陳風月出の傳。

(35) 嫣 嫣 靜好也。从女畫聲。(徐鍊は静かに好見なり。女に从ひ畫聲をす。) 嫣顎に嫗、分明好見。(嫗は分明にして如き貌なり。) という。目鼻立ちの整つた美しいさまをいう。名義抄佛中六 ミヤビカニ。

(36) 嬪 説文解字には復字の文中に嬪媛の形で見える。嬪絹絹女字也。从女須聲。楚書曰。女須妻之嬪媛。賈侍中說。楚人謂婦爲嬪。須者是女子也。女に从ひ須聲をす。楚詞曰。女嬪之嬪媛。賈侍中說して楚人は姉を謂ひて嬪と爲す。) 屈原の楚辭の離騷と同じく東方朔の七諫の哀命に女嬪の詩が見えながら後漢の王逸の注では女嬪は屈原の姉とする。賈侍中は楚辭の惜誓の作者にも擬せられる前漢の董誼であつたがその注は見えぬ。嬪媛は王逸注して牽引のことしていい心引かれることを言つ。さてこの嬪は宋の張有の復古編の說文新附嬪に「嬪媛は態なり」と說かれている。嬪の語義は姿態のあざやかなさまをさう。嬪媛は身のこなしの軽く柔らかさのさまをさう。名義抄佛中九 嫣ヨシタラヤカル 同備中十三 嫮媛 カニ 伏羲の張衡の絃惊蠻に「增嬪以此時」(嬪媛を増して以つて此時す)とあり、薛綜の注に「嬪媛此易、姿態妖蠻也」(嬪媛此易とは姿態妖蠻なり)とある。説文解字には見えずこの語は說文解字には見えず説文新附に「嬪姿也」(嬪は姿なり。嬪はめよいままである)といふ。説文解字で媛に通用する。みめよい姿なり。めよい女の姿態として身をくねらせてすまなよとすらりまきい。

おまかしい意も生まれた。嬌妹、嬌逸、嬌麗、嬌豔、嬌嬈、嬌嬢等に熟す。名義抄 佛中十三 コビコフル。

(37) 嬌嬢、直好見从女贊聲。一曰嬈也。(嬌は直く好き見す。女に从ひ贊聲す。) に曰く嬈す。直好とはすらりとしてみめよ。嬈はあでやかさま。名義抄 佛中十三 コム。

(38) 嬌嬢、好也。从女艸聲。讀若蜀郡布名。(嬌嬢は好也。女に从ひ艸聲す。) 読んで蜀郡の布の名の若し。」段注:

司馬相如の上林賦を引いて「殊燒嬌嬢、郭璞曰。皆骨體瘦弱長鬚見也」(殊燒嬌嬢たり。郭璞の注)曰く皆骨體
瘦弱長鬚の兒也。)といふ。嬌嬢とはからだつきがしなやかで太高く立ちめかしい。蜀郡の布とは段注に織は蜀の白細
布だという。織は蜀綾であり、嬌と通用字である娟と同音であることから、娟と讀むとするのであろう。嬌は康熙字典に
鐘鼎文を引いて「以二目斜視也」(二の目を以つて斜めに視るなり)といい、流し目をする女の顔態を表すものであろう。
また集韻には「好也、蛾眉也」(好きなり、蛾眉なり)ともいう。蛾眉はかいこの眉のようさうつくしい眉の貌をいう。

(39) 嫣嬢、女字也。从女燕聲。(嬢は女の字す。女に从ひ燕聲す。)段注に「毛詩燕婉之求傳曰。燕安婉順也。韓詩
作嬢嬢。嬢嬢好見。見西京賦注。(毛詩^{卽風新臺}燕婉之求也。傳曰。安。婉順也。韓詩は嬢嬢に作
る。嬢嬢は好き見る。)張衡の西京賦注に見が)段注の例により、しとやかさ意が認められる。名義抄 佛中十四 嫣嬢
タラヤカナリ ウルハシ ヤハラカナリ。同佛中十四 嫣嬢タラヤカナリ。

(40) 嫣嬢、日好也。从女贊聲。(嬢は日く好き見す。女に从ひ贊聲す。)

説文解字を中心とした字書類には右の外に美女を表現する語はまだあるが、別の機会に譲ることにしたい。また美女
を表現する語は女偏の文字に限らざる。爾雅や方言にその例を見たが、これもその一部に過ぎぬ。この際は資料に參

ねうことにするが、例を二三拾つてみると、絶世の美女あるいは國一番の美女を國色(くわいろ)といふし、同義語として國妹、國客、國媛等の語がある。また佳麗(けり)、粲美(さんび)、至妙(しほう)、華容(けいよう)等おびただしいものがある。これらについてはよう十分な研究を待つて發表したい。

(1) 徐震の美人譜に於ける美女の屬性

美人譜には既に引いた美女三十六人の後に、美女遺跡及び、容、韻、技、事、居、候、飾、助、饌、趣に分けて美女にまつわる諸事象が述べられており、容以下十箇條は容貌以下美女にまつわる屬性が述べられている。美女遺跡及び之容のみ解説を加えてみよう。

美人遺跡有足冷人鋪魂者

浣紗石 繡屏廊 琴台 青冢 蒲東 楊子雲 蘇小墓 真娘墓

(1) 浣紗石 西施^が草薙山(西施山)の麓で沙を流つたといふ石(西施)^(參照)《吳越春秋 司馬遷陰謀外傳》の注に引く付隨に事の次第が見える。また李白の詩に西施謝浣紗(西施昔日浣紗津石上青苔思殺人^唐)^(切)、盧仝の題西施浣紗(詩序)等にその故事が詠われている。又唐の陸廣微《吳地記》、《會稽記》(諸郡卷)にも見える。

(2) 繡屏廊

吳王夫差が作った廊下で、工を歩くと音を發したといふ。(《漢書志》、《繡牘記》、《程氏佩文韻府所收》、《誠齋雜記》)

(3)

宋范成大
吳郡志へも續 繡屏廊在靈巖山寺相傳 吳王令西施輩步屢廊虛而響故名今寺中以圓照塔前小斜廊爲之。

白樂天亦名鶴巣廊。(法王禹偁)廊壞空留鄉耆屢名。爲因西子遠廊行。可憐伍相終庵諫。誰記當時家履聲。云々。(守山閣叢書)一徧屢廊は靈巖山寺なり。相傳よ。吳王西施輩をして屢廊を歩ましむ。虛にして響く。故に名く。今寺中の圓照塔前的小斜廊を以つて之と爲す。白樂天は亦大鶴巣廊と名づく。(法王禹偁)廊壞れ空しく留む響屢の名。西子廊を邊り行くに因つての爲なり。憐古可し伍相終に庵諫す。誰が記さむ當時曳履の聲。

今瀬納の引く本支によると「…吳王建廊而虛其下。令西施與宮人步屢繞之。則鄉音今靈巖寺圓照塔前小斜廊即英社」(…吳王廊を建つ。而して其の下を虛にして、西施と宮人とをして歩いて之を屢繞せしむれば、則ち響く。今の靈巖寺圓照塔前的小斜廊は即ち其の址なり。)となつていら。詩の伍相は吳の祖。伍眞字は子胥。西施を越から受けたのを諱め死を賜つた。

(3) 琴台(臺)

西施が琴を彈じたといわれる臺。

●吳郡志ハ古蹟 館娃宮。吳越春秋、吳地記、皆云閻闍城西有山號硯石山。山在吳縣西三十里。上有館娃宮。又方言曰吳有館娃宮。宮今靈巖寺即其地也。宥琴臺、西施洞、硯池、觀花池。山前有採香徑。皆宮之故跡。(館娃宮)吳越春秋、吳地記には皆云、閻闍城の西に山有り、硯石山と號す。山は吳縣の西三十里に在り。上に館娃宮有り。又方言に曰く、吳に館娃宮有り。宮は今の靈巖寺が即ち其の地なり。山に(圓聞の義)宥琴臺、西施洞、硯池、觀花池有り。山前に採香徑有り。皆宮の故跡なり。(4) 青塚(冢) 王昭君の墓。絳遠省歸綏縣の南にある。湖中の沙漠には白く色褪せた草が多い中で、王昭君の冢のみ青々としていたので、青冢と號した。清の胡鳳丹輯の清家志(清鑑叢書ナハ)がある。

●歸州圖經 胡中多白草。王昭君冢號青冢。號して青冢と曰ふ。佩文瀬納
(青冢所引)

太平寰宇記三十六 振武軍金河縣 青家在縣西北。漢王昭君葬於此。其上草色常青。故曰青冢。(青冢は縣の西北に在り。漢の王昭君を此に葬る。其の上草色常に青し。故に青冢と曰ふ。)

(5) 蒲東 未詳。

(6) 燕子樓 唐の貞元中、張尚書の築いた樓で、愛妾の關盼盼を住わせた。江蘇省銅山縣城の西北隅にあった。

○燕子樓序 唐の貞元中 徐州故張尚書有愛妾曰盼盼善歌舞雅多風態予爲校書郎時過徐泗間張尚書宴予酒酣出盼盼以佐歡飲甚予因贈詩云醉嬌勝不得風嬌牡丹花一歡而去適後絕不相聞迨終僅一紀矣昨日司勳員外郎張仲素續之訪予因吟新詩有燕子樓三首詞甚婉麗詰其由爲盼盼作也續之從事武寧軍累年頗知盼盼始末云尚書既歿歸葬東洛而舊遊因同其題作三絕句。一中國古異文集基本叢書伯居房集據紹興本(徐州の故張尚書に愛妾有りて盼盼と曰ひ歌舞を善くして雅て風態多し。予れ校書郎爲りて時徐泗の間に遊べり。張尚書予れに宴し酒酣にして盼盼を出し以つて歡を佐け歡甚。予れ因りて詩を贈りて云ふ。醉嬌勝得す風嬌たり牡丹花一歡して去り適後絶えて相聞せず、盼盼に追ひて僅かに一紀なり。昨日司勳員外郎張仲素續之予れを訪ね因りて新詩を吟じ燕子樓三首有之詞甚ば婉麗なり。其の由を詰するに盼盼の爲に作りしなり。續之武寧軍に從事するに累年頗ら盼盼の始末を知れり。云ふ。尚書既に歿し歸して東洛に葬れり。而して彭城に張氏の墓有り。第中に小樓有り。燕子樓名づく。盼盼舊愛を念ひて嫁がず是の樓に居ること十餘年幽獨塊然として今に尚ほ在りと。予れ續之の新詩を愛て彭城の舊遊に感じ因りて其れと題を同じうし三絶句を作り。)讀下しつづては近くは田中克己教授の伯樂氏(漢詩大系)があらが筆者の見解によつて

讀下しているので必ずしも一致しないところもある。燕子樓の名妓盼盼は全唐詩では盼盼とすつてゐるが、底本の字を尋ねてそのままにしておいた。張仲素の字績之の續は繪と書くものもあるが、兩字は通用字である。

(4)蘇小墓 南齊の錢塘の美妓³²蘇小小³³の墓。蘇小小と稱する妓は南齊にも居たが、これは前者を指す。その墓は今の浙江省杭縣の西湖の西冷橋のほとりにある。伍鑑新詠ナに錢塘一作塘蘇小小歌一首があり、また樂府詩集ハナヌにも同じく蘇小小歌が見える。

●唐陸廣毅 嘉興縣：前有晉妓錢塘蘇小小墓。(嘉興縣：前に晉妓錢塘蘇小小³⁴の墓有り。)

●西湖佳話 西冷韻述：在西冷橋側擇了一塊高地……造成一座墳墓……葬於西冷墳墓之内。立一石碑上題曰：錢塘蘇小小墓。(西冷橋の側に吉い地を擇び：墳墓を造成し、西冷の墳墓の内に葬り、石碑を立て、上に題して曰った。錢塘蘇小小³⁵の墓と)

●樂府詩集 蘇小小歌(解題)一曰：錢塘蘇小小歌。樂府廣題曰：蘇小小錢塘名倡也。蓋南齊時人。西陵在錢塘江之西。歌云：西陵松柏下是也。(一に錢塘蘇小小歌と曰ふ。樂府廣題に曰く、蘇小小は錢塘の名倡なり。蓋し南齊の時の人なり。西陵は錢塘江の西に在り。歌に云ふ、西陵松柏下とは是れす。)

(5)真娘墓 真娘と真娘は同一人物であろう。真娘は唐の吳園の妓女。墓は江蘇省吳縣虎丘山劍池の西にある。

●吳地記 虎丘山：在吳縣西北九里二百步。其山本晉司徒王珣與弟司空王珉之別墅。咸和二年舍山為東西二寺。立祠於山寺側有真娘墓。吳園之往麗也。行客才子多題詩墓上。有寧子鏞銘作詩一絕。其後人稍稍忘筆。虎丘山：是吳縣の西北九里二百歩に在り。其の山は本と晉の司徒王珣と弟の司空王珉との別墅なり。咸和二年山に舍り東西二寺を爲り、祠を山上に

立マ。寺の側に真娘の墓有り。吳國の佳麗なり。行客才子多く詩を墓上に題せり。舉子の鍾銘等もの有り。詩一絶を作れり。其の後人稍稍其筆す。)

●雲溪友議六真娘者吳國之佳人也。時人比於錢唐蘇小小。死葬吳宮之側。行客慕真娘麗競爲詩。題於墓樹。櫛比鱗次。有與予譚錄者吳門秀逸之士也。因書絕句以贈後之來者。觀其題處。經遊之者稍自筆矣。詩曰虎丘山下塚蘿葉松柏蕭條盡可悲。何事世人偏重色。真娘墓上獨題詩。(真娘は吳國の佳人なり。時人は錢唐の蘇小小に比せり。死して吳宮の側に葬れり。行客は其の美貌を慕ひ競ひて詩を爲り。墓樹に題すること櫛比鱗次(子)せり。學子の譚錄する者有り。吳門の秀逸の士なり。因りて絶句を書き以つて後に來る者に贈せり。其の題する處を觀て、經遊の者稍ぞ自筆す。詩に曰く虎丘山下塚蘿葉松柏蕭條として盡く悲む可し。何事ぞ世人偏に色を重ずる。真娘墓上獨り詩を題すと。)

●白居易真娘墓墓在虎丘寺。真娘墓虎丘道。不識真娘鏡中面。唯見真娘墓頭草。霜摧桃李風折蓮。真娘死時猶少年。脂膚裏子不牢固。世間有物難留連。難留連易銷歇。塞北花沒南雲。(真娘の墓虎丘の道識らず真娘鏡中の面。唯見る真娘墓頭の草。霜に桃李を摧き風は蓮を折り。真娘死せる時猶ほ少年なり。脂膚裏子牢固せらず世間に物有れども留連し難し。留連し難く銷歇易きは塞北の花沒南雲なり。—白居易集(ナニ)

一之容

蝶首 杏唇 犀齒 酥乳 遠山眉 秋波 美萼臉 雲鷺 玉筍 美指 楊柳腰 步移蓮 不肥不瘦長短適宜

右は美人の容貌を表現する語を示したものである。

蝶首 蝶はなつぜぬ。あるいはむぎわらせぬという蝶の一種。蝶が廣く色が白いために美人の顔に例えられる。

●詩經 衛碩人(詩) 碩人其頤。手如柔荑，膚如凝脂，領如蝤蛴，齒如瓠犀。臻首蛾眉，巧笑倩兮，美目盼兮。(碩人其頤)

「手は柔荑の如く、膚は凝脂の如く、領は蝤蛴の如く、齒は瓠犀の如く、臻首蛾眉巧笑倩兮、美目盼兮。」

硕人は衛人の莊姜が美しいが、子を無きを哀れんで作られた詩。頤は長貌と注されるが、だけにさしと譯される。この詩で莊姜の手膚領齒、首眉(笑は顔)の美しさを述べるが、これは後世の美女の描寫法、造形的典型となるものである。柔荑とはやわらかさ新生の荑(えだ)がやさしい手のやわらかくしさやかなに見える。凝脂は脂をねり固めたようにな澤のあるさま。膚のつやが白いさわやかさの美しい。蝤蛴はきくいもし、長く白いので、臻の細長く白いのに見える。瓠犀はひざごの中のたね。白く美しい齒すびの美人に例える。齒有は細く美しく曲ったかいこのまゆ。美人のまゆに見える。巧笑とは笑顔、倩は口との美しいのをいう。美目盼たりとは、まなぐの美しいのをいう。盼とする本文院刻本があるが誤り。盼は娘んでにらむとが、がえりかるの意。盼は日の白目と黒目(まつまつめ)をさうしてゐる意、ないしは黒目(まつまつめ)をさうのをいう。毛傳には「白黒分」(白黒分明)といふ。經傳釋文では「韓詩云墨色也。(韓詩曰く、黒色なり。)」と釋く。

(2)杏唇 あんずの實のよう赤いくちびる。ただし、杏眼桃腮(とうげんとうさい)あるいは杏臉桃腮(とうげんとうさい)という表現が一般に用いられる。唇の表現としては宋齋若井(朱唇丹唇)の若井、宋玉(神女賦)、丹唇(曹植洛神賦)、紫唇青齒(雀賈氏依聲等)が見られる。ここにいう杏唇は杏唇の誤りかとも思える。李賀の詩には濃蛾置柳杏唇醉(濃蛾置柳杏唇醉)とあり、濃蛾は色こまやかな蛾眉、置柳は柳の糸のようにがくすつて垂れている髪、杏唇は良い香りのくちびる。尚、杏臉桃腮とはあんずの花のよつに白い顔と桃の花のよつに紅い頬をいふ。

○の唇齒 (1)の鱗首に引いた詩經の「齒は瓠犀の如く」のもとづく。

(4) 酥乳 酥は牛や羊の乳がう造った飲料。清くさめらかなので、髪や膚等のつやのある美しさに例えられる。酥胸は肌の白くさめらかさ胸。酥髮は「やのある美しい髪、酥脣は白くさめらかさうでぞ」という。

・剪燈餘話 燭鸞鸞傳 錄得賈學士蘭房謡歌六題曰。雲鬟、檀口、柳眉酥乳纖指香鉤凡六首。…粉香汗濕瑤琴軫春退酥體白鳳膏 洛麗檀郎潤弄處露華涼沁紫蒲萄 右酥乳：（晋學士蘭房の詠歌に六題を詠せしを録し得たり。曰く、穿鬟、檀口、柳眉、酥乳、纖指香鉤以て六首。…粉香汗濕す瑤琴の軟、春透す酥體白鳳の膏。浴し罷ぐで檀郎押弄する處、露華涼しく沁す紫蒲萄…）

右の例は飲み物としての酥乳であるが、鸞鸞といふ美女を連想させるもので、この詠が底流としてあることに疑いはない。この鸞鸞は字を文鶴といい、幼い時に香脂を飲食に難みて嘔わせた。長して體が香しかつたといふ。

（4）遠山眉 美しい眉を遠山に喩えたもの。（西京雜記）卓文君に見える。

・西京雜記 司馬相如初與卓文君還成都…文君姣好眉色如望遠山。臉際常若芙蓉、肌膚滑如脂。（司馬相如、初め卓文君と成都に還る。…文君姣好なり、眉色は遠山を毫もが如く、臉の際は芙蓉の若く、肌膚は柔滑びて脂の如し。）

この遠山眉については遠山黛といふ語もあり、（無誠外傳）にも見える。遠山眉は薄く描き、遠山のくすんださまに似たどる。

(5) 秋波 美人の涼しい目あとに例えられる。波は楚辭招魂に「美人既醉、朱顏酡些、恍光眇視目增波些。」（美人既醉、朱顏酡り。恍光眇視して、目波を増す。）とあり、王逸の注によると「波は華さう、美女酣樂し、顧望嬉戯し、身に光文有り、此視曲眞す、目采照然として自黒分明にして、水の波の華を重ねが若し。」と言う。美女が酒宴に酔い、美しい顔にそまり、戯れ

たまばやいばかりの美女がなごめ目をする。自黒分明の美しい目は水の波の華を重ねるようだといふ。秋波とはこれに源を

發し、「佳人未肯回秋波」(蘇軾「自作詩」)や「故事成語考」も身體のような故事情じも秋波と熟して使われるようになる。

(6) 美容臉 美容は蓮の花。蓮の花のように美しい臉(みおほせき)いう。(6)に引いた幽雅雜記参照。

(7) 雲鬢 髪飾は髪飾に同じ。雲のように美しい髪飾の毛。雲鬟ともい。『雲鬟綠鬢李白久別離』と云。雲鬟不勝愁(くわんふせいしゅう)

(張正見「仙家隱居詩」)とか數えるに暇がないほどである。就中張後歌に「雲鬟花顏金步搖」と詠じられてより、知らぬ者の無いほどこれが渡つた。

(8) 玉筍 美人の指形形容した語。筍は美しくのびただけのこと。韓偓の『手詩詩』に「腕有膚紅玉筍芽」と詠じられていく。

(9) 美指 つばさのようやさしくしゃやかな指。(9)の詩經参照。

(10) 楊柳腰 楊柳のようになややかで腰の美女。やあがいしの美女をいう。白居易の「漫姿小蠻」を詠じた(楊柳枝)に基

づく。

●本草詩事感 白尚書有妓樊素善歌、小蠻善舞。嘗爲詩曰。櫻桃樊素口、楊柳小蠻腰。年既高邁而小蠻方豐贊乃作

楊柳枝辭以託意。(白尚書「居易」)に妓有り。樊素は歌を善くし、小蠻は舞を善くす。嘗て詩を寫つて曰く。櫻桃樊素の口、楊柳小蠻の腰と。年既に高邁して、小蠻方に豐贊せり。乃つて楊柳枝の辭を作り、以つて意を託す。一樂府詩集八十一楊柳枝解題の本文による。流布していふ(本草詩事感と異同あり。)

(11) 步步蓮 南齊の東昏侯が金の蓮花を作り、潘妃にその上を歩ませた故事。一步ごとに蓮花が生ずる意で、美人がゆ

ちやかに歩くさまに例える。南宋(937)《瀛清集》(23)に見まる。

・南史(梁)²³廢帝東昏侯
鑿金爲蓮花以帖地令潘妃行其上曰此步移生蓮花也。(金を鑿ちて蓮花を爲り)以って地に貼り潘妃をして其の上を行がしめて曰く此歩移生蓮花也。(金を鑿ちて蓮花を爲り)以って地に貼り潘妃

(3)不肥不瘦長短適宜 曹植の《洛神賦》に「環綈得中脩短合度」(環綈すと復脩短度に合ふ)とある。
次に二以下を解く老婆があらが、本文を引くのみで省略する。美人畫の題にも色々ものが多い。
ニ之額(詩賦の題とするものが取り上げられてゐる。)

簾内影 蒼苔履跡 倚欄待月 錦抱雲和 歌餘舞倦時 嫣然巧笑 臨去秋波へ轉

三之技(美女の妓藝に關わるもの)

彈琴 吟詩 圖棋 寫畫 跳踢 臨池夢怡 刺繡 織錦 吹簫 抹牌 紗襪 深諳音律 雙陸

四之事(美女のすらごう)

謹蘭 煎茶 金盆弄月 焚香 碎絮 春曉看花 摆蝶 裁剪 調和五味 漆紅指甲 關草 教鶲鶴念詩

五之居(美人の住む所)。

金居 玉樓 珠簾 雲母屏 犀牙牀 芙蓉帳 翠屏

六之候 美女と季節の風物。

金谷花開 畫船明月 雲暖珠簾 独坐銀燭 夕陽芳草 雨打芭蕉

七之飾(調度品、裝身具)

珠衫絹被 八幅繡裙 凤頭鞋 扇簪 辟寒釵 玉珮 鴛鴦帶 明璫 翠翹

八之助（調度、裝身具小物、書物。）

象梳 菱花 玉鏡台 兔頭 錦箋 端硯 緑綺琴 玉簫 級扇 毛詩 玉台香匱諸集 韻書 俊婢 金爐 古瓶

玉合 異香 名花

九之饌（食物。）

各色時果 鮮荔枝魚鮓 羊羔 美醞 山珍海味 松蘿徑山鶴藻佳肴 各色巧製小菜

十之趣（風趣。）

醉倚郎肩 蘭湯書沐 枕邊嬌笑 眼色偷憐 指彈竹鶯 微含醜意

三 美女の描寫の方法

—曹植の洛神賦と後漢書梁冀妻について—

文選に收められた曹植の洛神賦は河洛の神宓妃の傳説に基いて作られたもので、絶世の美女を美辭麗句を使って描き上げたものとして、詩經の頑人等とともに後の美女描寫の典型を示すものである。

・洛神賦 其形也，翩若驚鴻，婉若游龍，榮耀秋菊，華茂春松，豎鱗兮若雲之蔽月，飄飄兮若流風之迴雪，遠而望之，皎若太陽升朝霞，近而察之，灼若芙蓉出涼波。環纖得中，脩短合度，肩若削成，腰如約素，延頸秀項，皓質呈露，芳澤無加，鉛華不御。雲髻峨峨，脩眉嫋嫋，丹唇外朗，皓齒內鮮。明眸善睞，儻輔承權，瓊姿豔逸，儀靜體閑，秀情綽態媚於語言，奇服

曠世骨像應圖披羅衣之瓊粲今珥瑤碧之華珠。戴金翼之首飾綴明珠以耀纏。踐遠游之文履曳霧綢之輕裾。微幽蘭之芳藺兮步踟蹰。動無常則若危若安進止難期。若往若還轉瞬流精光潤玉顏含辭未吐氣若幽蘭華容婀娜令我忘餐。(其の形や編たりこと驚鴻の若く姫だらこと遊龍の若く榮は秋菊よりも穎き華は春水よりも茂り髪が髪とし
て輕雲の月を映ふが若く飄飄たりこと流風の雪を廻らすが若く遠くして之を望めば故として太陽の朝霞に升るが若く追くして之を察れば然として笑顔の深波より出下るが若く纏織中も得脩短度に合ひ肩は削り成せらが若く腰は委を約ねたらが如く延頸秀項暗質を露し。其澤加ふる無く。鎧革御せず。雪皆戎装として脩眉聯眼たり。丹脣外に胡り皓齒内に鮮に明眸喜々瞼み屬輪權を承け。瓊姿飄逸にして儀靜に體開さす。柔情絕態語言に媚び奇服曠世にして骨像圖に應じ羅衣の瓊粲たらを披て。瑠璃の華珠を頸み金翼の首飾を戴き明珠を綴りて以つて纏を耀かし遠游の文履を踏み纏の輕裾を引き。幽蘭の芳藺たらに微れ歩して山閣に踟蹰す。動くに常則なく危きが若く安きが若く進止期し難く往くが若く還るが若く。纏をして精を流逝し光潤なる玉顔あり。緋を含んで未だ泣かず氣幽蘭の若く華容として我をして餐を忘れしむ。)

神女の姿を描いたのだから現實離れたところもあるが、先ず神女の形から述べられる。纏は軽やかな身のこなしがいふ。これは既に述べたように美女たちの條件の一つである。纏はしなやかさうま。榮や華は神女を菊の花や松に例え、そのがぎやく美しさをいったもの。蔽月、迴雲、太陽、芙蓉いずれも、その美しさを形を變えて表現したもの。纏織中も得脩短度に合つとは先に引用した「不肥不瘦長短適宜」に當るもの。

次いで肩、腰、頭、髻、眉、脣、齒、眸、臍等の身體にまつわる描寫が行われ、これらにその様(あるまい)服装等につ

いて細やかさ表現がなされる。二で引用した一之容からナ之趣まで美女の描寫の條件にあてはめれば説明がつく。一から十までは美人畫の道具立てのようになつてゐるが、美女の姿が現實味を帶びて表現される手懸りとして一つの標準を示すものである。次にもう一例後漢の梁冀の妻孫壽について述べたものも引いておこう。

・華嶠(後漢書) 漢冀妻孫壽色美、能作愁眉啼粧、墮馬髻、折腰步、齶齒笑、以爲媚惑也。(梁冀の妻の孫壽は色美く、能く愁眉啼笑、墮馬髻、折腰歩、齶齒笑を作して、以つて媚惑を爲す。)

愁眉は後漢の頃流行した眉の描き方で、細く曲つた形をしていて、愁いを含んだ表情を作ら。啼粧はおしゃれを塗つて、目の下だけ薄くして涙を流した跡のようにする化粧。愁眉と同様效果を狙う。墮馬髻は髪を一方にかたむせて結つもの。折腰歩は腰を少し折つて歩くさま。足弱く身體を支えがねうようにみせる。齶齒笑は蟲齒が傷むかのようによせて笑つづま。いずれも愁いを帶びた表情を作つて男性の心をひきつける化粧である。

以上美女傳研究としては十分ではなく經過報告の域を出でいが故、將來一書にまとめることによりその責を償いたい。
尚、この稿は櫻美大學を中心とした中國文學に現われた女性像という主題の下に文部省から一九二九、一九三〇年度に渡つて総合研究費を受けたが、その完成年度に當つては、ここにまとめたものである。櫻美大學でも研究グループで報告集を作ることにせよ、資料編の一節が重複することにせよ、ここに了承いただきたく思ふ。

西資料篇

凡例

一、資料篇は美女傳に關わる資料を書物、文、詩、詞に分けて整理した。また、書物についてのみ著者名索引を附した。資料の配列は時代順と四部分類を併用した。

二、書物は次の方で整理した。文は全上古三代秦漢魏六朝文、和刻本文選、全唐文等を中心用いた。

(a) 四部分類
叢書子目類編による分類に従つた

(6) 時代　先秦(周としたるものもあり)、漢(前・後)、三國(魏・蜀・吳)、晉、五胡、南北朝(劉宋・南齊・梁・北魏・北齊・北周・陳・隋)、唐、五代、十國、宋(北宋・南宋)、金、元、明、清に分けて配列した。作品の配列は同じ時代の梓内で四部分類に従つた。

(c) 書名 桂内を書名と編名に分けた。編名には原文にないもので、内容を知るに必要なと思えるものを加えたところである。また毛詩と詩經に、周易を易經のよう統一したものもある。

うるさい。でも、おまえの言ふとおりだ。

(e) 摘要 美学を表現することば、容態を示すものを中心におえながら適宜抽出した。

小類書の欄 藝文類聚（藝文略記）初學記（初）、太平御覽、淵鑑類函（類函）、古今圖書集成（集）における

ける美女資料の存在を示した。

○藝 128 ↓ 卷十八 人部ニ 美婦人の部 三二四頁三行(左傳春秋左氏傳)

○覽 380 426 ↓ 太平御覽卷三八。美婦人エ 四丁表六行(周易・易經)

○類函 128 233 ↓ 淀鑑類函卷二十五 美婦人 ハ八丁表三行(左傳)へ原とあるのは唐類函に基くもの。増とあるのは類函で新しく加えたもの。)

○集 32 354 119 ↓ 古今圖書集成(文星版)五ナニ冊 明倫彙編 閨艶部 五五四頁 第二段十九行(公羊傳春秋公羊傳)

(b) 備考 二つの格に分けた。左側の欄に 169 のように記入したものは叢書子目類編の一六一頁左側に書名が見えることをさす。右側の欄は書物の收められた叢書名等を示したもので、上に原本とすべきもの、下に點校本あるいは普及本で使い易いものを記した。四備+四部備要 四叢+四部叢刊であり、その他百部叢書集成所收本(略號は集成のそれに準じた)を中心、世界書局の學術名著(學名)、商務印書館の國學基本叢書(國基)、五朝小說大觀(五朝小説)、筆記小說大觀(筆記小説)、十三經注疏等がまたるものである。

三 詩及び詞はほぼ右に準ずるが、四部分類はしていない。整理するに當り次の方針を行つた。
(a) 漢以下隋までは丁福保の全漢三國晉南北朝詩を用いた。(學術名著版)

(b) 唐詩は點校本の全唐詩(中華書局本)によつた。

(c) 詞は唐詞は全唐詩により、宋詞は唐圭璋の全宋詞を用いた。

中国美女传稿

四部類	書名	撰者	摘要	初	覽	類	函	集	備考	
	魏惠王(宋之成 (伯陽)子山(陰姬)		晉惠公成公不聽朝。以色列國 漢王左台自命右閣猶有美色。 趙太后猶有美色。齊貌頤 以色列無佳麗好美。周昭王權橫 周昭王。	19.225 325	380 380 380 380	8 秦 南 周	225 225 225 225	225 225 225 225		
26	史別史	後漢東觀漢記	光烈陰皇后 趙惠	劉珍等	光武聞陰皇后此說。後尊皇后 韓仲任稱絕色。	19 325	19 325	225 225	225 225	
27	史載記	後漢吳越春秋	王僚伐吳傳 勾踐陰謀外傳	趙晔	秦始皇 趙得精良。鬻薪女曰西施絕 且飾以羅縠。教以游步。點闕之 寶美女圖之。西施捧心而嘆。			225 225 225 225	225 225 225 225	
28	史載記	後漢越絕書		袁康	夏人富句踐所謂越女也。越 且富也。 越王勾踐得精新二女西施鄭 且以獻于王。		380 380	225 225	225 225	
29	史傳記列女	前漢列女傳	樊豐傳 趙靜傳	劉向	美仁賢德。顏如皎月。溫婉 若春。信直以羨美而取之。 趙靜傳。			225 225 225 225	225 225 225 225	
30	史傳記列女	後漢續列女傳	(伍伯妻)	班固	伍伯妻有美色。		380 202		225 225	
31	史傳記錄傳	前漢列仙傳	蕭史	劉向	穆生玉好之(蕭)	19.225 305	225 225	225 225	225 225	
32	子儒學	後漢鹽鐵論	遵道	桓寬	說西施之美無盛容。			225 225 225 225	225 225 225 225	
33	子儒學	前漢說苑	尊賢文	劉向	美女者。猶婢之使。 貌若明月之皓皓。形若秋葉之皎皎。 發若瓊瑩。目若丹青。 婦者猶偷。		380 380 380 380	225 225 225 225	225 225 225 225	
34	子儒學	後漢新論	(陳子新序解說 圖)	桓譚	武帝夫人鄧婕好容顏如瓊瑩。 閑言漢有美女者貌入無有。 ·單于必愛之。 ·劉政乃削體名。 ·揚雄者善體文之所好。 ·顏真卿謂說巧取豪傑所悅。 ·也謂愛嬪如瓊瑩而不落其之 ·麗容。 ·鏡形如杯以照西施。鏡縱則 而反。鏡橫則亂。非瓊瑩所 照變也。	19 325	380 380		225 225 225 225	225 225 225 225
35	子儒學	後漢潛夫論	潛歡篇	王符	好色者復顧貞女封為天下麗。 莫若北也。美女。			225 225	225 225	
36	子儒學	前漢淮南子	精神訓	劉安	視手矯面施猶顰醜。				225 225	

中国美女伝稿

四部	職	書名	撰者	摘要	藝	初	覽類	函集	備考
		本經訓 齊俗訓 說山訓 說林訓 脩務訓		七箇西施之色。 待西施七箇禮貌。於禮後。 畫西施之眉。而不可識。 西施有子。而無子。故曰。西施 曰。有子。而無子。 西施生蠻。就說何用。採鈞 佳人不同體。美不不同面。 美女寡於宮。 數頭結綵形。得墨佳人。持脂粉 芳鬢。美矣。西施。陽也。 蔡之妙。衛之稚質。 美人者。非北西施之種。 毛嫱西施。天下之美人。		387 3249	387 163	257 257 257 257 257 257	257 257 257 257 257 257
37	子韻學雜論	後漢 論衡	逢 遇 累 害 王亢	好惡人所好也。以醜陋而色稱。 謂於士。漢以然鹽美也。 魏武色艷。斷壞鼻之。				257 257	257 257
38	子韻學雜論	後漢 天祿闕外史	黃憲	王家家婦。始嫁。則隱喜。娶歸。 是將缺脣。				257 257	257 257
39	子小說志怪	後漢 洞冥記	(麗 媚) 郭憲	麗娘射日。膚素致。吹氣而離不。 欲吹還拂。恐難愈也。			增2552007 P	1082	近史
40	子小說傳奇	後漢 猛燕外傳	伶玄	玄主。繼漢輕細學。小顏深人謂之。 猶然。合德。青涓浴不滿。一昔出。 世色為。其髮號新。譽為。弱質處山。 蕙施小林號。擗故短緝。揚。 小袖交襯。 合意。號。約。解。越。而。與。長。持。笠。右。 設。連。綺。好。袖。綺。好。已。紹。媒。人。 紹。袖。似。石。勒。馬。勝。蕭。祖。 眉。浴。五。蘋。香。湯。體。香。浴。性。潔。 降。神。相。蘋。故。浴。蕙。湯。膚。第。萍。 百。粉。			增2552007 P 增2552008 P	1094 257	總收 六部小說
41	子小說傳奇	後漢 漢武內傳	班固	燕趙美女。一人。才以才。才以才。才。 自。然。素。麗。不。被。朝。鑿。黑。 得。門。始。作。金。屋。時。之。	387 325	387 666	255255 P 增2552006 P	1094 257	通文 錄文
42	子小說傳奇	後漢 漢武內傳	班固	西。母。朱。張。之。董。服。之。錢。	387 1023	387 1023	2552205 P	1094 257	91 子小說甲 別編
43	子儒學經濟	後漢 與論	內試 文帝	司。諸。為。放。國。化。	18 326	18 461	增2552006 P	257 257	91 子三國志
44		成公英疏		徒。耀。或。得。美。女。			增2552006 P		
45	史正史	晉 三國 吴志	陳壽 魏志 蜀志傳法 鍾錦傳法	夫人以美貌得幸。寵冠後庭。 → 50-51	78 3244	380 723		268 257	

	四 部 賦	書 名	模 者	摘 要	藝 初	覽 類	函 集	備 考
		周瑜傳		橘公女皆國色也。	18 223	380 271	257 C.107	
46	史別皮通紀	晉 帝王世紀	段商 紹湯	皇甫謐 惠良有女美而進之於叔。 有仙名昌黎陽朔虎背。		387 387	275 b	指海 精舍集。
47	史別文	晉 後漢書(宋襄妻孫壽)	華嶠	張良妻孫壽色美善為大體作愁眉 峨眉雙髻折腰步弱如燕子以爲 媚也。	78 326	794553 2217	380 增	25546102 2552264
48	史別史	晉 曹書	王隱	阿前勝後處處有才色。			380 246	279
49	史編年	晉 曾陽秋(荀粲妻)	孫盛	曾侯女顏色荀粲夢一婦國色。		380 246	287 b	25546102 2552264
50	史編年	晉 曾紀(綠珠)	干寶	石崇妓入綠珠 美而雍容。	78 325	380 2473		287 b
51	史編年	晉 曾紀	鄧粲	子虞一女皆國色也。 謝祖國家數女銀挑支。		380 2473 380 2473		288 史家
52	史雜文事實	晉 魏略	魚豢	甄后魏甄氏凡。	78 246	380 2470	2552002	297 魏源制本
53	史雜文事實	晉 三國典略	魚豢	崔豹取貴家子弟以爲養育姿色 勝絕。謂之巴陵。 角試武射見穿孔有法物變成一 美鶴生北對之亮而泣。 東漢建安中朱儕善次第。		387 382		287 a
54	史雜文事實	晉 江表傳	虞溥	橘公女宿作胡赤頭歌。			52 2552002	297 a
55	史載記	北涼涼州記	段詭龍	隋王人飛天色鑑。		387 2473		287 b
56	史載記	秦書	車頻	荷望時新羅獻美女。		380 2473	2552264	288 史家
57	史情記通錄	晉 襄陽耆舊記(瑞姬)	習鑿齒	光武聽諸夢。持小刀剪指頭作符 星將行輕細淨和慢。		387 247	2552264 380 247	287 b
58	史地理雜志	晉 吳會分地記		士城者猶瑞氣成城。故山縣於 縣山。故縣縣作士城取。		387 348		25546102 2552264 2552002
59	史傳記雜編	晉 神仙傳	介象葛洪	象縣有在草中種稻取穀。其是 一人被蛇形。		387 247	2552002	297 a
60	史地理雜志	晉 鄭中記	陸佃	豫連妹抱琵琶聲長尺。	78 246	387 2473	2552002 2473	297 a
61	子德學雜考	晉 古今注	雜注崔豹	魏劉伶好裸體。莫瓊樹麻衣。 陳氏裸體。樹樹體。裸體。裸體。 裸體。裸體。巧始以詩體。裸體。 作裸體。裸體。 裸體。人好畫長眉。合作裸體。裸體。		194552 381 587	2552002 2473 2472	297 a
62	子與故墓物	晉 博物志	崔書生張華	月初月望服三絃竹絃也。			52 2473	2552002
63	子小說雜錄	晉 西京雜記(草丈君)	葛洪	支君好好看色。如望遠山。臉常 若芙蓉。膚柔滑如脂。狀而寡角。 放飄風流。			2552002 2473	2552002
			(王 婦)	匈奴朝美人。貌為後宮第一。善 應聲止開口。			52 2473	2552002
64	子小說志怪	晉 搜神記(談生)	干寶	女子。郭十五。姿貌特出。體雙			52 2473	2552002
65	子小說志怪	晉 拾遺記	數缺夷光王嘉	越有美女夷光。一名修明。			2552002 2473 52 2473	2552002

中国美女伝稿

四 部 類	職	書 名	撰 者	摘 要	初 覽	類 函	集	備 考	
78	子·小說雜錄	蜀宋世說新詰	賢達(王昭君) 術解(唐夢詠)	劉義慶 劉義慶(溫公集)	二萬抄舊樹根指連樹根。 王昭君容客甚麗。 桓宣武以李勢妹為妾，梳頭髮時藉地，廳上置石，不許入。密察從指頭風文著有容慧之評。	387 429 381 4212	增 25520 b 5 增 25521 b 4	1046 D	
79	子·小說雜錄	梁俗說	(宋)禪	沈約	宋魏劉裕後母好有聲者攻破。	18 326 443	387 增 25522 b 4	1046 E 卷四 目錄	
80	子·小說雜錄	(宋)姬記	李發文		在前指頭風李密當時總號。	78 325	增 25523 b 3	1047 D	
81	子·小說志怪	蜀宋太清記	劉孝儀妹	王詔之	劉孝儀妹文彩貌質皆於神也。	258 259 260 261	增 25524 b 5 增 25525 b 5 增 25526 b 5 增 25527 b 5	1045 D 卷三 目錄	
82	子·小說志怪	蜀宋異苑	劉敬叔		徐陵母好，貌檢麗麗。			增 25528 b 5	
83	子·小說志怪	蜀宋幽明錄	買粉兒	劉義慶	見女子美麗，晉謝超叔。 漢武帝召衆女有玉脂，與帝同集指頭風風流端正。		增 25529 b 5 增 25530 b 5	增 25531 b 5 增 25532 b 5	
84	子·小說志怪	梁述異記	(香)水(漢)武都大夫	任昉	劉惔西沈洛夫人所居指頭塘。 武都夫化作魚指頭蠻。	257 258 259 260 261	增 25533 b 5 增 25534 b 5 增 25535 b 5 增 25536 b 5 增 25537 b 5	1045 D 龍威	
85	子·小說志怪	梁續齊諧記	陽羨書生	吳均	呻吟好手十五六，衣服指麗。 容指魏。 女郎十八九指頭阿嬌。	253 254 255 256 257 258 259 260 261	增 25538 b 5 增 25539 b 5 增 25540 b 5 增 25541 b 5 增 25542 b 5 增 25543 b 5 增 25544 b 5 增 25545 b 5 增 25546 b 5	1047 D 卷五 書單	
86	子·小說志怪	隋窮怪錄	劉尊		西施東竟，容齊其模，如仙山衣紅紫絳，簪髻金闕人，年二十餘，衣紅西施也，衣紫綢光也。			增 25547 b 5 增 25548 b 5	龍威 卷四 目錄
87	集詩辭詒語	梁詩品序	鍾嵘		揚塵入蠶指頭圓。			增 25549 b 5 增 25550 b 5	龍威 卷四 目錄
88	集詩辭詒語	梁史心彥龍雜文	劉勰		里鶴持心，顧闕忘之頗矣。			增 25551 b 5 增 25552 b 5	四庫 學台
89	史·正史	唐晉書	真充傳	太宗	貴人好少，光麗豔遠，越美絕倫。			增 25553 b 5 增 25554 b 5	同上 卷五 少本。
			阮籍傳		阮籍家小婢有美色。	增 25555 b 5 增 25556 b 5			
			謝鋗傳		謝鋗青眉高氏有美色。	增 25557 b 5 增 25558 b 5			
			夏統傳		夏統朝丹陳珠，人直有圓色，前服碧羅，善對御，能隱形隱影。	增 25559 b 5 增 25560 b 5			
			劉惔傳		劉惔一日說玄方次日越穿麗革，脫絲綵，因人皆著絕色文德冠時。	增 25561 b 5 增 25562 b 5			
			劉惔傳		新準安大田明光，小田煥，皆韻色。	增 25563 b 5 增 25564 b 5			
90	史·正史	唐隋書	五行志	魏徵等	高仲鸞妻執慧阿艷。			增 25565 b 5 增 25566 b 5	271 D
91	史·雜史實	唐東漢奏記	(原)誠	裴庭裕	得絕色，人皆殊珠翠，戲金鏡。(唐書)劉曜等曰：求得未盡，使劇。			增 25567 b 5 增 25568 b 5	龍威 華山小校
92	史·正史	唐陳書	高祖皇后	姚思廉	后注指頭光照室少禮慧容儀，手足對色如紅。			增 25569 b 5	272 D
			張貴妃		襲以指頭黑如意裝可鑒，指頭集			增 25570 b 5	

中国美女传稿

四部	獻	書	名	撰者	摘要	藝	初	覽	類函	集	備考
					有神采通山川而容麗若神仙 視則殊才不溢且照映姑。						
93	文正史	唐	南史	宋帝東昏侯 裴羊侃傳 惠情院僧大德 (美人石)	李超奇 潘妃譽爲蓮花始信他令 海北行其日此步步生蓮花也 僧人裴羊侃圓尺六寸孫荆 王能反體陪他徐徐得帝王昔 何以折枝羞擣葉未顧龍。 梨花嬌豎生女有容姿始被選充 納焉。	增2252713 200 209	增2252713 209 增右季義人	52 6 69	271 v		
94	史地經雜志	唐	吳地記	諸兒亭	陸廣微 酒施丁跡與范增三年始達于 吳土子到時斯乃能盡。				52 52 209	532 b	舊本
95	子小說雜錄	唐	朝野僉載	任懷季	張舊 任懷救賜官首國色				52 52 209	1027 1027 1027	舊頭 舊22722
96	子小說雜錄	唐	雲溪友議		范據 惠娘吳國丈人比蘇小小。				52 52 209	1027 1027 1027	舊本 舊22722
97	子小說雜錄	唐	杜陽雜編	薛瑤 芙 蘇鶴	元費羅頓掉花落玉質肌香體 軟難說指點難追珠子細追 飛鸞輕鳳修眉對曉 洞鏡圓如畫鳳輕風修眉對曉 氣脣沾多不染衣更行體。		增2252713 209 增2252713 209 增2252713 209	52 52 52 69 209 209	1027 1027 1027 1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722	舊本 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722
98	子小說雜錄	唐	三水小牘	嚴節女	皇甫枚 嚴節女初隨夫婦被研。				52 52 209	1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722
99	子小說雜錄	唐	嘉詒錄		章絢錄 玉昇珠面色。				52 52 209 209	1027 1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722 舊22722
100	子小說雜錄	唐	逸史	盧李二生	盧子 女子容極藍新髻嘉				52 52 209	1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722
101	子小說雜錄	唐	乾曆子	華州參軍	溫庭筠 觀女之容絕代				52 52 209 209	1027 1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722
102	子小說雜錄	唐	盧氏雜說	江陵土子	盧言 盧正貴羅服薄青殊色 江陵惠居士有異姬。				52 52 209 209	1027 1027 1027 1027	舊記122 舊記122 舊記122 舊記122
103	子小說雜錄	唐	南朝煙花錄		馮贊 徹躬視吳絳仙謂出人謂秀色 可憐花絳仙者可以成就矣。			增2252713 209	增2252713 209	1027 a	舊本 舊22722
104	子小說雜錄	唐	三餘話		鄭道齊之後郭復夫婦				52 52 209	1027 1027 1027	記22722 記22722 記22722
105	子小說志怪	唐	河東記	段何	二精一俗陰半發皆絕色				52 52 209 209	1027 1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722
106	子小說志怪	唐	纂異記	劉景復	李孜 吳秦伯廢秦扶李孜以謝善人 名吳人鄧兒。				52 52 209 209	1027 1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722
107	子小說志怪	唐	廣異記	張果女	戴君孚 張穀年十五病死容色麗情 態據緣翠止閑婉。				52 52 209 209	1027 1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722
				王玄之 新繁縣令 劉長史女	炳 炳色殊絕口軒八九。 炳炳婉麗殊絕。 長史女豔絕無雙光彩欲發。 簪首翻人姿態橫發。				52 52 52 52 209 209 209 209	1027 1027 1027 1027 1027 1027 1027 1027	舊記22722 舊記22722 舊記22722 舊記22722 舊記22722 舊記22722 舊記22722 舊記22722
108	子小說志怪	(唐)	異物志	李元平	女子紅裙綻體容色美麗				52 52 209	1027 1027 1027	舊記122 舊記122 舊記122
109	子小說傳奇	唐	遊仙窟		張舊 妙好華容如阿拂丸玉纏腰 碧衣靄碧細細腰支子嬌白媚 弱體輕飄				52 52 209 209	1027 1027 1027 1027	舊本 舊22722 舊22722 舊22722 舊22722

四	部	獻	書	名	撰者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考	
110	子小說傳奇	唐	章臺柳傳		許堯佐	韓游女柳氏絕色非常						229 230	1109 a	龍虎榜 A 龍虎榜		
111	子小說傳奇	唐	會真記	崔鶯鶯	元稹	鶯鶯顏色豔異光鮮得人生長才,想 聯心絕若不勝其體,擅美神力 不能還。鶯鶯詩飯環蝶影物 通步玉裳容帶面如比雪曾未把花亂 堆壁上絳衣翠袖更駕,就消摘底鏡 房潤玉肌膚無力精神性多嬌姿淡薄 汗流珠翠映綠蘿蕙							229 230	1102 a	銀鏡 B 銀鏡乙	
112	子小說傳奇	唐	王氏紀聞	牛肅		檼州盛家女年十上姿色絕人 李頤生妻氏甚美麗膚體色 情動祐慈服觀被人間絕絕 柔姿難矣。					229 230	1103 a	萬小說乙			
113	子小說傳奇	唐	周秦行紀		牛僧孺	漢文帝時原后崩道大行而入 玉棺大輦引(駕御)潘漪妃絳 珠大妝魏瓊珥珠入伏惟 長眉細不橫,玉梳未明後微 舒態透光彩期連近,擾毫織 肌修盼媚容甚麗,道澈心厚 別貌視小質若幽幽無殊 善齒好短髮麗服貌美多嬌						229 230	1102 b	周記周傳 A 周記		
114	子小說傳奇	唐	玄怪錄	王勝益	牛僧孺	一夕醉于九姑齋中坐,						229 230	1102 b			
115	子小說傳奇	唐	博異志	沈亞之	鄭還吉	夢一美人為古故高髻長眉,入人 劉庭女雙端麗慧照,資貨明 麗若神仙入						229 230	1103 a	史記 B 史記		
116	子小說傳奇	唐	劉無雙傳		薛 調	劉庭女雙端麗慧照,資貨明 麗若神仙入						229 230	1102 b	劉記 B 劉記乙		
117	子小說傳奇	唐	鄭德璘傳	鄭德 瑞	薛 營	報美而艷,其貌可憐,還素瑩波 窮潤眸委羽珠彩,						229 230	1102 a	薛記 B 薛記乙		
118	子小說傳奇	唐	傳 奇	曾 李 衡	裴 鏡	王衡女國色也,						229 230	1102 a	齊記 B 齊記		
119	子小說傳奇	唐	瀟湘錄	襄陽老叟	李 隅	王敬容女還早有才儉 女子容貌雍雅,手足初詳						229 230	1102 a	齊記 B 齊記		
120	子小說傳奇	唐	宣室志	鄭德懋	張 謹	一婢,姿色美,雀入小女顏角 質年十四,姿甚甚,被服豪麗						229 230	1102 b	張謹 B 張謹		
121	子小說傳記	唐	通幽記	(唐銘翰安樂湖)	陳 劉	裴六郎答贖代歌其聲 麗音清韻歌詞明,舉世也						229 230	1108 a	通記 B 通記		
122	子小說傳奇	唐	非烟傳	步 非 烟	皇甫松	武陵愛妻非烟也,容美鐵靄 若不勝經年對望,才子解脫						229 230	1108 a	張記 B 張記		
123	子小說傳奇	唐	崑崙奴傳	(崔 生)	楊巨源	品之二妓人艷若桃李,生代崔連紅 絢紅,達東明謂崔女是環初 墮紅臉綠舒曲懷方深,						229 230	1108 a	崔記 B 崔記		
124	子小說傳奇	唐	蔣子文傳		羅 鄭	有才子性愛才子,年少容姿可愛,						229 230	1109 a	說海 B 說海		
125	子小說傳奇	唐	揚州夢記	湖州惺嬌女	于 素	女年十餘歲才貌俱曰此其國色						229 230	1110 a	惺記 B 惺記		

中国美女伝稿

四 部	類	書 名	撰者	摘 要	墓 初	質 類	函 集	備 考
126	子小說	唐 夢遊錄 櫻桃源衣	任 蕃	唐達封曰五色雲霞有神化			28 C.73	1111 b
127	子小說	唐 才鬼記 李 章 武 翁 賈		李試取神人甚美可取其衣服			32 D.73	1110 b
128	子小說	唐 薛昭傳	裴 鋼	角頭坐誦見參仙城美女三人表曰 露客姓張次曰鳳臺地氣次曰蘭 鄉姓劉氏			32 D.73 D.26	1111 a
129	子小說	唐 陰德傳 劉弘敬		方蘭葉清潔已風塵不堪殊不 幾數流			28 D.73 D.22	1112 b
130	子小說	唐 牧臺記序		序文及 北坡賦題頌唱北坡賦題 懷才贈懷			28 D.73	1121 a
131	集 文 雜	唐 洛神賦注	李 善	曹植求與這女			28 D.73	1122 b
132	集 詞賦	唐 本事詩 懷 徒 婦 館師妻 音譜妻 李道言	孟 葵	抱冠絕 穿霞霞以宦絕絕也。賣珠情 委纖白明珠。 妙姿媚應絳有餘評。 劉向賦此其體李道言之。			28 D.73 D.12	1123 b
133	史 正 史	後晉 唐 書 燭 奇知之	劉 聰	燭火大如斗，窈窕美麗照輝詳。			380 D.16	1124 a
134	史 歷書	唐 據 言 王定保		嘉慶會油卓和牧明微吟祐 曰但知歌進金對法學易學應露 指光。			28 D.73 D.11	1125 a
135	補 宋	唐 史 (寵 姐)		寵姐寫環佩。			28 D.73	1126 b
136	子小說	五代 閱欣寶遺事	王仁裕	郭林惠有姿色。 楊家義劉氏有顏色。 李林甫有女有姿色。 明指劉妃稱解語花。			28 D.5 D.7 D.2 D.7 D.2 D.7 C.1	1127 a
137	子小說	五代 閱奇錄 畫工 于逖		趙領得教彈圓拂舞譜。			30 D.1 D.1	1128 a
138	子小說	五代 神異錄 鄭中婢人		鄭中閑閑是其嬪顏色如巫婆 容絕麗年十餘。			32 D.6 C.6	1129 a
139	子小說	蜀 楊 虬鬚客傳	虬 鬚 客	杜光庭 陽鬚枝繁綠色如紅拂。十八 九佳麗也。則虯儀狀言詞氣 性動人也。			28 D.7	1130 b
140	子小說	唐 藝 妆 摺 記 香 漢 張泌		明於愛物手逐春香各漢 莊往色貌勝。任蕭美人。 女像多是名利影神女於瘦長良 候而得子顏色。			28 D.6 28 C.4	1131 b
141	史 雜史	宋 程頤州憲記	蹇 駒	完觀把竹如慧觀身蘿。		增 28322b7	301 a	1132 a
142	史 雜史	宋 煙雨閣 讀 素娥 江洵		素娥珠翠擅。			32 D.73 D.1	339 a
143	史 雜史	宋 北夢瑣言 崔夫人 孫光憲		崔光憲色。			32 D.73 D.19	339 a
144	史 雜史	宋 洛陽聞記 張說雜錄氏 衣齊賢		張相夫人有色甚美多俊才。張說 對羅治相中人也。			32 D.73 C.15	340 a
145	史 雜史	宋 道山清詒 (宣娘)		李後主詩宿官銀鎖麗華。		增 2332024	343 b	1133 a

四部	類	書名	撰者	摘要	初覽	類函	集	備考
146	史籍史記	宋開見後錄	邵博	周易林人占集篇首其頭綠 琳對對水生美林以高石 晉之贊能也清石鹿林樟草切 柳子雲賦詩竹林養身而凝脂 領山物指其山翠林林如祖 乃大清溪日財山猶如晦			228	222 a
147	史籍史記	宋揮麈餘話	王明清	侍婢歌聲絕			228 a b c d	學津
148	史籍史記	宋默記	達奚盈 盡 王鉅	姿體絕雌			228 a b c d	知不足齋
149	史籍史記	宋玉照新志	王明清	飛子凌凌枝具婦人衣被楚笑 其絕色			228 a b c d	讀書
150	史籍史記	宋五國故事		蜀鼓狀名盡化			增補山	知不足 a
151	史載記	宋南唐近事	嚴復相公歌姬 鄭文寶	唐詩相美歌			228 a b c d	讀書
152	史載記	宋南唐書	保儀黃氏 馬令	後主保儀女容態萬麗絕世 唐詩相美無不絕歌			增228 a	四庫全書
153	史傳記名	宋侍兒小名錄	西施 洪遂 榮雲 旋娟張漢 朝林葛洛珍 蘇麗 倩 降仙	越句踐得國內小蠶女曰 此忘卻酒歌教以多 崔雲李商隱歌詞序清山眉目 端麗 錢昭王年廢逐得名於娛一 名張漢王紫雲清體輕歌妙舞 約胸腕絕無無論 孫處近四人皆報出絕色所居 室為尼香嬌嬈 漢子歌賦娟子曰王嬌嬈 吹氣迎飄飄射轉袖不散衣襯帶 之形容良 隋楊詩宿已吳歌曰善長歌眉 目			228 a b c d	續山川 九思記
154	史傳記名	宋侍兒小名錄	張灑 王鉅	何似吹衣還舞緩而龍			228 a	種海
155	子雜學雜說	宋捫薪新話	陳善	制物南江花北湖山一派就懷 持櫓相宣			228 a b c d	知不足齋
156	子雜學雜考	宋西溪叢語	(舍胎花)姚寔 西子(施) (好細膚)	萱蕙花林柳葉謂之舍胎花詩韻如 妙歌 美惠清秋杜拉斯詩東坡詞唐宋 龍鏡記宋之問流沙流云越 女蘋如花消笑傾城豔點鶯 鶯人效譽亦相競 楚辭王好細膚(唐詩韓序劉 尚題踏歌行)			228 a b c d	學津
157	子雜學雜考	宋野客叢談	楚王好細膚 語益精明	楚王好細膚宮中多餓死 章句詩白西施且一笑驚妾			228 a b c d	種海 筆記卷之二 172a

中国美女伝稿

四 部 脍 瞬 書	名 摂 者	摘 要 藝	初 覧	類 函 集	備 考
	東坡用頭施事	得姓: 賴姓。杜詩錄載賴頌。 東坡詩曰化作一網鵠。應記 儀徵性面。寰寺記。 李賀詩西施曉夢綺懷。		220 221 222	1047 著人集附入 a b
158 子潔故類書 宋 白孔六帖	唐白居易 宋孔九思	魏範題面的漫叟如子姑。		增 223 224 225	1047 說郛61 a b
159 子潔故類書 北宋 清異錄	崔大雙雙 陶 穀	劉蕡得波斯女嫁黑臘制觀 青油畫妙。號瑞指 仙氣氤氳使 仙氣制對蠶蠶明媚。		226 227 228	1047 說郛61 b c
160 子小說雜錄 北宋 太平廣記	明宗王淑妃	李昉等 明宗好美色。鑿花堤。 衣櫛梳之恐潰發。		增 229 230 231	1047 c d e
161 子小說雜錄 北宋 墓客揮犀	(湖南之俗) 彭 乘	前人闡述甚研。 (柳如寡聞)		229 230 231 232	1047 說郛61 b c d
162 子小說雜錄 北宋 雜距集 (麗 婦)	王子韶	麗娘好凶厲。教他氣勝箭破敵。 衣櫛梳之恐潰發。		增 233 234 235	1047 a
163 子小說雜錄 南宋 清曾錄 (狄 氏) 瘦 布	(王 生)	狄在世名勢甚師。明艷絕世。 秀才甚美。		229 230 231	1047 說郛61 a b
164 子小說雜錄 南宋 春流紀聞 (徐黃州侍人) 何 蓮		張惠言。眉語云: 前有芙蓉冷 妻。		232 233 234	1047 學津 a
165 子小說雜錄 南宋 墓莊漫錄 (宋坡在杭州) 張邦基 (玉方立之父) (沈約子體詩) (西 施)		觀林錄以中情大麗。三日拂風 鬱鬱誰綻。多月兒而。鬱鬱兒在麗。 六憶詩。鬱詩也。 西施氣人也。吳越春秋。莊子孟子。 毛澤耀選。慎子左氏傳史記之禮。 秦始皇紀。 (林逋擬體人詩) (李叔諤雜論)		229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194 1195 1196 1197 1198 1199 1190 1191 1192 1193 1194 1195 1196 1197 1198 1199 1200 1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1200 1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1220 1221 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1220 1221 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1240 1241 1242 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1240 1241 1242 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1260 1261 1262 1263 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1260 1261 1262 1263 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1280 1281 1282 1283 1284 1285 1286 1287 1288 1289 1280 1281 1282 1283 1284 1285 1286 1287 1288 1289 1290 1291 1292 1293 1294 1295 1296 1297 1298 1299 1290 1291 1292 1293 1294 1295 1296 1297 1298 1299 1300 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1300 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1320 1321 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1320 1321 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1360 1361 1362 1363 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1360 1361 1362 1363 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1380 1381 1382 1383 1384 1385 1386 1387 1388 1389 1380 1381 1382 1383 1384 1385 1386 1387 1388 1389 1390 1391 1392 1393 1394 1395 1396 1397 1398 1399 1390 1391 1392 1393 1394 1395 1396 1397 1398 1399 1400 1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1400 1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1420 1421 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1420 1421 142	

四部	時代	書名	撰者	摘要	要藝	初覽	類函	集	備	
174	子小說傳奇	宋 楊太真外傳	虢國夫人	衆史	虢國不施粉黛的美貌，常春顏 貌。		增 卷之二	1114 a		
					有枝曰楚楚可憐。					
175	子小說傳奇	宋 綠珠傳		樂史	美色艷麗，以珠爲目，生爲珠 娘，死爲珠兒。			增 卷之三	1114 b	
					珠娘後，列說丁。					
176	子小說傳奇	宋 司馬才仲傳		王宇	司馬才仲畫麻第，美姿，麗人。			增 卷之四	1116 b	
177	子小說傳奇	宋 梅妃傳			梅妃善文，凌駐雅期，姿態明 秀等不可描畫。			增 卷之五		
178	子小說	(宋) 北窗志異	(黃 擴)		見初版未詳，亦有說之密，嫁婿 之能，蓋其歸所。			增 卷之六	1116 a	
									宋本卷之七，小 說之北窗志異。	
179		北宋 闕子			西漢高祖并不以其美，好絕自寵 於物，過錯於西施。		增 卷之七	1116 a		
180	集詩評詩話	宋 全唐詩話	尤 衷	李詩開頭賦題， 劉詩善比興，元稹詩旨。 新舊兩派，各致一。				增 卷之八	1116 a	
			元 稹	李詩，越麗善音律。					津逮 歷代詩話	
			崔 郊							
181	集詩評詩話	北宋 後山詩話	(花蕊夫人)	陳師道	對入以才色入蜀官，後主號花蕊 夫人。		增 卷之九	1116 a	百川 歷代詩話	
182	集詩評詩話	北宋 槁簡贊筆	咏婦人	章湖	手如柔荑，膚如凝脂，領如蝤蛴， 齒如瓠犀，臻首蛾眉，巧笑倩兮。 美目盼兮，宋玉云，韓退之云，元微 之云，陶淵明作閑居賦。			增 卷之十	1117 b	詒錄卷之四
183	集詩評詩話	南宋 彥周詩話	(詩寫物意)	許頤	頤學張說成高天門前抱梧桐 風。(李詩行)			增 卷之十一	1117 a	津逮 歷代詩話
			(揚 炎 歌)		女墮流波持蕪蕪，皎皎白雲橫。 長眉青，長眉青，芙蓉如面。					
			(杜 牧 詩 評)		二喬				c.f. 詒錄卷 歷代詩話	
			(王 昌 林 得 罪)		傾城盡國色。					
184	集詩評詩話	(宋) 桐江詩話			有女，姿色妍麗，神妙才也。詩 云，曉鶯鳴春來。			增 卷之十二	1117 a	詒錄卷之四
185	集詩評詩話	唐宋 續本事詩	(鏡 兒)	虛樓	窮懷苦婢，愁苦着解苦愁代。			增 卷之十三	1118 a	欽定古今
186	集詩評詩話	宋 古今詩話	李 頤	細軟，柔軟，歌小聲，聲，詞曰。 櫻桃樊母，楊柳嬌嬈。			增 卷之十四	1118 b		
187	史正史	元 金 史	徵 都 傳 立 傳	脫脫等	李璣妻年二十餘，有姿色。			增 卷之十五	1119 b	
188	子韻學雜記	元 輟耕錄	崔 麗 人	陶宗儀	見所畫唐韻圖，麗，麗人絢麗。 王質才貌雋爽，交之滿室。顏 色體貌，光輝奪人，年紀壯歲。 意花不及擬其色，其花氣濃。			增 卷之十六	1119 a	津逮 歷代詩話
			花 叢 夫 人		花叢夫，人。				c.f. 詒錄卷 歷代詩話	

中国美女传稿

四 部	賦 書 名	模 者	摘 要	藝 初 覽	類 出	集	備 考
189 子小說雜錄 元 誠齋雜記	(羊侃妾子 膾 楊 素 妻 響 簷 廊)	林 坤	輕揚蕩蕩風流歌賦如江濱 揚指青絲華色絕倫 響谷以懷才橫銷壯士強行 別聲贊名			189 339 625 227 226 225	1044 a 漢書 魏書
190 子小說雜錄 元 盧谷閒抄		方 回	飛女園色也夢見少花容輝 約釵鎖照體			52 52 220	1044 a 說海 白蛇女
191 子小說雜錄 元 嫣嬛記		伊世珍	採蘋相忘西湖嬌體碧香			52 52 222	1045 a 夢華
192 子小說雜錄 元 女紅餘志	眼 話 侯	龍 輔	顧頭歌舊韻如通又能唱 徵音萬美自古侯侯內侯莫 惹他			52 52 226 225	1046 a 說海64 說海65
193 子小說蘭 元 綠衣人傳		吾丘衍	有好綠衣雙鬢明十五六誰 不稱讚詩而泣愛人				1111 a 綠窗
194 子小說青帝 元 道場一姬傳		徐 觀	姬學上惟惟色誇麗			189 221	1111 b 綠窗
195 子小說傳奇 元 南樓美人傳		楊維楨	祝美人朝妝服照體嬌			220 220 221	1111 b 綠窗
196 子小說傳奇 元 牡丹燈記		陳 悅	象共其清月一嬌人嬌約 手托入郎懷極嬌			220 220 221	1111 b 綠窗
197 集詩解鑑 元 詞詩餘詁	(集個銷魂)	俞 燁	楊柳如如皆絕色名物比着猶 嬌			52 52 0.22	1577 a 說海卷4326
198 史 正 史 明 元 史	燕鐵木兒傳 宋濂等		一婦色甚麗			22 22 0.8	225 a 綠窗
199 史雜史記 明 見聞錄		陳繼儒	羣愁春夢夢中美妙扶林酒			22 22 0.28	357 a 管韻(一)
200 史 載 記 明 聖誕雜事		楊 儀	飛仙伯一美姬			22 22 0.26	357 a 說海65
201 史地異雜志 明 楚小志	章 華 壽	錢希言	靈組靈組春拂歌臺日和雲流 霞化			22 22 0.6	357 a 說海62
202 史地地理行 明 筒牋夜話		李日華	初武酒館一女眉殊色			22 22 0.7	1111 a 綠窗
203 子貞象生物 明 虎 葦	(蠻語虎謀)	陳繼儒	虎所措措奸姿端麗			22 22 0.7	225 b 管韻
204 子雜學雜論 明 長林茹 退		釋真可	以美婦人譽好花			22 22 0.8	225 b 管韻
205 子雜學雜論 明 通旃蠻言		蘇 痞	大用婦人好飾奇脂多美而艷			22 22 0.9	357 b 說海卷4329
206 子雜學雜說 明 戲 眇		錢希言	毛膚靈渥人之所愛沉魚落雁 之容抱持日西施也瓊肌於道 側前翻翻見者咸美矣			22 22 0.7	1111 a 綠窗小說
207 子雜學雜考 明 耳鉛雜錄	佳 麗	楊 優	韓子佐羅叱者道好也銅潤柔 劉伯靈好說信者是所好也				1022 b 集詩解本 中華文庫
208 子雜學雜考 明 耳鉛總錄	字畫肥 瘦 (字譽 美女)	楊 優	字肥瘦各雅才此最重對顏肥 有制化舉之天然轉之如火燒 肥瘦銷龍王瓊飛燕誰最瘦 子謂之字譽如大學如是女清物 清而不媚對物如是晉書曰曹豈豐 豔不瘦對不豔			22 22 0.7	1022 b 嘉靖本同本 也中華文庫
			范蠡西施				1022 b 金集68

四部類	書名	模者	摘要	初覽	類函集	備考
	淘美且都 小說 都仙山廟詞		因杜牧西子詩藏新編錄載 之而師附會也。 詩有如夢頌歌辭，歌賦玉堂曲 美且都益委世族數美，實文佳 麗，御師之閑雅之體，其筆氣可 以言美。治家難態多於蕭何 甲子年歲次乙未， 事明記傳，當時師方明，漢宮 於元和熱外傳，御孫德清傳。 王康教於前解，晉書劉備傳。 傳友并詳述其本末。		卷之九 221 222	全集 22
209	子洪流·類書	明山堂肆考	彭大翼 楊大翼吳神仙畫眉		增223-224 龍溪遺稿	1024 正統詩集 225-226 227 228 229 230 231
210	子洪流·類書	明天中記	李夢妹 陳耀文 余媚娘 花鳥	脣玉隱不爲動容。 容美善者乃智無比。 選六朝風流畫筆者名於鵝		1043 明陞詩集 225-226 227 228 229 230 231
211	子小說雜錄	明賢奕編	劉元卿 劉先禮	劉先禮女妙好麗。		1069 221 222
212	子小說雜錄	明涇林雜記 (雷伯虎) (沈韻)	周玄賈	涇林雜記戴冠。 一羅人姓劉號猶翁，號仙人。		1069 223 224 225 226 227 228 229 230 231
213	子小說雜錄	明珍珠船	陳繼儒	意可初名愛或云浦音音首芳 美字曰愛此香故名愛。 秦朝少婦姓趙，名濟，濟水縣人。		1070 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231
214	子小說雜錄	明麗情集	徐貳 淑后 潘妃 胡琴 勝兒	揚祺 才德兼美。 魏氏后慧而色。 東晉良妃以金蓮作光。 吳秦伯河率性醉酒，謂其與 美女戲，名為勝兒。 一美姬青娥。 劉伶妻裝束有國色。 第二姬容貌絕色，謂其青兒。		1067 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231
215	子小說雜錄	明高坡異纂	李茂元	揚儀 妙容貌絕色而肌膚潤白如 蠟。		1067 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231
216	子小說志怪	明志怪錄 (倪昇) (王危娘) (桃園女鬼) (陳生)	祝允明	女姿態整素衣飾，望法輪。		1092 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231
217	子小說奇傳	明聚景園記 (勝生)	瞿祐	女姿態整素衣飾，望法輪。		1117 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231
218	子小說奇傳	明義虎傳	祝允明	妻子對觀。		1118 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231

中国美女伝稿

文獻	詩文題	作者	摘要	要藝初覽類函集備考
1 周高唐賦并序	宋玉	娶巫山女也。朝朝出獻若何。行行筑庭梯航。	1945518 387 19455102 全文10/12/23 周神女賦并序 宋玉	文選19/10/23 全文10/12/23
		夢與神遇其狀隱若夢蹤狀與其美皆諧備文。	1945518 387 19455102 全文10/12/23 1945518 744 19455102 全文10/12/23	文選19/10/23 全文10/12/23
		盛矣靈矣。現御之態何勝譽哉。豈惟接神而如是乎。 如是而能與我相與者。得矣。故謂之為客。 婉遊龍淵游漁被風。乘以水波分首浮天漢。 醉被草席。乘以好兮若御琴之盡變。毛清軟軟。西施掩。 面比太和色。女貌豐盈以駐珠光。望聞好頰胖子。 爛漫精神。眉聯諸以婉妙。表奇之甚。忘却形而體。 周。始達於幽靜。		
周登徒子好色賦并序	宋玉	天下之佳人。莫過於齊。春看眉聘。秋看肌膚。如含珠玉。增白增赤。增青增黃。增紅增紫。增黑增白。增朱增碧。增素增黃。增體增音。	1945518 387 第253206 744 增白增赤 增青增黃 增紅增紫 增黑增白 增朱增碧 增素增黃 增體增音	文選19/10/23 全文10/12/23
2 前漢七發八首之一枝乘		鴻臚置鼎。目待戈矛。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
3 前漢子虛賦	鴻臚初	對數蠻夷。阿錫銅鉛。冶蠻蠻蠻。鑄蠻蠻蠻。方山蠻蠻。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
前漢美人賦	鴻臚初	有一好。對數蠻夷。翁陌蠻蠻。戲蠻蠻蠻。方山蠻蠻。 西蠻。有對蠻夷。翁陌蠻蠻。放蠻蠻蠻。翁陌蠻蠻。 翁陌蠻蠻。翁陌蠻蠻。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
前漢上林賦	鴻臚初	青琴記。徒然歌韻。俗妙古樂。胡歌妙辭。傳聲譯。 約來妙聲。妙聲妙聲。妙聲妙聲。妙聲妙聲。妙聲妙聲。 妙聲妙聲。妙聲妙聲。	1945518 387 19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
4 後漢對賦并序	傅毅	獻對進。徐府校讎。授董仲舒。與樊噲。與公孙弘。 紅顏映翠。對羅翟。對絕。	1945518 387 19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
5 後漢七依崔駰		美人如玉。抱顧萬萬。共含。憑欄而以勢仰揚。 闕闕。寧闕闕。闕闕。寧闕闕。闕闕。寧闕闕。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
6 後漢神女賦	楊修	惟愛送君。華蓋。華蓋。華蓋。華蓋。華蓋。 柔弱。同屏靜靜。靜靜。同屏靜靜。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
7 後漢思玄賦并序	張衡	戴冠。冠。冠。冠。冠。冠。冠。冠。冠。冠。冠。 帽。帽。帽。帽。帽。帽。帽。帽。帽。帽。帽。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
後漢定情賦	張衡	嬖奴。嬖奴。嬖奴。嬖奴。嬖奴。嬖奴。嬖奴。嬖奴。嬖奴。嬖奴。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
後漢舞賦并序	張衡	美人與舞。振纖足而飄飄。搖美袖而飄飄。揚美目而飄飄。 分形體而飄飄。飄飄。飄飄。飄飄。飄飄。飄飄。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
後漢七辨	張衡	西施。從容。嬌嬈。嫋嫋。嬌嬈。嫋嫋。嬌嬈。嫋嫋。 嬌嬈。嫋嫋。嬌嬈。嫋嫋。嬌嬈。嫋嫋。嬌嬈。嫋嫋。 嬌嬈。嫋嫋。嬌嬈。嫋嫋。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
8 後漢魯都賦	劉楨	膠膠。膠。膠。膠。膠。膠。膠。膠。膠。膠。 轔轔。轔。轔。轔。轔。轔。轔。轔。轔。轔。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23 全文10/12/23
9 後漢協和媚賦	蔡邕	麗。麗。麗。麗。麗。麗。麗。麗。麗。麗。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23
後漢協初賦	蔡邕	其。其。其。其。其。其。其。其。其。其。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23
後漢檢通賦	蔡邕	雌雄。雌。雄。雌。雄。雌。雄。雌。雄。雄。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23
後漢青衣賦	蔡邕	郎情淑寵。脂齒清音。在瑟瑟閑曉的。讀舞都說。樂趙楚辭。	19455102 203 19455102 66	文選19/10/23

中国美女传稿

文類	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	西	基	備	考
27	梁連珠	吳均	蓋聞龍虎所以成精於近班，鷩鸞非無氣者之官。 揚子晉之才選才。						23	23	23	23
28	梁七	何遜	聚獨此其惟絕世超機直不儻不儻，恰如麗娟之艷。 逢秋性閑事遠流於理結，歸於深妙於纖微。 爰能詠於輕妙。 綠珠持樹就騰轉，青春貌變。						24	24	24	24
29	梁採物作賦禮達珠	劉潛	多則沉鬱，少則優游，清圓如鑿，銳利如精。						25	25	25	25
30	後周春	庾信	綠珠持琴至丈君酒池。						26	26	26	26
	後周七夕	庾信	委誠露安，趨體任流，倚窮撫盡，遺懷委素。						27	27	27	27
31	隋宴喜	薛道衡	妙歌淑媛，玉婉花濃。						28	28	28	28
32	唐鏘銅門推薛以墓詩銘	陳子昂	姬人性廟，開園于金之壺也。物已發於漢，華芳雲。 翻自龍賓也。						29	29	29	29
33	唐麗色賦	富嘉謨	密有通鑑，顯有御稿，無追立術，空陳陳。						30	30	30	30
34	唐美入賦	呂向	葉葉以深，神密而妍，葉局於紅，姿靡於綠。						31	31	31	31
35	唐初賦通苑賦	徐寅	威人圖分以故以鑿畫以深之筆，講賦以形而實。						32	32	32	32
36	宋神女廟賦	晁公遡	惠惠清閒，楚陽之山，有神焉。						33	33	33	33
37	明江妃賦	俞安期	蕭何空造於漢，星紀載斯焉。						34	34	34	34

中国美女伝稿

詩時代詩文題作者摘要藝初覽類函集備考

二		月明照近西藏山 秋聲發御麻 隨風密雨情如劍 獨得絕世輕	19 328			
魏 雜	詩 曹 植	南朝前人容華生 秋李消薄葉未熟 能言發皓露	19 328	2/162		
8 魏 詠懷詩三首之二 院 篇	月明照神 君從玉道入湘江 誰觀王顏約均華			全詩詩247		
龍詠 懷八士二首之二 院 篇	二經涉江濱 城邊樹葉蕭蕭清 微霞	19 328	233-274	5/25		
	西北南流 皎皎自照 修省留鏡	19 328	52 65	5/17		
	十六 周關以次 飲酒賦子 飲酒芳芬 愛發穎類時	19 328				
	船傾傾城 灑					
9 晋 樂府 豔 歌 行 傅	玄 壯翰飄飄有妙音 遇金鑰可解明珠	19 328	59 670	全詩詩239		
晋	艷歌行有女篇 傅	有女懷春 始歸零 明月皎皎 揚升龍首 歸色若王 魂乃嘉矣 擣蕙裝佩何詳 帝嘵何世出	19 328 C17	235-274 52 67	2/27	
	美女篇 傅	玄 美人一何麗 願與芙蓉花 願與良人同 願與刺繡家	19		2/24	
	吳楚歌曰燕燕 傅	玄 燕人更今趙女往	19		2/25	
10 晋 情 詩 五首之一 張 華	北方有佳人 二 明月曜清景 觀佳人入室 乃笑語 推盛時 煥時樂眉			主詩詩2/283		
晋 感 婚 詩 張 華	窈窕出閨門 始雜煥 發笑聲 美目流清揚				2/284	
11 晋 《樂府》日出東南開行 陸 機	採桑子 日出東南開 高臺多好麗 洞房出雲 都賦曉霞映	19 328	59 673	全詩詩3/29		
晋	擬青青河畔草 陸 機	鹿廬之幽草 的然映林 繁榮映露 青青映色	19		3/26	
晋	擬東城為且長 陸 機	風山何以故 逐客王顏長 理難	19		3/27	
晋	擬西北有高樓 陸 機	高樓何寂 但使願無違 請自閉 客誰能願城 有一彈	19		3/27	
12 晋 失 题 陸 害	有美一人 名重萬象 淑以明德			全詩詩3/464		
晋 爲顧秀才贈詩往西四百一 陸 云	爰在鳴柯 据胡床 日潛聽雀 宵存浪晉 候秋而過 朝朝夕夕 黎黎如我 羨	19			3/25	
	二 屬顧秀才 遠征 羨					
	三 涼涼 對子					
	四					
13 晋 嫦 女 詩 左 思	吾家有女 皎皎如月 隨我入室 懷此意 雙馳捷 望窗際 物			全詩詩4/27		
14 晋 樂府 胡姬年十五 翟 琪	初學照曉日 深水含蓮葉 如何才子 含笑面	19 328	59 674	全詩詩4/17		
15 晋 樂府子夜歌四首之一 翟 琪	暮田前門 治容多整齊			全詩詩5/23		
	四一 慢地而進 晝晏持鏡 其如後歌 歌持鏡					
	四二 新照鏡 持鏡					
16 劉宋 《樂府》歌 行 劉義恭	江南遊 北石梁 采桑度 度桑葉 結桑葉 桑葉落	19 328		全詩詩7/58		
17 劉宋 秋 胡 詩 顏延之	橘樹鳴鶯 安得歸園 游	19 328		全詩詩8/18		
18 劉宋 《樂府》日出東南陽行 謝玄運	相如冠羽 朝日碧鸞 美人徂宿	19 328		全詩詩8/29		
劉宋 會吟 行 謝瞻連	六月猶清嘆 肆涼風 照體散餘暑	19 328		3/30		
19 劉宋 《樂府》代朗月 行 鮑 照	朗月照山 當多佳人 被服以研 膏髮散餘 光	19 328	59 675	全詩詩4/21		
劉宋 代堂上歌 行 鮑 照	朗月照堂 坐失良時 良時失人 人失相識	19 328		4/21		
劉宋 學 古 鮑 照	北風一丸 寒煙凝 聞蘿葉 聲 如神變 生壯聲	19 328	59 675	4/21		
20 齊 《樂府》子夜歌三首之二 陸 凤	秋水共長天 一色 無窮碧 天接	19 328	59 675	全詩詩4/21		
21 齊 《樂府》東陽伯勞歌 武 帝	東陽伯勞 西西郎 聞郎聲 知郎	19 328	59 675	全詩詩5/27		

中国美女伝稿

詩號	詩文	題作者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考
22	梁武照流着落	鍾明太子	相隨照滿水，流搖粉影瓊。	78 32%	521							
	梁名士悅傾城	昭明太子	——23 和相王名士悅傾城。	78 32%								
	梁美入晨粧	昭明太子	——23 美入晨粧。	78 32%		255.27.6.2						
23	漢隱府美女篇	簡文帝	佳麗並鬱清，窮態隨以情。嬌歌逐軟聲。	521 6.11			全集詩7.1.5					
	梁明君詞	簡文帝	玉體清涼實金體，婉紅。				1888					
	梁東飛伯爵歌二首二	簡文帝	西施捧珠進舞殿，故鄉誰識君。	521 6.12			1876					
	梁柳湘東王名士悅傾城	簡文帝	美人捕性濃色比比黃。	(38) 521 6.12			2908					
	梁戲贈麗人	簡文帝	麗也與收揚，含羞杜可初。	521 6.12			2908					
	梁率爾爲詠	簡文帝	措問仙將畫詣有時，人頭頭且傾風。	521 6.28			2909					
	梁詠內人畫眠	簡文帝	北窗聊就枕，夢入閑愁處。醉裏夢華春，對子曉。	78 521 6.29	255.27.6.2		2910					
	梁三月三日率爾成詩	簡文帝	芳菲綠色繁，繁綠枝綠色。熙熙熙熙柳，柳絲柳絲腰。				2914	*				
	梁曉景出行	簡文帝	細樹細殘春，開散晚晴。	521 6.29			2919					
	梁詠美人觀畫	簡文帝	殿閣前吹管，製出佳音。分明睂眼，一種認難尋。	521 6.29			2920					
	梁美入晨妝	簡文帝	北窗自朝曉，她喜行持。拂拭初凝露，得眉眉。	(38) 521 6.29			255.27.6.2					
	梁贈麗人	簡文帝	脛肢極地眉，眉得鬚。	521 6.29			2922					
	梁逞望	簡文帝	折獄葉紅懷斜柯插玉簾。	521 6.29			2932					
24	漢隱府班婕妤元帝	婕妤初進，含韻中懷何言苦。					全集詩3.9.15					
	梁孫蓮曲元帝	碧山像女，蓮花別臉色。	521 6.12				2945					
	梁古意元帝	新成御服，輕衣重。					3960					
25	梁事中見美人齋繪	人齋繪	關山袖服，教她書牋牋。姑兒能嬌嬌，行行絕絕。	521 6.12			255.27.6.5					全集詩2.9.9
	梁見姫人畫繪	春不復歸入苑駐行車。	78 521 6.29				2967					
26	梁周蕭長史有妓蕭紀	燕趙秋色，猶對火發歌。追羞半膽送入曉城。										全集詩3.9.10
27	梁隱府日出東南閣行沈約	朝聞郎曉照，對臺橫。										全集詩4.9.7
	梁湘夫人沈約	瀟湘風急，搖城。										4995
	梁少年新婚爲之詠沈約	小窗寂寥，空室。										41007
	梁夢見美人沈約	夜闌歌息，曉音暗色。										41007
28	梁詠美人春遊江淹	江南春暮，便乘輶覲。明珠路。	521 6.27									全集詩3.9.8
	梁清思江淹詩	趨后堂，晝遊。					5.10.2					
29	梁月夜詠陳康新有所納王僧孺	二人如花，重對。	78 32%				521 6.7					全集詩6.10.7
	梁詠寵姬王僧孺	妃鳥瑩。					61078					
	梁見者被迎董姬鴻之詠王僧孺	久渴易驚，顧頭就有一朝。	521 6.7				61077					
	梁在王晉安酒席賦韻王僧孺	窈窕容華。	521 6.7				61078					
	梁爲人有贈王僧孺	碧櫻珠。					61079					
30	梁贈吳均三首之三柳恽	遺遊勞。										全集詩7.1.7
31	梁詠美人廣肩苦	絲樹財施，俱是好。	78 32%				255.27.6.10 6.20					全集詩7.1.10
	梁蕭看人還廣肩苦	青林盤子。	78 32%				255.27.6.11 6.21					71102
	梁詠美人看畫令廣肩苦	欲和畫巧，曉歌。	78 32%				255.27.6.7 6.21					71103
32	梁隱府擬古四體吳均	體陽。	78 32%									全集詩7.1.7
	梁和蕭鵠賦六首之五吳均	嘉賓。	78 32%				255.28.6.4					27134
33	梁苑中見美人何遜	羅袖風中捲。	521 6.4									全集詩7.1.13
34	梁隱府羅敷行蕭子範	城南草上微。	平心。				521 6.4					全集詩7.1.18

詩題	時代	詩文	類別	著者	摘	考	備註
35 楊隱初日出東南閣行	唐	蕭子顯 大明書卷之三 楊隱初日出東南閣行	詩集	蕭子顯	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁代美女篇	南朝	蕭子顯 北齊書卷之三 梁代美女篇	詩集	蕭子顯	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁商征曲	南朝	蕭子顯 梁書卷之三 梁商征曲	詩集	蕭子顯	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁詠服	南朝	蕭子顯 梁書卷之三 梁詠服	詩集	蕭子顯	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
36 梁愛姬贈主人	南朝	劉孝緝 歐人疑物賦	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁爲人贈美	南朝	劉孝緝 項萬山作羅敷辭	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁漢江獻詩行	南朝	劉孝緝 參始安王送銀佩徵出房	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁遠望都主人	南朝	劉孝緝 洞庭湖深廣	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁子惠	南朝	劉孝緝 燕趙多佳日照紅妝	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁詠姬入未肯	南朝	劉孝緝 惟明殿影兼動閑聲	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁遙見羨人採荷	南朝	劉孝緝 蓮時綠綺荷水或治妝	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁詠眼	南朝	劉孝緝 含嬌眼合一鴻遙笑迴	詩集	劉孝緝	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
37 梁隱初擬古應歌	南朝	劉孝威 雙指翻彈鳳驚鶯指教治折枝城唱賦情終美	詩集	劉孝威	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁詠佳麗	南朝	劉孝威 可憐得可憐誰擣恨	詩集	劉孝威	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
38 梁初春舊內人行戲	南朝	徐君倩 桃鏡今世已春折斷	詩集	徐君倩	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
39 梁敬酬周長孫詩	南朝	劉緩 不信風山不借治詩還須頌人如燒似面赤色	詩集	劉緩	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁看美人摘薔薇	南朝	劉緩 新竹監苗光復復相隨	詩集	劉緩	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
40 梁詠舞女江洪	南朝	江洪 腰續橫綵輕腰急	詩集	江洪	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁詠美人治妝江洪	南朝	江洪 上車易好妝頭更斜轉人懷畫眉	詩集	江洪	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
41 梁南苑逢美人	南朝	何思澄 洛浦遊雲霞城分金闕音韻曉霞隨合弄逐分	詩集	何思澄	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
42 梁初慶記室騷苦意	南朝	何子朗 美入承日清鏡對物清新照玉手	詩集	何子朗	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
43 梁春郊見羨人	南朝	羨祀 芳郊拾翠人過油煙草	詩集	羨祀	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
44 梁落日看還鮑	南朝	鮑泉 如怨如慕早春上苔蘚名辰	詩集	鮑泉	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
45 梁雜詩	南朝	施榮恭 越吟楚辭流落客水東未盡還惆悵	詩集	施榮恭	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
46 梁百里奚歌	南朝	高先生 窮旅寒窗靜夜空聲聲強發徵調	詩集	高先生	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
47 梁至鳥林村採桑贈王樞	南朝	追羽挺筆下斯言竇暢	詩集	王樞	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁徐商書廬賦贈王樞	南朝	紅蓮早露曉吹曉曉曉曉曉曉曉曉曉曉曉曉	詩集	王樞	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
48 梁詠繁華	南朝	沈泓 可憐宜出眾勢冒雙眼	詩集	沈泓	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
49 梁答外二首之一	南朝	徐孝嗣 花是麗景料春開洛基東家折柳別君重各揮此夕方知汝顧洛基	詩集	徐孝嗣	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
50 梁隱初映水曲	南朝	謝朓 輕輕學步雙蛇接初	詩集	謝朓	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
梁戲蕭娘	南朝	明月櫻初發想後其姿清麗若	詩集	蕭娘	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
51 梁隱初日出東南閣行後主	南朝	重輪上猶瞻酌酌酌酌酌酌酌酌酌酌	詩集	後主	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
陳有所思三首之一	南朝	薄好青旛旛花向我懷初用愁置	詩集	後主	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
陳舞媚娘三首之二	南朝	佳人在燕燕相望謂誰是弟弟明月下淚盡漸消	詩集	後主	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	
陳玉樹後庭花後主	南朝	麗子荷葉翻翻新故故繁風傾城故故故故	詩集	後主	10.11.20 10.11.20	全蜀詩10.11.20	

中国美女伝稿

詩時代	詩文題	作者	摘	要	初	覽	類	函	集	備	考	
唐	東飛伯勞歌	張東之	青的鶯山更喜女郎故兩相送。總世三更紅妝。							991067		
唐	明月	李如豐	三五月夢魂何處。照我鏡前影。是她眉頭橫敗雲。							全唐詩列189		
唐	妾薄命	武平一	有女枝且麗。飄唇發白齒。雙如雙眉紅臉細。期逢羞羞說。							全唐詩021003		
唐	席上詠美人飛鸞	張謂	筆畫雙試墨鑑歌。							全唐詩101113		
唐	人玉清歌	張謁	——104									
唐	麗人曲	崔國甫	紅顏綠特代。欲言無自信。							全唐詩111103		
唐	贈元載歌妓楊	吳昌齡	雪面淡眉入少女。楚腰細柳不勝春。							全唐詩121113		
唐	西施詠	王維	點色西施此夜穿。只愁空使越嬌。							全唐詩131107		
唐	盧姬篇	崔顥	盧姬好嬾嬾。綠髮輕鬢急。腰挑金玉人生日得嬌音。詩道虛生豈自知。							全唐詩131204		
唐	越女怨作隊曲	王昌齡	越江泛舟將桂楫。							全唐詩141102		
唐	采蓮曲二首之一	王昌齡	吳姬越體楚江聲。弄蓮葉東水西流。							1031004		
			二 荷葉羅裙一色裁。芙蓉向臉兩相映。									
唐	西宮秋怨	王昌齡	芙蓉向臉兩相映。							1411045		
唐	古意三首之三	常建	驚鴻引客宿家村。問誰捨妾委良媒。							全唐詩144103		
唐	古歌二首之一	蔣維翰	美酒何須貴。清酒當自閑。不鬱復不詎。紅頭雙雙燕。							全唐詩1451047		
			美人閑打牋。									
唐	采菱女	萬楚	小隱柳家女。雙眉附上株。城道的主。							全唐詩1461048		
唐	立日觀妓		西施越浦露含沙。點染朝霞靄。照耀君王皆掩飾。							1461049		
唐	後庭怨	王諲	君闕紅闕外。班頭玉帶中。大排珠山客。安接自鶯鶯。							全唐詩1471070		
唐	戲馬臺所畫美人障子	劉長卿	愛重飲姿西子現。雙城如醉。							全唐詩1471082		
唐	王昭君歌	劉長卿	白紵請歸漢。不顧情入玉館對火研磨。鐵牀下復漢。宮扇雙吹向胡歌。							1511099		
唐	詠史十首之十一	李華	沂水春可渡。麗色入人間。電影得蓮臉。一派嬌雙波豔。							全唐詩153107		
			質賦重。周王愛叔。									
唐	飛燕篇	王贊	君見羣鴟飛。爭逐五三時。凌風振翅與雲齊。							全唐詩161104		
唐	古蛾眉怨	王贊	君視宣室中。花萼殿。怎聞天子憐蛾眉。							1531604		
唐	春意	孟浩然	佳人射雀屏。春詩多點綴。							全唐詩161105		
唐	美人分香	孟浩然	點色初傾城。香散情。							1601616		
唐	古風十五首其一	李白	燕趙有奇眉。目豔破瓦。笑傾城。鐵琴忘玉琴。							全唐詩161105		
			美人出浦閣。灼灼芙蓉照。徹底不共伊。素娥寂寞。							1611070		
唐	中山孺子妾歌	李白	中山孺子妾。持足躋身際。奇星當時絕世人。							1631611		
唐	陌上桑	李白	美女渭橋東。夫來秉數丁。纏綿百韻綠條冰。							1651704		
唐	西施	李白	西施越溪女。出於蘋花間。皓腕凝霜雪。皓齒含蘭膏。							1871088		
唐	上元夫人	李白	上元誰夫人。偏得玉顏嬌。洗成三月體。							1871086		
唐	效古二首之二	李白	自古有秀色。西施總莫如。蛾眉不可始。							1831061		
唐	擬古十二首之三	李白	高樓入青天。遠夜美人倚青闌。							1831020		
唐	寄遠十首之六	李白	愛君詩擇取。點色美。美人分銷土。							1881077		
唐	陌上贈美人	李白	顏惠曉鶯踏落花。美人笑露珠。							1861080		
唐	日號吳王裏半醉	李白	風動荷花香。碧幕。西施醉舞綠絲。							1861082		
唐	越女詞五首之一	李白	長干里女有艷瓶。							1861085		

中国美女传稿

詩賦詩文題作者摘	要藝初覽類西集備考
唐流紗石上女李白玉韻那漢足青娥玉粉妝	1541005 增24 C79
94 唐王母歌作玉女歌章應物聚山巒漢女玉顏勝似處處	全唐詩20202 1926018
唐五弦行書應物美人如我彈五弦	全唐詩20202 1926018
95 唐贈趙使君美人張謂紅粉青娥映楚雲輕歌獨向東方去	全唐詩20202 1926018
96 唐田使君美人歌杜牧歌參芙蓉如面蓮如花漫卷長絲湖綵復橫	全唐詩20202 1926018
唐醉賈子美人參精一醉桃花殿宿醉過酒傷醫藥	全唐詩20202 1926018
97 唐美人春臥樂鍾安坐吹歌隱羅裙被堂	全唐詩20202 1926018
唐名姝詠樂鍾阿嬌半掩羽牋人未相	20202114
唐艷女詞樂鍾麗珠挑挑批批美人姿態表	20202114
98 唐詠談容娘常非月舉筆花枝滿院落誰知	全唐詩20202 增235300
99 唐玉華仙子歌李康成紫陽山下名華子華轉龍遊道裏插柳綠葉黃花	全唐詩20202 1926018
100 唐江上曲李嘉祐江心灘蕪芙蓉江口波平蜀道難	全唐詩20202 1926018
唐古興李嘉祐十五家文雙雙人不期競音書	20202114
101 唐秋胡行高適安本鄉林寂寂時客醉停歌人未知	全唐詩20202 1926018
102 唐麗人行杜甫三川日天風新長安水多愁人悲憲淚如雨荆賦貴猶少	全唐詩20202 C57
103 唐贈薛瑤英賈至賀故錄進士及第賀開門	全唐詩20202 1926018
104 唐渭入玉清歌畢禮洛陽有女名玉清可憐玉清如其名却謂花叢無人及	全唐詩20202 1926018
105 唐春思贈人柳中庸紅粉當三五青盤體一雙	全唐詩20202 1926018
106 唐別往人崔膺樓上流泉罷分一醉我入月中去	全唐詩20202 1926018
107 唐倫開府席賦詩得君詩解君盧繪不盡相如賦曉得君詩如低頭歌聲妙漫漫	全唐詩20202 C57 增24 B17
唐宴席賦得姚美人作詩解君盧繪此幕窮細事隨微收能窮纏紅袖深逞強弱	2773199
郭君子指道放逐飛雲	
108 唐雜歌李端漢水春泥則斷江文碧艣乘衣顏色細花終素棄無鹽阿用伊西施	全唐詩20202 1926018
109 唐詠被中繡鞶夏侯審雲裳縫鉛滿鳳鸞玉郎脫綵如夢空	全唐詩20202 C57 B17
110 唐銅雀妓劉商鵝毛移就眉美人美於深	全唐詩20202 1926018
111 唐題美人于鵠秦文蘋人不解美琴華趙蝶出牆頭	全唐詩20202 1926018
112 唐卓公席上詩賦珠姬范元凱神安初離碧玉階昨雲游挾拂打羽鞋	全唐詩20202 C57 B17 B20
113 唐觀翟玉妓李憑女郎聞閑香豔粉斜斜垂垂入簷窗聲中	全唐詩20202 1926018
114 唐贈佳人武元衡步搖金環玉搖頭傾頭傾歌歌急急愁愁	全唐詩20202 C57 B20
唐代佳人贈張前中武元衡洛陽纏綢心懷愁怨愁	3173078
115 唐雅詩五首之一權德輿婉彼蕭何之政蕭何之史	全唐詩20202 C57 A21
二陽臺上人說詩生御衣	C57 B20
三淇水正綠上官蘭葉青	C57 B20
四碧樹涼對風飄飄佳人聽此悲歌淚相觸	C57 B20
立合譽所望瑟男嬃皆善意	C57 B20
唐薄命篇權德輿昔時卿所助乃是詩家所推贊娟娟貌入餘白嬃顏	3393622
對子初嘗苦語秦女	
唐玉臺體十二首之二權德輿譚歌入正愁裏	3283673
三聽歌罷折蘂輕遲上妝圓	

詩	歌	賦	文	題	作	者	摘	要	藝	初	覽	函	集	備	考
唐 雜	樂	五首之	一	權德輿	紫裝詔謂新初絕代尤人一聲才掩重									323.3644	
			二		午聽絲穿心竹管	奏深源佳音									
			三		璇璫響闢以歌清	合奏試新韻									
			四		劍匣雙龍劍佩橫	劍佩照清光									
			五		至山前冷珠琴	珠琴拂拂弄清音									
116 唐 大	提	曲	楊巨源	二八擣詞是女羅	詞何相回學									全唐詩323.74	
唐 胡	姬	詞	楊巨源	妍豔臨江麗妝成	竹樓愛惜踏晚曉									323.3748	
唐 雀	娘	詩	楊巨源	清潤酒醉不迷醉	醉飛羽蝶黑									323.3757	
唐 美	人	春 忽	楊巨源	喜蒙風暖照曉晴	醉室									323.3758	
唐 藍	女	詞	楊巨源	鶯飛桃托發雙燕	折柳美人遠懷									323.3759	
唐 名	妹	詠	楊巨源	阿嬌早移鬢弱	弱比能對對學誠									323.3760	
117 唐 館	妓	宮中賦	一	劉禹錫	官銘財勝性	體傾采畫衣	大王家							全唐詩324.67	
唐 贈	李司	空	妓	劉禹錫	蜀望雲霞到林杪	春歌曲	商柱垂流							324.67	
118 唐 王	昭	君	張仲素	仙城爭下賦										全唐詩324.77	
119 唐 有	所	恩	盧 全	當時我醉美夫人	顏色如花天涯錯酒	月								全唐詩324.78	
120 唐 宮	娃	歌	李 賀	蠟燭曉應照空堂	花影照紅守宮									全唐詩324.79	
唐 憶	公	李	賈	宋玉愁空斷	江口櫓帆浴罟灊	曉散故香								324.79	
唐 美	人	梳頭	歌	李 賀	西施曉夢枕橫寒	驚起芙蓉睡	斜足							324.80	
121 唐 白	衣	裳	二首之一	元 穎	別野輕塵隔	半含惆悵間	繡							全唐詩325.01	
			二		新綵衫子花裙	空香沈沈慢	遺								
唐 鴛	鷺	詩	元 穎	飛鷺	碧草蔓	取次摘頭聞	微							422.6452	
唐 離	思	五首之一	元 穎	雙飛	批曉鏡	作俱依的	照							422.6453	
			三		紅葉	逐逐新									
			四		碧浪	逐水									
唐 會	真	詩	三十韻	元 穎	微近	飛簷	微	微						422.6454	
					雙	翠	翠	翠							
122 唐 繼	古	詩	十首之五	白居易	窮雙鬟女	容德儼如玉								全唐詩325.02	
唐 長	恨	歌	白居易	漢重色	恩懷國	回眸一笑百媚生	六宮粉黛無顏色	溫泉						422.6455	
					水滑洗凝脂	侍女扶	扶她力掌櫻花步	騰	後	佳麗					
					三千金	萬	萬	萬	萬	萬					
					玲瓏	玲瓏	玲瓏	玲瓏	玲瓏	玲瓏					
唐 簡	吟	白居易			窮劍	劍	劍	劍	劍	劍				422.6456	
唐 和	夢遊春	詩一百韻	白居易		剪蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋				422.6457	
					蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋					
唐 霽	後	送詩序	贈	白居易	露含青翠	山川復舊	祖							422.6458	
唐 吳	宮	辭	白居易	入	風	風	風	風	風	風				422.6459	
唐 鄭	女	白居易			遺	遺	遺	遺	遺	遺				422.6460	
唐 和	李	繁	白居易		減	減	減	減	減	減				422.6461	
123 唐 美	人	梳	白居易		減	減	減	減	減	減				422.6462	
124 唐 姑	蘇	臺	白 李紳	越	工巧被	被	被	被	被	被				422.6463	
125 唐 李	夫	人	歌	顧洛	指	指	指	指	指	指				422.6464	

中国美女传稿

詩號	詩文	題	作者	稿	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考
126 唐觀 美人	施肩舌	洛陽雙陸棋盤對紅袖遮嬌花										全唐詩197-198	
127 唐貼 美人	草孝標	銷金牋上博新妝性情嬌媚娘										全唐詩200-201	
128 唐閨 清杜牧		梧桐深處雨新愁夢裏飛龍										全唐詩202-203	
		贈別二首之一 杜牧		嫁與郎君未嫁郎郎如初								529-530	529-530
129 唐閨 歌 李商隱		鉤笑被妝容嬌嬈細腰歌北闕										全唐詩204-205	
		唐楚 宮二首之二 李商隱		月映首逢丁卯鶯傳綠誰識已閑歌和細腰吏 細腰聲管相繼								540-541	
130 唐詠蠻-惟送採桑秦氏女 趙蝦		南陌綠絲綉頭頭貌										52	全唐詩206-207
131 唐邊商山店 韓琮		商山驛路接連途未到山城斜照映紅蝶掛頭頭貌										53	全唐詩208-209
132 唐醉後贈馮姬 李羣玉		黃香散盡促揚雄一雙纖手語香弦										54	全唐詩210-211
		唐周郎相送歌送微戲贈李羣玉		橫批大禮物的水聲響千段宮								55	55-6007
		唐龍將佳人歌歌此一李羣玉		團圓明月底再柳枝腰 采圓句句盡未得歌歌松 欲揚揚猶猶情願歌蘋 門客客茶始居門歌竹煙 不是心你相綠愛綠珠 疏食食客住改歌名 春曉按全宋魏均約歌妙 第一龍歌相識是阿誰								56	570-608
												57	570-608
												58	
133 唐張靜婉採蓮 歌序 溫庭筠		蘭臂雙釵玉步無輕折頭他雲客										59	全唐詩215-217
唐湘東宴曲 溫庭筠		湘波映金人共合清歌頌頌										60	576-603
134 唐美人嘗茶行崔廷		空襲枕落酒前匙歌歌歌酒頭酒頭正明 舞漸開拂拂手撥絲管靜心忘										61	全唐詩217-218
135 唐四怨三愁五情詩二首詩第一 曹鄼		美加歌花許像還懷望										62	全唐詩219-221
		慕三愁		撫繁如繁是如蛾								63	
		慕二情		阿嬌生漢室西施生南園								64	
136 唐越女 汪遵		王孫何顧渡沙蘋風映浦歌不憚子犯彈華										65	全唐詩220-222
137 唐美 人 陸龜蒙		美人把長卷衣怨彈羽鶴										66	全唐詩223-225
唐預工乘 陸龜蒙		耕還還邑邑長歌亦似這事忙										67	628-630
138 唐公子行三首之一 藝中		灘上綠族族是人畫仰雨露能重										68	全唐詩226-227
139 唐贈美入四首之一 方干		直綠著用心歌者深微學扶弱持弱持弱										69	全唐詩228-229
		二		歌歌急急如急急挑葉如挑葉								70	
		三		酒蘋入然射生鹽齊御腰隨抽腰								71	
		四		首召仙人釣人								72	
140 唐西施 羅隱		家國興亡自別身何苦落西施若解傾東閣										73	全唐詩230-231
141 唐比紅兒詩 扇羅虬		姓翁俊足立微時歌子歌春										74	全唐詩232-233
142 唐詠手泰韜玉		一雙指子纖纖營娘子的掌蓋										75	全唐詩234-235
143 唐馬上見韓偓		騎馬銀錢錢未剪頭如剪頭穿玉錢										76	全唐詩236-237
		唐道見韓偓		悲歌幾度酒歌歌令人憇盡揚揚								77	623-629
		唐席上有贈韓偓		猶歌悵絕林塘落葉迷閑								78	629-632

詩	時代	詩文	選	作者	摘	姿	藝	初	覽	類	涉	集	備	考				
唐	詠	手	韓	偓	腕白纏紅玉筍柔人指輕牽繩縫向指輕牽繩縫。	52	52	683	7203									
唐	病	憶	韓	偓	信地批酸率情。纏綿翻覺覺輕。	52	52	683	7204									
唐	思	笑	韓	偓	宿綠深淺畫。纏枝誰是急流時。	52	52	683	7207									
唐	密	意	韓	偓	照花照葉輕含笑。縱枝未盡輕自。	52	52	683	7208									
唐	偶見背面是夕兼夢	韓	偓		映疑將那玉搖肩。眠涼初月也嬌豔。	52	52	683	7209									
唐	裏	娜	韓	偓	曉鶯飛渡清秋。翰林猶嘵早。	52	52	683	7203									
唐	偶	見	韓	偓	半築階連選一枝從教奈傾傾。	52	52	683	7203									
144	唐	陽	灼	荅	曉聞鈴為蘆於近空。簪髻時破風挑墮雙拂水玉。那曾顧照。	52	52	全唐詩	720499									
145	唐	卷	簾	黃	泊	綠鬟青竹織織。新妝映出素潔。	52	52	全唐詩	720513								
	唐	啓	帳	黃	泊	得人惟定緋羃。愛鍛神結出郎闌。	52	52	7068151									
	唐	去	扇	黃	泊	城上賈生織短絛。已知春早翠山。	52	52	7068151									
146	唐	西	施	灘	宦道融	卓語是圓內施門認名。	52	52	全唐詩	720203								
	唐	西	施	崔道融	芳韻丁卯故。占得華藏數上春。	52	52	714297										
147	唐	西	施	蘇	拯	晏幾體後接他說出。	52	52	全唐詩	720200								
148	唐	詠	手二首之一	趙光遠	袖底絳波淡露痕。持紅怕損弱。	52	52	全唐詩	720202									
				二	袖丁搖瓊教圓。持窗誰上琴弦。	52	52	全唐詩	720202									
149	唐	范	羅	周	暉	西子誰將淡雅。會持雨露取珠。	52	52	全唐詩	720208								
150	唐	潘	妃孫元量	周	暉	誰道龍危陰王。只還前懷恩惠。	52	52	全唐詩	720211								
151	唐	西	施	盧	注	惆悵與共繫綺屢。此頭誰遣青城。	52	52	全唐詩	720221								
152	唐	題西施浣紗石	胡	出真	朝一	翠宮萬萬遺芳華。	52	52	全唐詩	720221								
152	唐	王	招	君	宋	戲	圖畫大真。寧管性娛人。	52	52	全唐詩	720229							
153	唐	逢	鄭	女	周	演	日高那可忘。誰知世事誰知。	52	52	全唐詩	720310							
154	唐	閨	城	懷	古	裴	瑤	五湖風浪急。掛劍何消萬裏。	52	52	全唐詩	720319						
155	唐	易	入	聞	琴	不聽	李	播	滄海風聲急。別琴何消聽劍。	52	52	全唐詩	720319					
156	唐	垂蜀女	轉	君	變	吉	師	光	妙極橫石指。卻有難處逐月。	52	52	全唐詩	720471					
157	唐	詠	美人騎馬	無名氏	驥	馳	仍	歌	扶王輕。	52	52	全唐詩	720482					
158	唐	豔	歌	無名氏	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	全唐詩	720482					
159	唐	贈	鄭	女郎	薛	韻	點	點	點	點	點	全唐詩	720488					
160	唐	贈	歌	姬	崔	君客	水廟	點	點	點	點	全唐詩	720491					
161	唐	柳	眉	趙	豐	譽	譽	譽	譽	譽	譽	全唐詩	720492					
	唐	檀	口	趙	豐	譽	譽	譽	譽	譽	譽	全唐詩	720492					
	唐	織	指	趙	豐	譽	譽	譽	譽	譽	譽	全唐詩	720492					
	唐	酥	乳	趙	豐	譽	譽	譽	譽	譽	譽	全唐詩	720492					
162	唐	古	意九首之三	貧	休	休	美人如送龍。被問貧窮。	52	52	全唐詩	720497							
	唐	經	渠	宮	貧	休	夫差贈霸圖。傾城是餘官露。	52	52	897424								
163	唐	富	資	曲	杜光庭	美	人	撒洪泥。涓頭問珠。	52	52	全唐詩	720466						
	唐	詠	西	施	杜光庭	譽	譽	譽	譽	譽	譽	8849666						
164	唐	題廣陵妓屏二首之一	呂	巖	妓	醉	醉	醉	醉	醉	醉	全唐詩	720470					
165	唐	玉女舞霓裳	李太玄	劉	第	第	第	第	第	第	第	全唐詩	720471					
166	宋	踏青	詩	張詠	春游	萬象	萬象	萬象	萬象	萬象	萬象	東坡集	720472					
167	宋	前樓十二韻	劉筠	重柳	隱森隱	折	柳	柳	柳	柳	柳	全唐詩	720472					

中国美女传稿

詩歌時代	詩文題	作者	摘	要藝初覽類曲集備考	
196 明 安樂酒家少憎識	劉子 聖祐	吳山山客樂里酒色高首子嫣然笑生春雙鬟	593 593		
	銀瓶	錢學	醉樂平醉記下	593	
	則已	李之芳	對美酒主所置	593	
	酒飯話說	李之芳	爲着此賦此	593	
197 明 無 题	薛瑄	絕地青城入餘仙客綱好樓居	593 593		
198 明 婴 莲	金廷鉅	我愛金錢窮情一相識的相惜	593 593		
199 明 圓 簿 仕女	姚倫	鑑賞脂粉蛾花試試家沒朝天指頭色	593 593		
200 明 戲 题 美人鏡	背吳駒	輕畫野遠物在伊的使未熟一例娘有箇人	593 593		
201 明 梅 邊 美人	夏寅	欲向東風問門否試看一種輝明照影夢入人	593 593		
202 明 邊 美人	邊貢	月宮秋冷桂圓底歲歲花開只自馨	593 593		
203 明 邵 鄭 郡 美人歌	康海	蘭小嬌打鳳笑那事後人漏壺台神妙婉性情隨才擇聲望	593 593		
204 明 紹 甲 露 人	楊慎	銀門脚澤託從王指生	593 593		
205 明 襄 陽 樂	王世貞	大麗繡郎映出芳聞	593 593		
206 明 采 蓮 曲	丘吉	細語呼還不聞一朝噴玉瑩	593 593		
207 明 西 湖 采蓮曲	朱陽仲	汎裝素浦憑西子如花	593 593		
208 明 西 湖 采蓮曲	沈明臣	西湖解脫潭是新綠楚蘿藏荷葉人誰以數	593 593		
	明 流 文	曲	送綠絲絛橫窗前將御腰借	593 593	
209 明 無 题	王穉登	一束金江辭辭落櫻難樣難忘	593 593		
210 明 鳥 樓 曲	馮時可	片鶯空盡爲珠受挫明河色殊	593 593		
211 明 潶公詩遊春王文圖	張琢	眉鬢碧新明曉鶯波怎纏他到曉鶯侵官	593 593		
212 明 采 蓼 詞	沈一貫	銅快火明光曉鶯脫相知	593 593		
213 明 開歸起和得之生作	張獻翼	佳麗易龍山將合花落繡紅	593 593		
214 明 淀所善美人圖詩作	張肯	流蘇深後雙垂青絲度織羅	593 593		
215 明 采 蓼 曲	轉上枝	採蓮歌蓮起始曉世所工環臂急急都	593 593		
216 明 流 衣 曲	陳虧夫	沾衣解新裳密雙雙汗淚消消	593 593		
217 明 江 南 樂二首之一	陳邦瞻	清明作舟遊舸泛桃花飛	593 593		
	二	桃花試早春顏似太好	593 593		
218 明 鳥 樓 曲	院自華	霞微雲迎風正遙林瓊樹玉人	593 593		
219 明 露 入 篇	陳鶴	寒露輕霧露爲漁人耕戶逞收	593 593		
220 明 牡丹花下美人	萬立言	多情詠解相思樂空持半神愁賦	593 593		
221 明 夕 秀 詞	王參泓	凡入膺上掌擎其華年紀名	593 593		
	明代	剪冰裁雪孤山明月照人如月	593 593		
	明 寒 詞	王參泓	從霜色現寒露凝凝月夜漫北將歸	593 593	
222 明 賦體和吳臨潭水十韻	詹	淵漪橫曉映冰川	593 593		
223 明 歌美人雨中觀荷	徐小淑	風破荷葉飄花分賦	593 593		
224 明 詞畫屏美人二首之一	苏小鸞	庭雪消消井泉冰玉琴橫抱無	593 593		
	二	紅深翠淺詩何以入聽斷處	593 593		
225 明 挑 葉 歌	夏編	儂身挑葉儂挑花	593 593		
補遺	唐 大鳳詞二首	李自榮	歌聲弱慢比莫見雙歌此是心之情 往人懷歌放蕩留原歌	增2253067 增2253067	全譜錄 401626
2 唐 舂 情	孟浩然	青樓歌且莫吹歌都似實錦催	增2253067 增2253067	全譜錄 416167	
	唐 同張羽游漢口	孟浩然	別業聞新繁子淡裸珠歌的青陽晝文	增2253067 增2253067	700,660

中国美女传稿

詞賦代詩文題	作者	摘	要	藝初覽	類函集	備考
1 唐好時 光	孫明卿	管管偏官一樣，運臉波波。誰道有箇嬌嬈處，莫倚傾國貌。				全唐詩107.0029
2 唐巫山一段雲 昭宗皇帝	綠拂	重簡覽明點，勝春水。連歌長新。	357 312	全唐詩107.0030		
3 南齊廣陵人	後主李煜	風雨小院庭，芭蕉葉相對。				全唐詩107.0036
南唐一斛珠名醉落魄	後主李煜	醉臥初醒，細柳斜依。	358 312	897.0037		
4 蜀甘州曲 後主李王	畫眉鵠	能解來銷體，相對勝。	359 313	全唐詩107.0038		
5 唐桂殿秋三首之二	李白	河漢玉鏡頽，垂照在花間。				全唐詩107.0039
唐清平樂名憶璫	李白	發起金聲，無進將相。歌得狂。				897.0041
6 唐調笑令 王建	歌眉闌	美人來家裏，上粧豐韻。				全唐詩107.0035
7 唐憶江浦雀懷寶		平生願，傳聞入蠟打出羅裙。放歌聲。	357 312	897.0039		
8 唐南歌子七首之三	溫庭筠	慘低倚管，連綿細拂。				全唐詩107.0030
	四	臉冷妝物，細拂。				
	六	轉拂如波服，拂拂如霞。				
唐更漏子六首之四	溫庭筠	相思相憶久，看淡淺紅桺。橫上牀頭，彈琴製怨。				897.0036
9 唐巫山一段雲二首之二	毛文錫	魏魏平江色，丹青寫曉城。	357 312	全唐詩107.0038		
10 唐夢秀兩波和凝	津管絳研竹	點蓬紅碧如翠。	357 312	全唐詩107.0039		
11 唐遐方怨顧夐	簾影紛	拂拂柳絲，折向南窗看遠山橫。	357 312	全唐詩107.0039		
唐虞美人六首	顧夐	揚揚如夢，飄飄若雲。輕舉步，如行雨露。				897.0035
12 唐虞美人鹿度辰	巷翁	卷竹管，羽衣流。				897.0035
13 唐撥櫓子二首之二	尹鷗	丹顏賦，雙鬢霜。				全唐詩107.0112
14 唐南歌子二首之一	毛熙震	遠山愁黛碧，深眉曉曉。	357 312	897.0035		
唐臨江仙二首之一	毛熙震	商音子，商音子。急急如飄飄，急急如飄飄。				897.0037
15 唐虞美人李珣	金龍驚鶯	對曉曉。				全唐詩107.0033
16 唐春光好九首之三	歐陽炯	將體驗，識指指。鋼法轉。	357 312	全唐詩107.0025		
唐赤蘋子二首之二	歐陽炯	遠曉曉。	357 312	897.0126		
17 唐虞美人二首之一	顧選	羽林紅顏道易變，臉動雙微慢。				全唐詩107.0032
	二	楚腰嬌。				
唐謁金門閨選	美人浴	雙髻結，似正東方拂波。	357 312	全唐詩107.0113		
18 唐虞美人二首之一孫光憲	紅窗寂無人語					全唐詩107.0138
	二	好歌徵揚。				
唐風流子三首之三孫光憲	擣衣	長嘯。	357 312	897.0102		
唐浣溪沙九首之二孫光憲	擣衣	日上，望見。	357 312	897.0135		
唐南歌子二首之一孫光憲	點指	嬌嬌，嬌嬌。	357 312	897.0124		
唐鷗天長孫光憲	簪花化粧	有道華年華。	357 312	897.0144		
19 唐菩薩蠻無名氏	并序	照照。	357 312	全唐詩107.0033		
20 宋浪淘沙令柳永	有道人	用初腰。	357 312	全唐詩107.0127		
宋合歡帶柳永	并序	瘦。	357 312	1032		
宋洞仙歌柳永	佳景留心樓。	照照。	357 312	897.0136		
宋玉蝴蝶三首之三柳永	是小併。	遠得多。	357 312	897.0130		
	四柳永	歌。	357 312	897.0128		
宋西施三首柳永	芳蘋。	照照。	357 312	897.0126		

詞賦詩文	題作者	摘要	初覽	要覽	類函	集備考
宋河	傳二首之一 柳永	碧野紅葉綠柳盛	259 263	全宋詞0169		(1)197
21 宋萼 花 新張先	碧野紅葉綠柳盛 隨風拂面細雨	259 263	全宋詞0169			
22 宋更漏 子四首之一 晏殊	暮爭濃酒醉如春 煙暖日火明	259 263 266 267	全宋詞0190			
宋漁家 做四首之八	晏殊	宿處獨持金粉曉 故鄉別處別秋愁	259 262	(2)167		
	十三	楚雲孤雁泣夜雨 賦賦誰能說	259 262 267	(2)167		
23 宋菩薩蠻 詞三首目謝絳	娟弱侵暉故後光 燈前對此夢難曉	259 260 263	全宋詞0191			
24 宋朝 玉階 杜安世	春歌歌拍曉清風 人未相知故憶千金莫須傾	259 260 267	全宋詞0192			
25 宋鵝鴨 天九首之一	晏幾道	楚水鵝歌送晚風 素韻雙聲暫自憐	259 263	全宋詞0193		
宋漫溪 沙子首之十七	晏幾道	小李鵝聲學白山 離愁拂曉後江邊對酒醉	259 263	01200		
宋采桑 子二首之五	晏幾道	紅鵝長笛新音舊 情亂大長多聲	259 262	01202		
宋菩薩蠻九首之五	晏幾道	擣衣深酒醉時空 悄香胡蝶夢難圓	259 263	01238		
26 宋滿庭芳 二首之二	蘇軾	會心愛難覺 植木圖接難曉	259 262 263	01240		
宋三部樂 情景	蘇軾	美人如月 月掩輕雲更增研絕	259 262 263	01248		
宋浣溪沙	蘇軾	學畫鴉兒正少年 陽城驛路轉然	259 262 263	01318		
宋鷓鴣 天佳人	蘇軾	羅鸞雙手畫蛾眉 情意難將醉酒耽	259 262 263	01334		
27 宋鶯鶯 天四首之二	李之儀	濃鬢嬌妝初試妝 扬風豔點韶光	259 262 263	全宋詞01346		
28 宋菩薩蠻五首之五	晁端禮	遠浦晚晴東閣冷 暮涼吹散片片秋聲	259 262 263	全宋詞01348		
29 宋浣溪沙	劉淑婉妓	越吟贈 摘頭三擣歌音韻 憶別猶存聽遠橫	259 262 263	全宋詞01349		
30 宋斷鵞絃萬年歡	賀鑄	淑蕙情懷被露珠 木本後來爭所	259 262 263	全宋詞01350		
宋小重山	賀鑄	花院深秋路遠碧波空顧不芙蓉	259 262 263	01354		
31 宋江城子	晁補之	嬌嬌遺物解佳音	259 262 263	全宋詞01358		
32 宋卜算子	陳師道	纖軟小腰身明月入臥牕 淡書翰作春	259 262 263	全宋詞01359		
33 宋看花調	周邦彥	亮色寒明時就中絕絕有難言欲調	259 262 263	全宋詞01620		
宋減字木蘭花	周邦彥	風飄飄飄飄化香書院	259 262 263	(2)185		
宋角柯子二首之三	周邦彥	顰頷疑無白輕移淡粉紅	259 262 263	(2)186		
宋獨影搖紅	周邦彥	芳艷漸紅巧畫妝淡今在嬌深限	259 262 263	(2)187		
34 宋西江月	謝遜	半窗殘月照孤松	259 262 263	全宋詞01644		
35 宋清平樂二首之二	毛滂	錦織成績如畫屏 脍戲良苦青	259 262 263	全宋詞01656		
宋調笑令	毛滂	音歌執紅貌記立酒橋花前	259 262 263	(2)189		
	盼	無力倚低頭舞弄青裳	259 262 263	(2)189		
	美人賦	釣絲垂碧蘋酒橋橫小讀暖	259 262 263	(2)189		
36 宋水龍吟	周紫芝	梨花帶雨子風回飛動醉時嫣然笑	259 262 263	全宋詞01870		
宋南柯子	周紫芝	蝶飛輕蝶舞輕舞者是誰道人道山霞	259 262 263	(2)188		
37 宋梅花引	向子諤	拍頭相對葉小時笑得惜前	259 262 263	全宋詞01889		
宋殢嬋人	向子諤	似對花深著羽翼	259 262 263	(2)189		
宋鵝鴨天	向子諤	幾處飛鶯暢懷歌醉酒醉	259 262 263	(2)1970		
宋南歌子	向子諤	繡鈿香間鬢翠初雙生珥 細珠不動兩相體	259 262 263	(2)1972		
宋生查子	向子諤	娟娟以足正整雲解體	259 262 263	(2)1974		
38 宋醜奴兒慢	蔡伸	明眸皓齒如凝露玉臉淡拂輕雲	259 262 263	全宋詞01909		
宋菩薩蠻	蔡伸	杏花落落清如曉翠翫香微醉醉時春	259 262 263	(2)1914		
宋清平樂	蔡伸	明眸皓齒醉於春	259 262 263	(2)1916		

詞牌	詩文	題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	浦	秀
39 宋媛鸞歸令	金瓶梅·趙麗娘	張元幹	珠履韻·趙麗娘愛廬序	雙林女	207	全宋詞01/101							
40 宋董漢黃立首之三	呂渭老		轉羅陽陽陽微急	一寸橫波入鏡流	208	全宋詞01/101							
41 宋生查	子管鑑		天教郎君生有慙	青衫一振猶寬了夢斜方故故日嬌嬈	209	全宋詞01/101							
42 宋慶美	人三首之三	吳徵	雙眸前水圓如鏡	金盞酒蠶變秋波成冰點點紅牀脂語嬌	210	全宋詞01/101							
43 宋豆葉	黃庭海		春風暖上柳腰軟	弱柳輕鴟鵞鷺鷺斜	211	全宋詞01/101							
44 宋生查	子羨孝祥		還山隱柳媚柳開晴眼	羣樓前初馬屬	212	全宋詞01/101							
宋臨江仙	張孝祥		羣樓前初馬屬	羣樓前初馬屬	213		(3)715						
45 宋醉落魄重午	趙長卿		淡妝濃抹西湖醉	西湖醉	214	全宋詞01/101							
宋眼兒	趙長卿		南枝浪客空悵惘	南枝浪客空悵惘	215	(3)715							
宋侍香金童	趙長卿		一縷飄香斷未憚	一縷飄香斷未憚	216	(3)715	(行香子)						
46 宋意難忘	程垓		花城驚鴉記曉聲	驚鴉	217	全宋詞01/101							
47 宋臨江仙	王禹偁之四	石孝友	我已驚晉初懷勝	我已驚晉初懷勝	218	全宋詞01/101							
宋踏莎行	石孝友		劍閣長吟懷舊	懷舊	219	全宋詞01/101							
48 宋賀新郎	蘇軾	韓王	物外超然試醉	試醉	220	全宋詞01/101							
49 宋沁園春	李清照	指甲	劉夢得水經輕快	劉夢得水經輕快	221	全宋詞01/101							
		美人足	浴浦漫爲踏歌	踏歌	222	(3)714							
50 宋玲瓏四犯	方千里		傾國名珠無限瑩	無限瑩	223	全宋詞01/101							
宋六么	方千里		照人明體肌膚潔	肌膚潔	224	(3)715							
51 宋西江月	三首之三	黃葛	愁攀低垂柳	愁攀低垂柳	225	全宋詞01/101							
52 宋秋蕊	香	趙希影	鬢捲冠裳夢裏	夢裏	226	全宋詞01/101							
53 宋夷玉案	姜夔	陳允平	涼雨消愁陽關曲	涼雨消愁陽關曲	227	全宋詞01/101							
54 宋瑞鶴仙	白蘋	葉蔣捷	結連遠離近	結連遠離近	228	全宋詞01/101							
		白蘋	素服追雪	素服追雪	229	(3)717							
55 宋馬家春慢	無名氏		珠有風輕	珠有風輕	230	全宋詞01/101							
宋五絃結同心	無名氏		珠有風輕	珠有風輕	231	據作白蘋詞							
宋憶秦娥	無名氏		香綵雙袖	香綵雙袖	232	01/714							
宋柳梢青	無名氏		有蘭人	有蘭人	233	01/714							
宋步蟾宮	無名氏		東風輕暖	東風輕暖	234	01/714							
宋鶯鶯	王佳人		金釵	金釵	235	01/714							
56 宋沁園春	香美人	眉耶	巧翻雲環繡	巧翻雲環繡	236	01/714							
		耶	綵綉	綵綉	237	?							
57 元人月圓	趙孟頫		一枝山桂生	一枝山桂生	238								
58 元流溪紗贈粉兒	詹正		淡淡冰清點春嬌	淡淡冰清點春嬌	239								
59 元踏莎行	王德璣	痕	粉指紅冰合	粉指紅冰合	240								
		眉	薄拂衣	薄拂衣	241								
60 元江城梅花引	張翥		引	引	242								
元多麗	麗鶯書院	張翥	小庭	小庭	243								
61 明好女兒	楊慎		柳陰腰眼以	柳陰腰眼以	244								
明灼灼	花佳人	楊慎	誰把	誰把	245								
62 明青玉案	馬洪		利潤	利潤	246								
63 明善薩	鸞鳳入鐵瓶	徐渭	千鶴	千鶴	247								

詞賦詩文題	作者	摘	要	藝	初	覽	類	函	集	備	考
64 明多麗	王肯堂	步花隱浦園書館			552	525					
65 明沈園春美人指甲	沈景高	新體體制別嬌嬌			523	523					
66 明玉蝴蝶	陳子龍	纏道于清涼珠閣			523	523					
67 明流溪紗	施绍莘	手提素衣慕曉風			523	520					
68 明踏莎行	沈宜修	芳菲綠葉在山間			523	523					

中国美女传稿

四部跋書		撰者	摘要	初覽類	函集備考
82	子小說志後劉宋異苑	劉惔叔	徐孺居女子貌極鮮麗	262 263 b	1005 雜錄
110	子小說雜錄隋宋夷堅志京師裏婦人洪邁	京師裏婦人客推眉佳(伊郎深韻)	262 263 b	1009 淩芳齋	
	瓶賦子	前通判女史前瓶賦對人	262 263 c 268 a 268 b	1009 淩芳齋	
		少夫妻絕美	262 263 c 268 a 268 b	1009 淩芳齋	
		張博望著寫真寫貌錄	262 263 c 268 a 268 b	1009 淩芳齋	
108	子小說志怪(唐)異物志李元平	女子紅裙繡襪容光麗	262 263 a	1009 雜記11213	
173	子小說志怪前宋異聞總錄張文林子端	夢間相美女子像	262 263 b 268 a	1009 雜記	
100	子小說雜錄唐虞史盧李二生盧子	女子容色被點新聲甚嘉	262 263 b 268 a	1009 雜記乙	
122	子詩名家周尹文子大道上篇尹文	黃公二立圓色	262 263 b 268 a	1009 四端	
129	子小說傳奇唐陰德傳劉弘敬	方蘭葉有綠色則清潔無殊 類錢流	262 263 b 268 a	1009 雜記乙	
96	子小說雜錄唐雲溪友議范擴	題詩吳閑佳人比葛仙	262 263 b	1009 雜記海	
36	子雜學叢論前漢淮南子勝神訓劉安	胡生趙西施嬌顏貌 毛嫱西施嬌顏貌	262 263 b 268 a	1009 司馬	
	本經訓	毛嫱西施之色	262 263 b 268 a	1009 司馬	
	齊俗訓	衛西施七墮而配紹豫	262 263 b 268 a	1009 司馬	
	說山訓	畫西施之面素顏而可說 西施有所取西施去其故鄉 是有所取也	262 263 b 268 a	1009 司馬	
	說林訓	西施包蠶狀貌阿同好美約 似人形而麗美行同面 美女擣於宮	262 263 b 268 a	1009 司馬	
	脩務訓	雙頭蠶有粉難不指脂粉 芳鬢髮香西施陽也 蔡文幼文衛之雅質 美人者非必西施之種 毛嫱西施天下之美	262 263 b 268 a	1009 司馬	
1	輕易經周易經繫辭傳上	治魯論漢	262 263 b 268 a	1009 增1002 3 1009 雜記疏	
28	史記後漢趙絕書袁康	美人當如趙所望故美女西施鄭 且善也 趙王踐得採荷女西施鄭 且以獻梁王	262 263 b 268 a	1009 逸史	
32	子游學經濟後漢鹽鐵論道桓宣	說南施之美無益於客	262 263 b 268 a	1009 四端	
112	子小說傳奇唐王氏紀聞北山道者牛肅 李眉名妻	楊州空空空空空十七洛色絕人 李眉名妻甚美濃妝體色 情狀若移服觀人間無極 未革體矣	262 263 b 268 a	1009 雜記乙	
	王寶別傳→鑿別傳		262 263 b 268 a	1009 雜記乙	
168	子小說魏宋下淮短牒晉溪	明記居於漢中密竹浸水香	262 263 b 268 a	1009 雜記乙	
105	子小說志怪(唐)河東記段何	二娘一要醫一醫皆絕色	262 263 b 268 a	1009 雜記乙	
99	子小說雜錄唐寤詔錄	韋綯錄玉冰珠圓色	262 263 b 268 a	1009 雜記乙	

四部賦書名撰者摘要要纂初覽類函集備考						
177 孙策傳 唐會真記 崔鶯鷺元極	鶯鷺類色體形瘦削人扶杖年瘦 詳絕者不勝體體貌治力 不能體體俗的詩環牌弱如 迫身如瘦弱而瘦弱如扶病者 者體微弱者未瘦弱氣弱者弱 瘦弱如肌體若加瘦弱如扶病者 汗流浃背如扶病者				23 1102 韓真 23 1102 a 韓真乙	
136 孙策雜錄 五代開元寶鑄事	唐紅葉家婦 王仁裕 葉葉如火葉葉有紫色 楊恭義妻劉氏有褐色 選婿 蕭 李林甫有六人有紫色 解詣 芳	事被唐有紫色 楊恭義妻劉氏有褐色 李林甫有六人有紫色 明月照鏡如稱詩花			23 1052 韓氏 23 1052 a 3月別說 23 1052 b 23 1052 c 23 1052 d 23 1052 e 23 1052 f	
24 宋正史後漢書	項籍傳 班固 李夫人傳	項籍有美色 北精絕人絕世而離人拔 河頭相對才進妙麗善體	第25 380 增25326 605 增25326 假說圖		23 284 23 284 a 23 284 b	
47 小說傳奇 後漢漢武故事	班固	燕趙美女一人比之二子并自 然麗不瘦弱而堅黑 得而過人全金玉之身	19 4652 387 10213 606 增25326 假說圖	380 增25326 606 增25326 1074 韓山	1074 韓山 D 小說甲	
42 孙策傳 後漢漢武內傳	班固	西周秦漢之體直瘦黑 通篇的寫法不精詳如胸自適 於肚腸暢於腹	19 4652 387 10213 606 增25326 假說圖	19 4652 387 10213 606 增25326 1074 韓山	1074 韓山 D 小說甲	
179 言論子				381 148		
11 子諸子法象 周韓子 六微 韓非	韓王遺楚美女	18 320 320 10211	381 10211	203 四帶 a		
9 子諸子法象 周管子 小裨管仲	全牆西施天下美人也			203 a		
147 史雜史記宋 漆塵餘詔	王明清 傅德色體冠絕			23 2366 應津 C 18 a		
13 子諸子縱橫 周鬼谷子	女愛不敵廣別舊不盡輸			23 2366 應津 C 18 a		
218 孙策傳 明義虎傳	孫允明 鮑子且難			23 1118 a 3月別說 606 增25326 a		
52 史雜史事實晉魏略	魚豢 鮑后鮑非凡	380 增25326 606 增25326 假說圖本	380 增25326 606 增25326 a	297 假說圖本 a		
206 子雜學雜說 明戲假	錢希言 手持蠻服人所著七十二色羅衣 乞丐掛腰通腰的龍服方道 假說圖本夏朝禮容			52 220 1000 假說 23 220 a 3月別說		
86 子說志怪隋窮怪錄劉尊	迺施免色容質異如仙者衣 紅紫絢斂簪鬢人有二十餘 衣紅西施也衣紫綢夷也			220 1027 韓真 220 b 韓真乙		
190 子小說雜錄元虛谷閒物	方回 張良女國色夢寐少女容容 均多姿照耀			23 1044 說津 220 a 3月別說		
60 史地理雜記晉酈中記	陸廣 陸廣娘抱琵琶髮長尺	387 增25326 387 增25326 a	387 增25326 387 增25326 C 21 a 3月別說	23 2366 說津 C 21 a 3月別說		
149 史雜史讀記宋王熙新志	王明清 王熙新志具錦衣妝楚楚 具黑色也			23 346 應津 626 a 韓真		
187 史正史元金史徵都傳服脫答 崔立傳	李琪妻年二十餘有姿色			23 274 626 b		
177 子小說志怪南宋吳叢橘柏	葛居孫亮愛祖色髻鬟含淨			23 1027 說津 626 b		

一一一
一一一
一一一

中国美女传稿

四部賦書		名撰者		摘要		藝初覽類函集備	
47	史別 史晉後漢書	陳壽 華嶠	《漢書》卷之三 《漢書》卷之三 《漢書》卷之三 《漢書》卷之三	漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三	漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三	漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三	漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三 漢書卷之三
69	史正 史劉宋後漢書	裴徽 傳	范曄 史記列傳	范曄 史記列傳	范曄 史記列傳	范曄 史記列傳	范曄 史記列傳
187	集詩詩詒 北宋後山詩詒	花蕊夫人	陳師道	范曄 史記列傳	范曄 史記列傳	范曄 史記列傳	范曄 史記列傳
107	子孫志怪 唐廣異記	張果女	戴君孚	張默 二十病死 容貌驚異 情態變異 繆參 王玄之 新鄭縣令 劉長史女	張默 二十病死 容貌驚異 情態變異 繆參 王玄之 新鄭縣令 劉長史女	張默 二十病死 容貌驚異 情態變異 繆參 王玄之 新鄭縣令 劉長史女	張默 二十病死 容貌驚異 情態變異 繆參 王玄之 新鄭縣令 劉長史女
182	集詩詩詒 北宋槁簡贊筆咏婦人	章淵	孫統	手如凝脂 齒如瓠犀 美目盼兮 宋玉云 之云 陶淵明作開闢賦	手如凝脂 齒如瓠犀 美目盼兮 宋玉云 之云 陶淵明作開闢賦	手如凝脂 齒如瓠犀 美目盼兮 宋玉云 之云 陶淵明作開闢賦	手如凝脂 齒如瓠犀 美目盼兮 宋玉云 之云 陶淵明作開闢賦
67	集別 集晉高柔集敘		孫統	高柔猶胡叔 姜色濃清如 流火	高柔猶胡叔 姜色濃清如 流火	高柔猶胡叔 姜色濃清如 流火	高柔猶胡叔 姜色濃清如 流火
215	子小說雜錄 明高坡異纂	李茂	楊儀	婦人落髮絕體而肌膚潤澤 火	婦人落髮絕體而肌膚潤澤 火	古今說辨 火	古今說辨 火
54	史雜史實 晉江表傳		虞溥	捕江汝得婿而延歡	捕江汝得婿而延歡	22 277	22 277
6	史雜史實 卷國語周語上	吳育注	康王李卷上	宋玉李卷上 美物錄	宋玉李卷上 美物錄	380 380 古今說辨 火	古今說辨 火
123	子小說傳奇 唐崑崙奴傳	崔生	楊巨源	之二故艷皆絕代生迷紅 紛枝道宋道玉女尋環初 墮紅臉解舒懷方深 心也敗園	之二故艷皆絕代生迷紅 紛枝道宋道玉女尋環初 墮紅臉解舒懷方深 心也敗園	之二故艷皆絕代生迷紅 紛枝道宋道玉女尋環初 墮紅臉解舒懷方深 心也敗園	之二故艷皆絕代生迷紅 紛枝道宋道玉女尋環初 墮紅臉解舒懷方深 心也敗園
127	子小說傳奇 唐才鬼記	李章武	董賈	李章武傳其鬼 可謂其衣服	李章武傳其鬼 可謂其衣服	52 7710 古今說辨 火	52 7710 古今說辨 火
141	史雜史實 系辭雜記		賽駒	完顏駒起於勃固慕蓮而廢	完顏駒起於勃固慕蓮而廢	增	307 古今說辨 火
167	子小說雜錄 南宋採蘿雜志	文君并		韓文公傳其鬼則指以 沐浴則濯潔鮮好比波瀾常晴	韓文公傳其鬼則指以 沐浴則濯潔鮮好比波瀾常晴	52 7064 古今說辨 火	52 7064 古今說辨 火
77	史正 史劉宋三國志魏晉荀或傳注		(斷腸花)	荀或之生甚苦極如神頭 色(傳附)	荀或之生甚苦極如神頭 色(傳附)	22 古今說辨 火	22 古今說辨 火
45	晉	吳志	陳壽	人以美貌得寵冠後庭 周瑜傳	人以美貌得寵冠後庭 周瑜傳	380 703 古今說辨 火	380 703 古今說辨 火

中国美女伝稿

四 部 資 書		名 摂 者	摘 要	藝 初 覽 類	區 集 備 考
70	蜀志	魏志 鐘錄 傳注	裴松之注法 好婦人美麗非凡。	223 223	b3 b3
53	史記集解	晉書 三國典略	魚 美 崔豹說魚似鯉以爲養有美色。 賜納之請以巴陵。 齊武帝有良妃許氏，物變城一。 姜神女也，姿文亮而立。 宋祖道王義之妹，善歌舞。	387 382 387 384 387 386	287 a a 386 386
75	史記集解	劉宋 三十國春秋	武威之 昌黎縣有圓色。	380 7163	386 a
104	子小說	唐 三餘書	嬪嬌娘取後照得更妖嬈。	223 223	1023 a
98	列傳	唐 三水小牘 麗 鄭文	皇甫枚 嚴城門所理，越巂守臺。	223 223	1023 a
76	子小說	唐 江山別記	王恭伯 邢子才 一女子，姿質麗，劉隱其父，曰：「信盧方娘歌引之王敬伯。」	223 223	1023 a
209	子集	明 堂堂肆考	彭大翼 爆竹炎絳仙能長眉。	增補卷之二 223 223	1023 a
106	子小說	唐 畫異記	劉景復 李政 吳道子畫李思訓之嬌嬈人。 名漢人爲勝兒。	223 223	1023 a
68	經學傳詁	蜀宋裏 文	何承天 何瑜美色。	174235 387 602	219 玉面 a
114	史傳記	察別傳	(世說新語)	223 223	1023 a
176	子小說	宋司馬仲傳	王 宇 司馬仲子畫蘿蔓，美姝一羣人。	223 223	1023 a
23	史 正史	前漢史 記 周本紀	司馬遷 閭侯從前就數數封。	223 223	1023 a
		司馬遷	女三爲榮，榮是之貌象以爲嬌嬈。	223 223	1023 a
		趙世家	武劉王家之女，多才美雙。	223 223	1023 a
			臧否榮，吳廣姬，說爲惠后。	223 223	1023 a
		外戚世家	外戚者惡女之仇。	223 223	1023 a
		張耳列傳	外傳對她美。	223 223	1023 a
		司馬相如傳	卓王孫有文君，新寡好音，招以琴挑之。	223 223	1023 a
			琴挑之。	223 223	1023 a
216	別說奇怪	明 吉 怪錄 (倪 翼) 南宋明	一女子，姿態整美，如錦羅淡妝，動中 人。	223 223	1023 a
		(王尼娘)	書還神教，西王母三王尼娘。	223 223	1023 a
		(桃園女鬼)	少女，頭露半體，說她美，年 幼，壞行，誣俗，媽通，說她體麗。	223 223	1023 a
			衣服亦甚鮮華。	223 223	1023 a
		(陳 生)	女子，瘦，體美。	223 223	1023 a
197	集詩評語	元 詞餘詁 (集個鏡流) 俞 沧	楊錦之，擅絕色，名於兒童。	223 223	1023 a
			服。	223 223	1023 a
87	集詩評語	梁 詩 品序	鍾嵘 揚雄之愛用財細。	223 223	1023 a
227	集詩評語	詩 話 (解詁花)	妃子解詁花。	223 223	1023 a
228	集詩評語	詞 話	青蓮有寵，李重光舊韻。	223 223	1023 a
153	史傳記	名 宋侍兒名錄	西 施 洪 逸 趙王班御園種蘭，譽為姣曰。 西施，御以濯敷致以容。 董雲，青霞，譽為才子，詞清潤，眉 清麗。	223 223	1023 a
		紫 雲		223 223	1023 a

四部叢書 名撰者摘要 藝初覽類函備考

四部賦書		名撰者	摘要	初覽	類集	函備	
族婦	提漠	燕明王 蕭何	蕭何著《漢賦》卷一 名提漠著《質賦》	387	1252.145	拾遺記	
羣	羣	孫廣陵 蕭何	孫廣陵題四人皆振色而居 蕭何題	387	1252.145	拾遺記	
麗	麗 婦	漢武帝 蕭何	漢武帝題麗娘年四十未嫁 蕭何題	387	1252.145	拾遺記	
降	仙	隋煬帝 蕭何	隋煬帝題仙郎子善善其眉 蕭何題	387	1252.145	拾遺記	
154	史傳記名 宋	續拾兒 怪錄	張 羅 王 錦	何彼岐釋難美而刺龍	387	1252.145	拾遺記
4	經爾 雅釋	訓	晉書	委委佗佗美也注佳麗貌也	387	1252.145	拾遺記
224	子小說異聞 漢耳 譚王玉 莊王同		劉僧孺	劉僧孺題行持無過目可識	387	1252.145	拾遺記
173	子小說傳奇 唐周秦行紀		牛僧孺	漢武帝題牛僧孺遇太白真人 王僧孺題牛僧孺遇太白真人 魏太康題牛僧孺遇太白真人 長面題牛僧孺遇太白真人 斜熊題牛僧孺遇太白真人 飛修題牛僧孺遇太白真人 刑劍題牛僧孺遇太白真人 善苗好題牛僧孺遇太白真人	387	1252.145	拾遺記
65	子小說老怪 晉拾遺記	類叔東光 王嘉	薛靈芸	拾遺記名老怪一名修明 魏文帝題薛靈芸年三十容貌 絕世	387	1252.145	拾遺記
		孫廣陵題		孫廣陵題荅皆忘赤色在朝	387	1252.145	拾遺記
		蜀甘后		姚隱題甘珍等三人皆素肌 妙麗題甘珍等三人皆素肌	387	1252.145	拾遺記
		石崇題風		惠帝題治羽折后風皆嘵人 孫風題無比其貌特以姿態美	387	1252.145	拾遺記
	(族婦 提漠)			族婦題揚子質賦謂輕 氣賦謂而而貌若雲霞舞 容賦題春之質賦謂輕舞	387	1252.145	遺直
	(侯王潘夫人)			潘夫人容賦少懷江漢含	387	1252.145	
	(因私園獻女)			周易因私園獻女質賦深 列女傳及王維詩題賦不倒地	387	1252.145	

四部首		書名	撰者	摘要	初覽	要覽	附錄	備考
217	子小說奇	明 聚景園記(漆生)	瞿祐	人風雲驚怪錄多姿多彩	280 284	1117 1126	綠道	
23	史記	總記	十六國春秋 前趙劉曜崔鴻	劉曜李超世 崔鴻劉曜跳	280 282 280 284	356 a	史鑒	
			後趙石虎	劉曜石虎	280 282	1123 1123		
			前秦苻堅	濟州刺史苻堅	280 282	1123 1123		
			後秦苻健	慕容熙大興集	280 282	1123 1123		
228	宋戴記緒記	清 十國春秋 順唐徐氏(順唐)	吳存臣	徐鉉一清圖文真賞妃妹(吳存 夫人徐氏)	280 282	349 350	唐宋十四朝 350	
			趙解愁	潘城美解愁其夢海象而 生有圖解新發	280 282	1123 1123		
			神夫人唐	神仙良友性靈情詩計觀 妝粧急就篇若神仙	280 282	1123 1123		
			蘿衣側廬	香樹屋如進女而麗	280 282	1123 1123		
			素面漢	南漢後主恩春香以綠色喜 插白花并日春馨花	280 282	1123 1123		
			黃氏	後主恩貴爲保儀 蘭麝貴於熱干粉	280 282	1123 1123		
84	子小說怪談	異記(香水溪)任昉(武都大夫)		香溪白浪游人呼爲粉培 武都大夫顏色蠶	280 282 284 285	1086 b 1123 1123	萬	
2	經音載上傳	周 春秋左氏傳 杜注九月 十月注		羽交織 麗點 韻言急急急爲急樂子齊 美	280 282 284 285 286 287 288 289	1123 1123 1123 1123 1123 1123 1123 1123	經注	
			歲二年九月	納絛避食色爲淫湯渴飢	280 282	1123 1123		
			懿二年春	崔武子榮妻美文僅使郭叔 之	280 282	1123 1123		
			十六年七月	宋內相好於所乘乘取 名譽頌美	280 282	1123 1123		
			昭公元年四月	徐告妃之妹美公孫楚與公孫黑 爭寵	280 282	1123 1123		
			十二月	甚好其貌有似仲尼顙黑而 美可以繼名曰共姜	280 282	1123 1123		
			秋	臧大豎娶妻三年不育 己氏妻姜姜	280 282	1123 1123		
			哀公十一年	公羊高 驪姬者國也 朱嬖者姬嬖也	280 282	1123 1123		
3	經音載下傳	周 春秋公羊傳 僖公十年	公羊高	張良齋周語云駕乘妾是令 妻	280 282	1123 1123	1123 1123	十三經注疏
			昭公三十一年	朱嬖者姬嬖也	280 282	1123 1123		
164	子小說雜錄	宋 春渚紀聞(徐廣州傳人)何薳		張良齋周語云駕乘妾是令 妻	280 282	1057 a	學津	
194	宋光政類稿	漢書言	王定保	范客酒客才子明月微吟沽 曰徂和朝貢金錢錢還應聲 指光	280 282	404 a	學津	

四部叢書名撰者摘要要藝初覽類函集備考								
222 小說傳奇 明 女俠傳	明 周易	鄒文麟	昭君傳 昭君傳 昭君傳 昭君傳	昭君傳 昭君傳 昭君傳 昭君傳	昭君傳 昭君傳 昭君傳 昭君傳	昭君傳 昭君傳 昭君傳 昭君傳	昭君傳 昭君傳 昭君傳 昭君傳	昭君傳 昭君傳 昭君傳 昭君傳
192 小說雜錄 元 女紅餘志	元 女紅餘志	眼 話 龍 輔	眼 話 龍 輔	眼 話 龍 輔	眼 話 龍 輔	眼 話 龍 輔	眼 話 龍 輔	眼 話 龍 輔
阿 侯	阿 侯	阿 侯	阿 侯	阿 侯	阿 侯	阿 侯	阿 侯	阿 侯
122 小說傳奇 明 淩嬪傳	潘之泣	潘之泣	潘之泣	潘之泣	潘之泣	潘之泣	潘之泣	潘之泣
130 小說雜錄 唐 放臺記序	唐 宋士及	北州校書郎而明經而賦王氏	北州校書郎而明經而賦王氏	北州校書郎而明經而賦王氏	北州校書郎而明經而賦王氏	北州校書郎而明經而賦王氏	北州校書郎而明經而賦王氏	北州校書郎而明經而賦王氏
140 小說諸惠 戲樓記香 漢 張汎	明 姚公漠	明 姚公漠	明 姚公漠	明 姚公漠	明 姚公漠	明 姚公漠	明 姚公漠	明 姚公漠
戲樓記女	戲樓記女	戲樓記女	戲樓記女	戲樓記女	戲樓記女	戲樓記女	戲樓記女	戲樓記女
始 影	始 影	始 影	始 影	始 影	始 影	始 影	始 影	始 影
110 小說傳奇 唐 章臺柳傳	許堯佐	韓昌黎	韓昌黎	韓昌黎	韓昌黎	韓昌黎	韓昌黎	韓昌黎
232 宋史理方志 清 松江府志	金明府	諸侯家將	金明府	諸侯家將	金明府	諸侯家將	金明府	諸侯家將
119 小說傳奇 唐 潘湘錄 裴陽光叟 李隱	王叔文	裴陽光叟	王叔文	裴陽光叟	王叔文	裴陽光叟	王叔文	裴陽光叟
鄭 绍	-女客質珠羅	-女客質珠羅	-女客質珠羅	-女客質珠羅	-女客質珠羅	-女客質珠羅	-女客質珠羅	-女客質珠羅
124 小說傳奇 唐 謡子文傳	羅 鄭	荀子	荀子	荀子	荀子	荀子	荀子	荀子
280 宋史理方志 清 常熟縣志	趙孟頫	美而艷	趙孟頫	美而艷	趙孟頫	美而艷	趙孟頫	美而艷
284 小說傳奇 清 情史類略	顧文文	楚留香新龍虎榜	顧文文	楚留香新龍虎榜	顧文文	楚留香新龍虎榜	顧文文	楚留香新龍虎榜
57 史傳記述錄 舜 襄陽耆舊記	(舜 姬) 襄陽耆舊記	王充	王充	王充	王充	王充	王充	王充
襄陽耆舊記	襄陽耆舊記	襄陽耆舊記	襄陽耆舊記	襄陽耆舊記	襄陽耆舊記	襄陽耆舊記	襄陽耆舊記	襄陽耆舊記
10 子法家周慎子 慎 列	列子	列子	列子	列子	列子	列子	列子	列子
34 子儒學後漢新論	桓玄	祖諱	武帝	王充	列子	列子	列子	列子
(朱鴻靜術誠 圓)	朱鴻靜術誠 圓	朱鴻靜術誠 圓	朱鴻靜術誠 圓	朱鴻靜術誠 圓	朱鴻靜術誠 圓	朱鴻靜術誠 圓	朱鴻靜術誠 圓	朱鴻靜術誠 圓
50 史編 年晉晉紀(綠珠)干寶	石崇	入魏錄 美工集	武帝	漢書	列子	列子	列子	列子
51 史編 年晉晉紀 鄭粲	子廣	去華色也	武帝	漢書	列子	列子	列子	列子
52 史別史晉晉書 王隱	阮籍	裴徽錄	列子	漢書	列子	列子	列子	列子
48 史別史晉晉書 費充	王充	裴徽錄	列子	漢書	列子	列子	列子	列子
89 史正史唐晉書 費充	太宗	裴徽錄	列子	漢書	列子	列子	列子	列子
89	裴徽錄	列子	列子	列子	列子	列子	列子	列子

中国美女传稿

四部職書		名	撰者	摘	要藝	初覽	類函	集備考
阮籍	傳	阮籍朝象小婢有美色			增 2532326	228		
謝	傳	謝朗部族女有美色			增 2532325	228		
夏	統傳	文姬郭氏美色人並有面色			增 2532324	228		
劉	妻劉氏	其發皆如珠似龍而眉淡						
又劉	記傳	劉殷女長曰民字號次曰城字						
		震華服綵女曰人皆美色絕世						
		德冠絕						
		斯漢女大曰光采小曰華皆風						
		色			增 2532324	228		
49	史編年	晉陽秋(荀粲畫)孫盛		荀粲有美色荀粲禮顏淵之色	380 726	287 726	三國魏志荀	
198	子小說	言怪志心神異錄鄭中婦人		竇建開性見韓顥物生姿		52 246	b 遷漢232 集備考57577	
		容貌驚奇十餘						
59	史傳記釋道晉	神仙傳介象葛洪		分象鶴在華陽處取見一真人授形	381 715	增 2532326 增 2532327	444 魏賦 a 論集	
56	史載記	晉書秦	車頻	苻堅時刺羅獻美女	380 712	增 2532328 增 2532329	358 歲學	
90	史正史唐隋	唐五代志	魏徵等	高仲密妻素氏慧而艷		52 44	b 277 a	
78	子小說雜錄	新話(王昭君)劉義慶	王昭君容姿麗	王昭君以目擊其美稱	381 448	增 2532325 增 2532326	1046 1046	
		狗肝(夢錄)	桓玄以目擊其美稱	桓玄以目擊其美稱	381 442			
		地圖王隱猶鴻客	地圖王隱猶鴻客					
		假説(溫公卷)	從劉惔說有目擊公後禮					
159	子書故	讀書北京清異錄	崔道領得激射破頭黑頭鮑			52 222	7091 說文61 b	
		閻大體雙閻穀	看注盡其妙彌縫堵					
		仙鷺	仙鷺射有枝蘿人點羽明媚			52 222		
163	子小說雜錄	宋清曾錄(狄民)廉布	狄民以色名動如鮮明絕世		52 222	7092 說文 a 五經說		
		(王生)	看之甚美		52 222			
44		成公笑疏	孫孺貴得女		增 2532326			
68	子小說雜錄	晉西京雜記(羊文君)葛洪	文君妙色如望遠山勝常		381 208	增 2532327 增 2532328	52 222	b 雜記說
			若葵葉圓葉滑如脂朴如蠶					
		放劍風流	放劍風流					
		(王婧)	幼女朝朝美人貌為後室善			52 222		
			唐詩懷江閑種					
156	子雜學	秀宋西漢農語(舍貽花)姚寃	黃花秋開謂之舍花謂之			52 218	7093 學津 a	
			始					
		西子(施)	吳越執杜樊之持波照景					
			龍館記宋之間流沙橘之越					
			女嬃如此再取橘豐肥筆					
			歌人效鑿亦相競					
		(好細膚)	楚辭王好細腰(像子轉角繩)			52 222		
			南歸踏歌行					
189	子小說雜錄	元誠齋雜記(羊佩童多膚)林坤	謂之孫孫而謂之誠而謂之			52 222	7094 漢集 a 論集	

四部叢書名撰者摘要要藝初覽類函集備考									
楊素妻 (響屢廊)	楊素妻李世民 響屢廊以機杼成績之而施行 別謂故也。	楊素妻李世民 響屢廊以機杼成績之而施行 別謂故也。	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627
128 子小說傳奇 唐 薛昭傳	裴鉤 薛昭坐繩上見其婦以衣裳三人長曰 雲容好服次白鳳臺以蓋次白蘭 翹性絕異。	裴鉤 薛昭坐繩上見其婦以衣裳三人長曰 雲容好服次白鳳臺以蓋次白蘭 翹性絕異。	1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112	1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112 1112	a a a a a a a a a a	說傳奇	說傳奇	說傳奇	說傳奇
33 子小說經濟前漢 說苑 菩 聲 向 脩 文	美文者聽擇之悅 魏王野人之奉政事人所以好之 · · · · ·	美文者聽擇之悅 魏王野人之奉政事人所以好之 · · · · ·	716 716 716 716 716 716 716 716 716 716	716 716 716 716 716 716 716 716 716 716	a a a a a a a a a a	四漏	四漏	四漏	四漏
236 級學會著後漢 說文 文 許 情	許崇聽往美譽類如正 · · · · ·	許崇聽往美譽類如正 · · · · ·	222 222 222 222 222 222 222 222 222 222	222 222 222 222 222 222 222 222 222 222	a a a a a a a a a a	說文	說文	說文	說文
19 經學會著後漢 說文 文 許 情	姬姜姿妙姓桂姓娶妻諱談 · · · · ·	姬姜姿妙姓桂姓娶妻諱談 · · · · ·	259 259 259 259 259 259 259 259 259 259	259 259 259 259 259 259 259 259 259 259	a a a a a a a a a a	說文	說文	說文	說文
120 子小說傳奇 唐 宣室志 鄭德懋 張讀	一譯半色之美佳人小文龍各 質半口口半姿美豔難比被服麗麗	一譯半色之美佳人小文龍各 質半口口半姿美豔難比被服麗麗	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	627 627 627 627 627 627 627 627 627 627	b b b b b b b b b b	釋通 風氣 說文	釋通 風氣 說文	釋通 風氣 說文	釋通 風氣 說文
25 次雜文書前演戰國策楚辭(入鄭襄)劉向	鄭賈故游郢黑楚猶猶圓木 觀中國如此。 · · · · ·	鄭賈故游郢黑楚猶猶圓木 觀中國如此。 · · · · ·	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	c c c c c c c c c c	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255
35 子小說經濟後漢潛夫論潛歡篇王符	好色尤復欲取交爲天下寵 莫若此也。美女	好色尤復欲取交爲天下寵 莫若此也。美女	715 715 715 715 715 715 715 715 715 715	715 715 715 715 715 715 715 715 715 715	b b b b b b b b b b	說文	說文	說文	說文
14 子詩子先秦山海經	平山削居焉名曰淫頓。 · · · · ·	平山削居焉名曰淫頓。 · · · · ·	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	b b b b b b b b b b	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255
130 集詩詩精語宋全唐詩話元 元 羊 義 元 穎	李達去閩猶猶 劉蕡春曉比元顏詩詩曰。 新柏子詩詩之 有婢歸還晉律	李達去閩猶猶 劉蕡春曉比元顏詩詩曰。 新柏子詩詩之 有婢歸還晉律	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	a a a a a a a a a a	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255
207 先兆器雜志明楚小志章華臺錢希言	靈官舞樂圖彌滅 人首化	靈官舞樂圖彌滅 人首化	566 566 566 566 566 566 566 566 566 566	566 566 566 566 566 566 566 566 566 566	a a a a a a a a a a	說文	說文	說文	說文
17 集楚辭周楚辭九歌山鬼屈原周招魂宋玉	曾聞於宜政揚子猶猶 蘋青明頌者各備 楚辭急急眉漫牒日曉光 唐御御御遠望望 美人既醉多顰 姑體黑施落淚時時客	曾聞於宜政揚子猶猶 蘋青明頌者各備 楚辭急急眉漫牒日曉光 唐御御御遠望望 美人既醉多顰 姑體黑施落淚時時客	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	a a a a a a a a a a	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255
大招未詳	姑體黑施落淚時時客	姑體黑施落淚時時客	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	a a a a a a a a a a	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255	255 255 255 255 255 255 255 255 255 255

中国美女伝稿

四 部 評 書	名 撰 者	摘 要	藝 初 観	類 函	集 備
233 炎光經方志 清 中江縣志		黃角註讀書樓上衣青美文書社主編	增 255 16.1	255 16.1	
95 子小說雜錄 唐 朝野金載 任懷妻 張鷺	任懷妻張鷺	任懷妻張鷺	增 255 16.7	255 16.7	增 255 16.7
223 子小說滑稽 明 趙喜奴傳		趙喜奴傳	增 255 16.8	255 16.8	增 255 16.8
204 子雜學雜論 明 長松道退	程真可	以義取譽刻花	增 255 16.9	255 16.9	增 255 16.9
213 子小說雜錄 明 珍珠船	陳繼儒	美名初名復名或云江浦子有 美人二字曰愛此名復名更愛 秦關山洪珠嬌折春消息卷	增 255 17.0	255 17.0	增 255 17.0
92 宋正史 唐 陳書 高祖皇后 姚尼麻		后主紫光熙寧少卿寵容儀子 魚長子色紅白	增 255 17.5	255 17.5	
	張貴妃	張氏以紫光熙寧少卿寵容儀子 有神狀其間殿容儀寵容儀	增 255 18.0		
20 經學訓詁 漢 通俗文 媚 媚 媚 服 虞		媚以媚如漆其聲非難惠 媚以媚如漆其聲非難惠	增 255 18.5	255 18.5	
	虞 娜	虞以虞如漆其聲非難惠 媚以媚如漆其聲非難惠	增 255 19.0	255 19.0	
127 子小說傳記 唐 通幽記 (圓鏡錄裝飾) 陳助	裝六部容範隱化善教導	增 255 19.5	255 19.5	增 255 19.5	
	章諷女奴	麗香音傳記明辨也	增 255 20.0	255 20.0	增 255 20.0
46 吳要賦通記 晉 帝王世紀 殷琰 紹 皇帝識	易安者是御進之於姑	增 255 20.5	255 20.5	增 255 20.5	
	溫	省山名昌邑開創貢	增 255 21.0	255 21.0	增 255 21.0
177 子小說滑稽 唐 鄭德璘傳 鄭德璘 薛瑩	拿武斯覽鏡照鏡照蓮壁空 露潤珠矣鮮珠	增 255 21.5	255 21.5	增 255 21.5	
	花蕊夫人	見所畫唐崔雲夢羣人綉裝 玉質才色勝丈夫之偶也顏 色艷異人猶物人無比 意花不思提色似花葉不擇色	增 255 22.0	255 22.0	增 255 22.0
43 子儒學經濟 魏 典 論 內 試 文 帝	司隸為政國學	增 255 22.5	255 22.5	增 255 22.5	
210 子典故類書 明 天中記 李勣妹 余姬 花鳥	膚色玉羅下隱動容 容美而清秀子智無比 選六官風流盡體皆名鳥	增 255 23.0	255 23.0	增 255 23.0	
38 子雜學雜論 德天 玄珠闡外史 黃憲	玄珠闡外史觀心隱微經奇 慧解珠臨鑑	增 255 23.5	255 23.5	增 255 23.5	
118 子小說傳奇 唐 傳奇 曾李衛 裴鉢	王侯女圖色也	增 255 24.0	255 24.0	增 255 24.0	
80 子小說雜錄 (宋) 姬 記 李夢女	方富物頭髮毛毛姿貌絕麗	增 255 24.5	255 24.5	增 255 24.5	
97 子小說雜錄 唐 杜陽雜編 薛筠 美蘇鶲	元歲歲相對說仙君真財赤體 真難施措說冤縛綠不脫此 兄弟禮貌不勝重衣	增 255 25.0	255 25.0	增 255 25.0	
	飛鷺輕鳳	消夷圖玄真難修得宿彩羽蘭 氣體有冬不瘦夏不肥體	增 255 25.5	255 25.5	增 255 25.5
133 宋史 唐 史 (寵姐)	寵姐寧後班		增 255 26.0	255 26.0	增 255 26.0

四部	職	書名	撰者	摘要	要籍	初覽	類函	集備考
133	史正史	唐書	魏徵等	魏徵知之劉向	魏徵知之劉向	380 814	272 a	舊唐書110中
39	子小說	怪談洞冥記	裴徽	裴徽知之劉向	裴徽知之劉向	增255225 380 610 6113	1783 b	通史
26	史別史	後漢東觀漢記	光烈皇后	劉珍等	光武聞陰陽異說後晉	380 325 610 6113	227 b 增255200.2 等江	通鑑 等江
91	史雜史實	東漢奏記	(畢誠)	裴庭裕	求得絕色人盛珠珠戲鏡	380 325 610 6113	227 b 增255200.2 等江	通鑑 等江
142	史雜史記	宋燈下閑談	秦城江洵	索妙珠麗道	索妙珠麗道	380 325 610	337 a	宋小說
279	子小說	明桃花女傳	沈仕	一墨姬	桃源記肉經參	380 325 610	7178 a	通鑑
784	集詩	洞江詩話		有女	詠色如墨心如火詩	380 325 610	1776 a	詩言詩集
				玄體碧水隱如冰				
166	子小說	雜錄	宋投轡錄	王明清	靜情月嬌人美而艷	380 325 610	1067 a	詩言詩集
145	史雜史記	宋道山清話	(官娘)	李延壽	李後主宮媛清言織玉羅	增255224 380 325 610	342 b	通鑑
93	史正史	唐南史	廢帝東昏侯	李延壽	潘已織金羅花如怡地令	增255224.3 380 325 610	227 b	通史
				潘已織金口口步步生蓮也				
				佛隱半玲瓏圓尺六孤獨				
				王叔辰詩怡地欲得真王昔				
				何枝才敢怨蘋華美而艷				
				渠面無雙生有苦眉始接克				
				納焉				
151	史載記	宋南唐近事	嚴續相公歌姬	鄭文寶	唐錦命美人歌曲	380 325 610	360 a	通鑑
152	史載記	宋南唐唐書	保儀黃氏	馬令	後保儀黃氏容態美而麗絕當世	增255227 380 325 610	360 a	通鑑
				顧盼螢笑不期然				
103	子小說	雜錄	唐南朝煙花錄	馮贊	開房說笑終日請君入讀色	增255224 380 325 610	1052 a	通鑑
				可憐若逢仙可以乘飄飄				
195	子小說	滑稽	元南樓集	楊維楨	視其體狀如服肌體嬌貳	380 325 610	7777 b	通鑑
				真絕色				
177	子小說	傳奇	宋梅妃傳		掩口笑文殊指頭須眉明	增255225.7 380 325 610	360 a	通史
				秀萼不可描畫				
158	子小說	類書	宋孔六帖	唐白居易	魏卿白如淡墨如玉筋	增255224 380 325 610	1047 a	美人美婢人
115	子小說	唐博異志	沈亞之	鄭還古	夢美人為古高長眉人	380 325 610	1703 a	通史
62	子小說	博物志	崔書生	張華	見子親掛孝服二絕代佳才	380 325 610	1038 b	通鑑
722	子小說	博物志	唐非烟	傅步	非烟是美而絕世而離	380 325 610	7708 a	通史
				若不稱其美則不稱其才				
40	子小說	傳奇	前漢飛燕外傳	伶玄	宜主纖便輕細翠山翩然人謂之	增255227 380 325 610	1048 a	通史
				飛燕合掌黃滑出浴人羣之皆出				
				世色為碧髮號新鶯爲薄荷山				
				黛施小朱號冰根故短綵裙				
				小襪軟鞋				

四部賦書	名撰者	摘要	要覽初覽類函集備考
		合德寶真集序 談世說新語 細物以自得 后漢書 后漢書 附神農本草經 百药歌	增253/617 增吐石等
235 子小說諸譜 清 美人譜	徐震	詩人林氏詩集遺 跋密齋集序	1726 香齋 a
88 集韻評語 梁 文心雕龍 雜文 劉勰		里韻辨上關酒施之頌矣	527 1317 四庫 b26 a 傳錄
187 子小說雜錄 五代 間奇錄 畫工 于遞		趙穎得軟摩圖錄	526 1056 五朝記 b7 a 金批296
146 宋雜史稿記 宋 間見後錄	邵博	照御抄文集 珠林子錄 觀音錄 桃源記傳 續列傳 政清錄	526 344 梵津 c8 a
196 子小說傳奇 元 牡丹燈記	陳惟	金華集偶月錄 年十八部類集	260 1117 梵宮 b25 ▶
66 子遺教經着晉 抱朴子 諭	仙葛洪	不以鹽宿宿酒之鹽 腐肉施藥 博喻 初學 刺驕	1726 四庫 a
21 經小學方言	揚雄	韓詩校釋 鉤棘 娃嬪 夷僕	381 增253/617 419 增 391 增253/617 392 增 178 19/617 344 朱熹 增 527 253/617 528 527 529 527 530 527 531 527 532 527 533 527 534 527 535 527 536 527 537 527 538 527 539 527 540 527 541 527 542 527 543 527 544 527 545 527 546 527 547 527 548 527 549 527 550 527 551 527 552 527 553 527 554 527 555 527 556 527 557 527 558 527 559 527 560 527 561 527 562 527 563 527 564 527 565 527 566 527 567 527 568 527 569 527 570 527 571 527 572 527 573 527 574 527 575 527 576 527 577 527 578 527 579 527 580 527 581 527 582 527 583 527 584 527 585 527 586 527 587 527 588 527 589 527 590 527 591 527 592 527 593 527 594 527 595 527 596 527 597 527 598 527 599 527 600 527 601 527 602 527 603 527 604 527 605 527 606 527 607 527 608 527 609 527 610 527 611 527 612 527 613 527 614 527 615 527 616 527 617 527 618 527 619 527 620 527 621 527 622 527 623 527 624 527 625 527 626 527 627 527 628 527 629 527 630 527 631 527 632 527 633 527 634 527 635 527 636 527 637 527 638 527 639 527 640 527 641 527 642 527 643 527 644 527 645 527 646 527 647 527 648 527 649 527 650 527 651 527 652 527 653 527 654 527 655 527 656 527 657 527 658 527 659 527 660 527 661 527 662 527 663 527 664 527 665 527 666 527 667 527 668 527 669 527 670 527 671 527 672 527 673 527 674 527 675 527 676 527 677 527 678 527 679 527 680 527 681 527 682 527 683 527 684 527 685 527 686 527 687 527 688 527 689 527 690 527 691 527 692 527 693 527 694 527 695 527 696 527 697 527 698 527 699 527 700 527 701 527 702 527 703 527 704 527 705 527 706 527 707 527 708 527 709 527 710 527 711 527 712 527 713 527 714 527 715 527 716 527 717 527 718 527 719 527 720 527 721 527 722 527 723 527 724 527 725 527 726 527 727 527 728 527 729 527 730 527 731 527 732 527 733 527 734 527 735 527 736 527 737 527 738 527 739 527 740 527 741 527 742 527 743 527 744 527 745 527 746 527 747 527 748 527 749 527 750 527 751 527 752 527 753 527 754 527 755 527 756 527 757 527 758 527 759 527 760 527 761 527 762 527 763 527 764 527 765 527 766 527 767 527 768 527 769 527 770 527 771 527 772 527 773 527 774 527 775 527 776 527 777 527 778 527 779 527 780 527 781 527 782 527 783 527 784 527 785 527 786 527 787 527 788 527 789 527 790 527 791 527 792 527 793 527 794 527 795 527 796 527 797 527 798 527 799 527 800 527 801 527 802 527 803 527 804 527 805 527 806 527 807 527 808 527 809 527 810 527 811 527 812 527 813 527 814 527 815 527 816 527 817 527 818 527 819 527 820 527 821 527 822 527 823 527 824 527 825 527 826 527 827 527 828 527 829 527 830 527 831 527 832 527 833 527 834 527 835 527 836 527 837 527 838 527 839 527 840 527 841 527 842 527 843 527 844 527 845 527 846 527 847 527 848 527 849 527 850 527 851 527 852 527 853 527 854 527 855 527 856 527 857 527 858 527 859 527 860 527 861 527 862 527 863 527 864 527 865 527 866 527 867 527 868 527 869 527 870 527 871 527 872 527 873 527 874 527 875 527 876 527 877 527 878 527 879 527 880 527 881 527 882 527 883 527 884 527 885 527 886 527 887 527 888 527 889 527 890 527 891 527 892 527 893 527 894 527 895 527 896 527 897 527 898 527 899 527 900 527 901 527 902 527 903 527 904 527 905 527 906 527 907 527 908 527 909 527 910 527 911 527 912 527 913 527 914 527 915 527 916 527 917 527 918 527 919 527 920 527 921 527 922 527 923 527 924 527 925 527 926 527 927 527 928 527 929 527 930 527 931 527 932 527 933 527 934 527 935 527 936 527 937 527 938 527 939 527 940 527 941 527 942 527 943 527 944 527 945 527 946 527 947 527 948 527 949 527 950 527 951 527 952 527 953 527 954 527 955 527 956 527 957 527 958 527 959 527 960 527 961 527 962 527 963 527 964 527 965 527 966 527 967 527 968 527 969 527 970 527 971 527 972 527 973 527 974 527 975 527 976 527 977 527 978 527 979 527 980 527 981 527 982 527 983 527 984 527 985 527 986 527 987 527 988 527 989 527 990 527 991 527 992 527 993 527 994 527 995 527 996 527 997 527 998 527 999 527 1000 527 1001 527 1002 527 1003 527 1004 527 1005 527 1006 527 1007 527 1008 527 1009 527 1010 527 1011 527 1012 527 1013 527 1014 527 1015 527 1016 527 1017 527 1018 527 1019 527 1020 527 1021 527 1022 527 1023 527 1024 527 1025 527 1026 527 1027 527 1028 527 1029 527 1030 527 1031 527 1032 527 1033 527 1034 527 1035 527 1036 527 1037 527 1038 527 1039 527 1040 527 1041 527 1042 527 1043 527 1044 527 1045 527 1046 527 1047 527 1048 527 1049 527 1050 527 1051 527 1052 527 1053 527 1054 527 1055 527 1056 527 1057 527 1058 527 1059 527 1060 527 1061 527 1062 527 1063 527 1064 527 1065 527 1066 527 1067 527 1068 527 1069 527 1070 527 1071 527 1072 527 1073 527 1074 527 1075 527 1076 527 1077 527 1078 527 1079 527 1080 527 1081 527 1082 527 1083 527 1084 527 1085 527 1086 527 1087 527 1088 527 1089 527 1090 527 1091 527 1092 527 1093 527 1094 527 1095 527 1096 527 1097 527 1098 527 1099 527 1100 527 1101 527 1102 527 1103 527 1104 527 1105 527 1106 527 1107 527 1108 527 1109 527 1110 527 1111 527 1112 527 1113 527 1114 527 1115 527 1116 527 1117 527 1118 527 1119 527 1120 527 1121 527 1122 527 1123 527 1124 527 1125 527 1126 527 1127 527 1128 527 1129 527 1130 527 1131 527 1132 527 1133 527 1134 527 1135 527 1136 527 1137 527 1138 527 1139 527 1140 527 1141 527 1142 527 1143 527 1144 527 1145 527 1146 527 1147 527 1148 527 1149 527 1150 527 1151 527 1152 527 1153 527 1154 527 1155 527 1156 527 1157 527 1158 527 1159 527 1160 527 1161 527 1162 527 1163 527 1164 527 1165 527 1166 527 1167 527 1168 527 1169 527 1170 527 1171 527 1172 527 1173 527 1174 527 1175 527 1176 527 1177 527 1178 527 1179 527 1180 527 1181 527 1182 527 1183 527 1184 527 1185 527 1186 527 1187 527 1188 527 1189 527 1190 527 1191 527 1192 527 1193 527 1194 527 1195 527 1196 527 1197 527 1198 527 1199 527 1200 527 1201 527 1202 527 1203 527 1204 527 1205 527 1206 527 1207 527 1208 527 1209 527 1210 527 1211 527 1212 527 1213 527 1214 527 1215 527 1216 527 1217 527 1218 527 1219 527 1220 527 1221 527 1222 527 1223 527 1224 527 1225 527 1226 527 1227 527 1228 527 1229 527 1230 527 1231 527 1232 527 1233 527 1234 527 1235 527 1236 527 1237 527 1238 527 1239 527 1240 527 1241 527 1242 527 1243 527 1244 527 1245 527 1246 527 1247 527 1248 527 1249 527 1250 527 1251 527 1252 527 1253 527 1254 527 1255 527 1256 527 1257 527 1258 527 1259 527 1260 527 1261 527 1262 527 1263 527 1264 527 1265 527 1266 527 1267 527 1268 527 1269 527 1270 527 1271 527 1272 527 1273 527 1274 527 1275 527 1276 527 1277 527 1278 527 1279 527 1280 527 1281 527 1282 527 1283 527 1284 527 1285 527 1286 527 1287 527 1288 527 1289 527 1290 527 1291 527 1292 527 1293 527 1294 527 1295 527 1296 527 1297 527 1298 527 1299 527 1300 527 1301 527 1302 527 1303 527 1304 527 1305 527 1306 527 1307 527 1308 527 1309 527 1310 527 1311 527 1312 527 1313 527 1314 527 1315 527 1316 527 1317 527 1318 527 1319 527 1320 527 1321 527 1322 527 1323 527 1324 527 1325 527 1326 527 1327 527 1328 527 1329 527 1330 527 1331 527 1332 527 1333 527 1334 527 1335 527 1336 527 1337 527 1338 527 1339 527 1340 527 1341 527 1342 527 1343 527 1344 527 1345 527 1346 527 1347 527 1348 527 1349 527 1350 527 1351 527 1352 527 1353 527 1354 527 1355 527 1356 527 1357 527 1358 527 1359 527 1360 527 1361 527 1362 527 1363 527 1364 527 1365 527 1366 527 1367 527 1368 527 1369 527 1370 527 1371 527 1372 527 1373 527 1374 527 1375 527 1376 527 1377 527 1378 527 1379 527 1380 527 1381 527 1382 527 1383 527 1384 527 1385 527 1386 527 1387 527 1388 527 1389 527 1390 527 1391 527 1392 527 1393 527 1394 527 1395 527 1396 527 1397 527 1398 527 1399 527 1400 527 1401 527 1402 527 1403 527 1404 527 1405 527 1406 527 1407 527 1408 527 1409 527 1410 527 1411 527 1412 527 1413 527 1414 527 1415 527 1416 527 1417 527 1418 527 1419 527 1420 527 1421 527 1422 527 1423 527 1424 527 1425 527 1426 527 1427 527 1428 527 1429 527 1430 527 1431 527 1432 527 1433 527 1434 527 1435 527 1436 527 1437 527 1438 527 1439 527 1440 527 1441 527 1442 527 1443 527 1444 527 1445 527 1446 527 1447 527 1448 527 1449 527 1450 527 1451 527 1452 527 1453 527 1454 527 1455 527 1456 527 1457 527 1458 527 1459 527 1460 527 1461 527 1462 527 1463 527 1464 527 1465 527 1466 527 1467 527 1468 527 1469 527 1470 527 1471 527 1472 527 1473 527 1474 527 1475 527 1476 527 1477 527 1478 527 1479 527 1480 527 1481 527 1482 527 1483 527 1484 527 1485 527 1486 527 1487 527 1488 527 1489 527 1490 527 1491 527 1492 527 1493 527 1494 527 1495 527 1496 527 1497 527 1498 527 1499 527 1500 527 1501 527 1502 527 1503 527 1504 527 1505 527 1506 527 1507 527 1508 527 1509 527 1510 527 1511 527 1512 527 1513 527 1514 527 1515 527 1516 527 1517 527 1518 527 1519 527 1520 527 1521 527 1522 527 1523 527 1524 527 1525 527 1526 527 1527 527 1528 527 1529 527 1530 527 1531 527 1532 527 1533 527 1534 527 1535 527 1536 527 1537 527 1538 527 1539 527 1540 527 1541 527 1542 527 1543 527 1544 527 1545 527 1546 527 1547 527 1548 527 1549 527 1550 527 1551 527 1552 527 1553 527 1554 527 1555 527 1556 527 1557 527 1558 527 1559 527 1560 527 1561 527 1562 527 1563 527 1564 527 1565 527 1566 527 1567 527 1568 527 1569 527 1570 527 1571 527 1572 527 1573 527 1574 527 1575 527 1576 527 1577 527 1578 527 1579 527 1580 527 1581 527 1582 527 1583 527 1584 527 1585 527 1586 527 1587 527 1588 527 1589 527 1590 527 1591 527 1592 527 1593 527 1594 527 1595 527 1596 527 1597 527 1598 527 1599 527 1600 527 1601 527 1602 527 1603 527 1604 527 1605 527 1606 527 1607 527 1608 527 1609 527 1610 527 1611 527 1612 527 1613 527 1614 527 1615 527 1616 527 1617 527 1618 527 1619 527 1620 527 1621 527 1622 527 1623 527 1624 527 1625 527 1626 527 1627 527 1628 527 1629 527 1630 527 1631 527 1632 527 1633 527 1634 527 1635 527 1636 527 1637 527 1638 527 1639 527 1640 527 1641 527 1642 527 1643 527 1644 527 1645 527 1646 527 1647 527 1648 527 1649 527 1650 527 1651 527 1652 527 1653 527 1654 527 1655 527 1656 527 1657 527 1658 527 1659 527 1660 527 1661 527 1662 527 1663 527 1664 527 1665 527 1666 527 1667 527 1668 527 1669 527 1670 527 1671 527 1672 527 1673 527 1674 527 1675 527 1676 527 1677 527 1678 527 1679 527 1680 527 1681 527 1682 527 1683 527 1684 527 1685 527 1686 527 1687 527 1688 527 1689 527 1690 527 1691 527 1692 527 1693 527 1694 527 1695 527 1696 527 1697 527 1698 527 1699 527 1700 527 1701 527 1702 527 1703 527 1704 527 1705 527 1706 527 1707 527 1708 527 1709 527 1710 527 1711 527 1712 527 1713 527 1714 527 1715

中国美女传稿

四部分类	书名	撰者	摘要	要艺	初览	类别	函集	备考
(西施)	西施入世 美惠春秋	范子孟子	西施入世 美惠春秋	范子孟子				
	手媒看透 漢子知魔实記由娘		手媒看透 漢子知魔实記由娘					
	春管小綱鑑		春管小綱鑑					
(鵝鏡歌辭(詩))	因時錄本說起詩合蓮林開		因時錄本說起詩合蓮林開					
(李文叔詩論)	明道七言詩頌妙潤清點歸絕		明道七言詩頌妙潤清點歸絕					
	代文		代文					
132 集詩詩歷唐 本事詩 慕德詩錄	孟棨 柏苑		孟棨 柏苑					
	餅師妻		餅師妻					
	算機錄本色黃色賣餅者		算機錄本色黃色賣餅者					
	妻織白明緞		妻織白明緞					
	崔護妻		崔護妻					
	劉鈞錄本色黃逢吉卦		劉鈞錄本色黃逢吉卦					
126 子小說傳奇 唐 夢遊錄 櫻桃青衣 任蕃	唐王建詩五首集 芳艷		唐王建詩五首集 芳艷					
226 集譜集通代明 名媛詩歸 江情妻吳氏	鍾惺		吳君前夫朱若愚慧子毛樓寵					
148 宋體外理記 宋 默 記達奚盈 聶王鍾			姿體絕絕					
155 子小說雜說 宋 捏爾新話(宋刻解脫湖陳善)			陳善南若把西湖西子淡妝濃					
	扶櫻贈言		扶櫻贈言					
157 子小說雜考 前宋 野客叢談 楚王細腰 王楙	楚王細腰 鄭公餒死		楚王細腰 鄭公餒死					
	詰益精明		章蘇州請曰西施是某家女安得斯人懷詩杜美詩本被須					
	東坡朋虎事		東坡詩曰化學網鴻牘唐記儀識此西賓客記					
	李賀詩西施曉夢綺懷裏		李賀詩西施曉夢綺懷裏					
220 子小說傳奇 明 幽怪錄 趙源再世 田汝成	經文雙雙銅十八姿色媚		經文雙雙銅十八姿色媚					
83 子小說詩怪錄 幽明錄 買粉兒 劉昌慶	易水女裝賣粉兒		易水女裝賣粉兒					
	漢武帝甘棠對玉立降懷帝		漢武帝甘棠對玉立降懷帝					
	圓集指吳文賦鑑正		圓集指吳文賦鑑正					
	輯軒絕代語一方言		輯軒絕代語一方言					
205 子小說雜說 明 通辨譜言	蘇祐	大同稿好飾尚雕多美而艷						
109 子小說傳奇 唐 遊仙窟	張鷺	崔斯容華研冰丸無膚玉						
	瞿造逸人間足履		瞿造逸人間足履					
	草民禪子細細頭皮千萬百萬		草民禪子細細頭皮千萬百萬					
	弱體輕身		弱體輕身					
125 子小說傳奇 唐 揚州夢記 湖州漫錄文于鄭	文身十餘處	科拔頭曰此頭色						
174 子小說傳奇 宋 揚太極外傳 漢國夫人樂史	張圖不淹地耕首街漢國夫人樂史	張圖不淹地耕首街漢國夫人樂史						
	飄		飄					
	有故曰楚宮引腰		有故曰楚宮引腰					
297 蘭山子	羅公綱		羅公綱					
22 經藏釋禮義漢禮曾文鼎	天水較養	10 329	原 3297746 10 329	246				
18 經禮記 漢禮記	禮密不善于色		禮密不善于色					
191 集文選唐洛神賦注	李善 曹植求對遺文		李善 曹植求對遺文					

四部職書		名撰者	摘要	初覽	類函	正集	備考
144 史雜史蹟記 宋 洛陽聞記	張衡	張衡人為容慧點多狡黠，類狀 鑿龍告神山中人。	307 3013	340 C12	340 a	清高雅書 前人如說 審之似是。	
16 子兵書兵法 周 六 緒	呂望	周始人徵至周，獻於紂。	307 3013	225 D	武經卷第 其後。		
116 小說傳奇 唐 蘆蘆雙傳	薛調	劉晏之女雙端麗慧聰，資貌明 艷若神仙之人。	307 3013	7705 D2	7705 D	唐記102	
55 吳覲北涼州記	段龜齡	隱王人張武色體。	307 3011	317 D	317	宣傳	
193 小說潮流 元 綠衣傳	吾丘衍	有好綠衣雙鬟，年十六，雖 不善於讀詩而善於人。	307 3013	7717 a	7717	綠衣	
175 小說傳奇 宋 緑珠傳	樂史	美而豔，善滑以珠馬上生綠珠 城主易爲珠兒。	307 3013	225 D	225 a	劉曉丁	
214 小小說雜錄 明 麗情集	徐淑	才德善美。	1059 D	225 D	225 a	清高雅書	
	楊慎	魏皇后善顏色。				中華書局印	
	觀	魏皇后善顏色。				72a	
	潘	東晉侯潘妃，以金蓮步地。				72a	
	一妃						
	胡琴彈勝兒	吳泰伯祖率性醉彈胡琴與其 美才戲名勝兒。				72a	
	青城	一美姬名青城。					
	呂用之	劉振善其氏有國色。				灰羅隸	
	沈真真	第三姬善體妙絕羣芳。				72a	
29 吳僧記列女傳	劉向	美賢才善音容，善挑 善顏色。	225 D	225 D	225 D	西漢	
	李膺趙敷女						
	趙敷	倡狂，情配以其善取之。					
31 史傳記前漢列仙傳蕭史	劉向	穆公善玉好之（蕭）	19415* 307 原草玉	207 3013	446 a	逸史	
	徐觀	姬學止間誰能比妖麗。					
194 小小說傳奇元 蓬塘三姪傳	徐觀		202 D	1117 b			
7 小説鶯歌周 魯連子	魯仲連	古諺古語，心誠境無礙，志清不 怡，艷色嬌。			202 D	古諺錄列 魯連子	
102 小小說雜錄唐 廬氏雜說	盧言	廬江張良娘特有顏色。	225 D	1051 b	225 a	唐記102	
	江陵士子	江陵烏尼有美女。					
200 史載記明 壓寇雜事	楊儀	張子信飾一美姬。	225 D	362 a	362 a	詩經傳解	
197 小小說雜錄元 娜娘記	伊善珍	孩顏盡白，西施參體才清。	225 D	705 a	705 a	娜娘	
37 小小說雜論 鏡論 衡達遇王充	遇	好名士好也，以鏡面惡色稱。	225 D	287 D	287 b	四庫	
	王充	據於上，橫目黑望美色。					
	累害	據女色體，鄰處舉之。					